

バイク専用ドライブレコーダー
EDRシリーズ専用PCソフト

Moto DR2

Version 1.0

取扱説明書

最新の専用PCソフト「Moto DR2」および取扱説明書は、弊社WEB サイトにて案内しております。下記 URL にアクセス頂き、ご確認ください。

<https://www.mskw.co.jp/motorcycle/edr/support/>

－ ご案内 －

「Moto DR2」の基本的な操作説明は、42 ページから記載しています。

- 本書の著作権は、株式会社ミツバサンコーワに帰属します。弊社の許可を得ずに本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書に掲載されている画像には、開発中の画像または最新のバージョンとは異なる画像が含まれます。そのため、実際の画面表示と異なることがあります。
- 本書に掲載されている画面表示などは、特別に記載がない場合 Windows を使用しています。また、ダークモードに設定された環境での画面表示となります。
- 本書の内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- This instruction manual is in Japanese only.

■ Moto DR2 について

本ソフトウェア「Moto DR2」では、弊社のバイク専用ドライブレコーダー EDR シリーズで録画したファイルの再生、走行軌跡の地図表示※、走行速度の表示※、録画ファイルの連結保存やバックアップをすることが出来ます。

※GPS 搭載モデルを使用した場合のみ可能です。

● 動作システム要件 2025 年 7 月現在

■ Windows

O S: Microsoft Windows 11

Microsoft Windows 10 64bit Version 1809 以降(32bit 版ではご使用頂けません)

C P U: Intel Core i3 3.0GHz 相当以上

メモリ: 4GB 以上(推奨: 16GB 以上)

GPUメモリ: 1GB 以上(推奨: 2GB 以上)

モニタ: 1280 × 800 pixel 以上(推奨: 1920 × 1080 pixel 以上)

その他: ・ microSDHC、microSDXC に対応した microSD カードスロット、SD カードアダプタを使用する場合は、SDHC、SDXC に対応した SD カードスロットまたは USB 接続の microSD /SD カードリーダーライタなど

・ インターネット接続環境(GPS 搭載モデルを使用し、地図表示する場合)

■ Mac

O S: macOS 10.15 以降

C P U: Intel Core i5 以上(推奨: Apple M1 以上)

メモリ: 8GB 以上(推奨: 16GB 以上)

モニタ: 1280 × 800 pixel 以上(推奨: 1920 × 1080 pixel 以上)

その他: ・ microSDHC、microSDXC に対応した microSD カードスロット、SD カードアダプタを使用する場合は、SDHC、SDXC に対応した SD カードスロットまたは USB 接続の microSD /SD カードリーダーライタなど

・ インターネット接続環境(GPS 搭載モデルを使用し、地図表示する場合)

注意

- ・ 上記システム要件を満足する、すべての PC において、動作を保証するものではありません。
- ・ ご使用の PC 環境によって、一部の機能が動作しなかったり、表示や再生が正しくおこなわれなかったりする場合があります。

● 主な機能

■ 録画ファイルの確認

- ・ 録画ファイルの再生
microSD カード内の録画ファイル(常時、衝撃、手動)の再生
PC 内ストレージにバックアップした録画ファイルの再生
つなぎ目のない録画ファイル再生(シームレス再生)
- ・ G グラフの表示(衝撃検知感度の設定が「OFF」以外するとき)
録画ファイルの再生に合わせ、X、Y、Zの加速度のグラフを表示
- ・ 走行軌跡の表示(GPS 搭載モデルのみ)
録画ファイルの再生に合わせ、自転車位置と走行軌跡を地図に表示
- ・ 走行速度の表示(GPS 搭載モデルのみ)
再生時に GPS の位置データから走行速度の目安を表示

■ 録画ファイル操作

- ・ 録画ファイルのバックアップ
録画ファイルを PC 内ストレージにバックアップ
- ・ 録画ファイルの連結保存
録画ファイルをつなぎ目のない、ひとつのファイル^{※1}に連結保存^{※2}
- ・ 録画ファイル保護 / 保護解除
録画ファイルをリストから選択して保護、または保護解除
- ・ 再生中 / 選択中の録画ファイルの場所を開く
再生中または選択中の録画ファイルの保存場所をエクスプローラーや Finder で表示
- ・ 録画ファイルの削除
不要な録画ファイルをリストから選択して削除
- ・ 録画ファイルのタグ付け
録画ファイルにタグを付けて録画ファイルの識別とフィルタリング表示
- ・ GPS ログデータの保存(GPS 搭載モデルのみ)
記録した GPS のログデータを保存^{※3}

※1 結合する録画ファイルの数が多い場合、複数のファイルに分割して保存することがあります。

※2 「Moto DR2」では、連結保存したファイルの読み込みや再生は出来ません。

※3 「Moto DR2」では、保存した GPS ログファイルの読み込みや再生は出来ません。

■ 本体の録画 / 録音設定

- ・ 画像サイズの設定
1080P FHD / 720P HD / VGA
- ・ 画質の設定
HIGH / MID / LOW
- ・ 衝撃検知感度の設定
OFF / 5 / 4 / 3 / 2 / 1
- ・ 音声記録の設定
ON / OFF
- ・ 録画ファイルの上書き保存設定
常時 : ON / OFF 衝撃・手動 : ON / OFF

■ microSD カードフォーマット

- ・ microSD カード FAT32 フォーマット機能
microSD カードを EDR シリーズで使用可能な形式でフォーマット

■ 情報通知機能

- ・ メンテナンス情報、ミツバサンコーワの最新情報通知
EDR のメンテナンス情報、ソフトウェアのアップデート情報や弊社製品の最新情報をお知らせ

■ ライトモード / ダークモード対応

- ・ Moto DR2 の画面の外観を OS の画面モードに応じて変更
OS の画面設定に応じてライトモードおよびダークモードの外観に切り替えて表示

目次

● はじめに	
Moto DR2 について	2 ~ 3
目次	4 ~ 5
使用上の注意	6
録画ファイルについて	7
● 準備と起動 / 終了	
Moto DR2 をインストールする	
Windows	8 ~ 11
Mac	12 ~ 13
Moto DR2 を起動する	
Windows	14
Mac	15 ~ 17
Moto DR2 を終了する	
Windows	18
Mac	19
Moto DR2 をアンインストールする	
Windows	20 ~ 21
Mac	22 ~ 23
地図表示されない場合	24 ~ 25
● ウィンドウの説明	
表示ウィンドウについて	26 ~ 27
メニューバー	28 ~ 33
メインビューと再生ツール	34
地図ウィンドウ	35
サブビューウィンドウ	36 ~ 37
ファイルウィンドウ	38 ~ 39
速度ウィンドウ	40
G グラフウィンドウ	40 ~ 41
● 再生操作	
録画ファイルを読み込む	42 ~ 43
録画ファイルウィンドウの操作	44 ~ 47
基本的な再生操作	48 ~ 50
コマ送り / コマ戻し	51
再生速度を変更する	52
再生時の音声をミュートする	53
静止画を保存する	54
ズーム機能を使う	55
メインビューとサブビューの画面を入れ替える	56
全画面表示で再生する	57 ~ 59
全画面表示状態で G グラフの表示 / 非表示を切り替える	60 ~ 61
● ウィンドウの調整	
ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える	62 ~ 63
ウィンドウの配置設定を切り替える	64 ~ 65
ウィンドウの幅、高さを調整する	66
ウィンドウ構成を初期の状態に戻す	67
ウィンドウ配置設定の記憶機能	68

● 便利な機能	
録画ファイルを連結保存する	70 ~ 77
GPS ログファイルを保存する	78 ~ 83
録画ファイルをバックアップする	84 ~ 87
microSD カードをフォーマットする	88 ~ 91
ファイルリストをクリアする	92 ~ 93
タグを管理する(作成 / 編集 / 削除)	94 ~ 100
録画ファイルにタグを付ける / タグを外す	101 ~ 107
タグで録画ファイルをフィルタリングする	108 ~ 109
録画ファイルを選択して保護 / 保護解除する	110 ~ 113
再生中 / 選択中の録画ファイルの場所を開く	114 ~ 115
録画ファイルを選択して削除する	116 ~ 121
Moto DR2 で本体の録画 / 録音設定をする	122 ~ 123
通信を受け取る / 通知を確認する	124 ~ 125
表示言語の設定	126 ~ 127
● こんなときは	
こんなときは - Q&A -	128 ~ 136
オンラインサポートページを開く	137
● その他	
ソフトウェアのバージョンを確認する	138
EDR のファームウェアバージョンを確認する	138
ライセンス情報	139
お問い合わせ窓口	139

■ 使用上の注意

● microSDカード、ファイル(データ)に関する注意

- ・ microSD カードは、弊社製品バイク専用ドライブレコーダー EDR シリーズの取扱説明書または microSD カードの取扱説明書をお読み頂き、正しくお取り扱いください。
- ・ microSD カードを PC に接続するときは、ご使用の PC またはカードリーダー等の取扱説明書に従っておこなってください。
- ・ 本ソフトウェアを使用したことによって生じた損害(記録された映像やデータの消失、損傷、破損など)について、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● ソフトウェアに関する注意

- ・ 本ソフトウェアは、弊社製品バイク専用ドライブレコーダー EDR シリーズ専用です。他社製ドライブレコーダーには、使用しないでください。
- ・ ストレージ機器(microSD カード、SSD や HDD などの記憶装置)、録画ファイルおよび関連する機器の状態、対応する各種規格、性能によっては、録画ファイルを認識出来なかったり、エラーが発生したりすることがあります。
- ・ 本ソフトウェアにより表示される映像や付帯情報(日時、緯度、経度、地図による車両の位置表示、走行軌跡表示、走行速度、G グラフなど)は、録画ファイルに記録された情報をもとに表示しています。実際の走行状況を正確に表示したものではありません。
- ・ PC の環境や録画ファイルの状態によっては、本ソフトウェアにより表示される映像と連動する付帯情報(日時、緯度、経度、地図による車両の位置表示、走行軌跡表示、走行速度、G グラフなど)が正しく表示されないことがあります。
- ・ 本ソフトウェアに表示される地図は、Google マップを使用しています。録画および再生する時期により、道路整備などで地図情報が更新された場合、車両の位置や走行軌跡、地図の道路表示が走行録画時と異なる表示となります。
- ・ 本ソフトウェアの地図表示機能を使用するには、インターネットへの接続が必要です。またセキュリティソフトやファイアウォールの設定によって、地図表示機能が使用出来ないことがあります。この場合、セキュリティソフトやファイアウォールの設定から、本ソフトウェアを「インターネット接続を許可」または「インターネット接続拒否リストから除外」するなどの設定をおこなってください。なお、プロキシサーバーを経由しているネットワークで PC を使用している場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- ・ PC でセキュリティソフトが動作している場合、本ソフトウェアの機能や操作によって、その動作について許可や実行の確認を求められることがあります。この場合、セキュリティソフトに対し許可や実行を選択してください。また、セキュリティソフトの設定で本ソフトウェアを「セーフリスト登録」や「除外リスト登録」等をおこなってください。詳しくは、ご使用中のセキュリティソフトの取扱説明書やヘルプ等を確認してください。
- ・ 本ソフトウェアを使用して長時間の映像視聴は、視力低下など健康に影響を与える可能性があります。適度に休憩を入れて視聴してください。
- ・ 体調や体質によっては、本ソフトウェアを使用して映像を視聴したときに、画面酔いを引き起こすことがあります。このような場合、直ちに視聴を中止し体調の回復に努めてください。

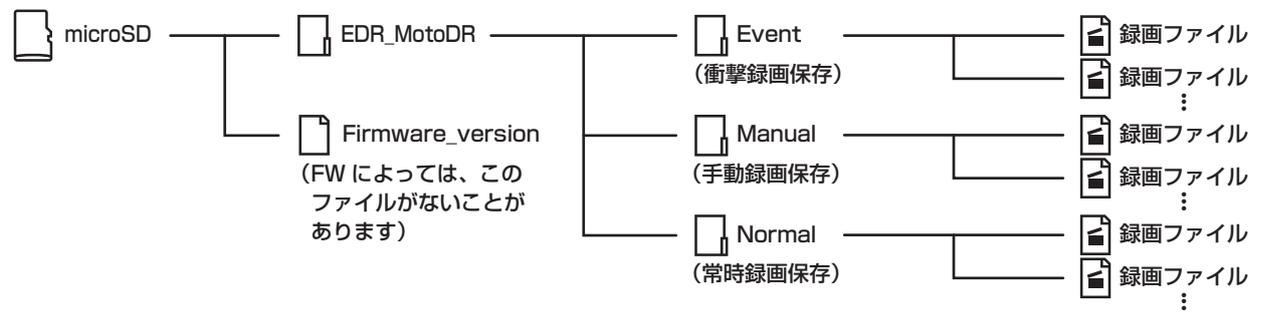
録画ファイルについて

● microSD カードのフォルダ・録画ファイル構成について

microSD カードのフォルダ・録画ファイルは、下記のように構成されています。

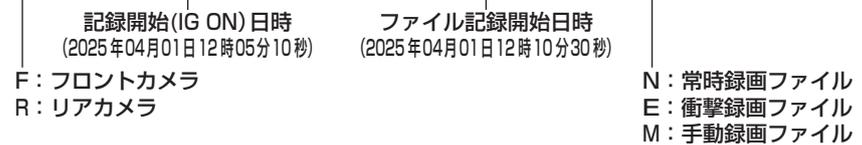
■ microSD カード内のフォルダ構成およびフォルダ名、ファイル名は変更しないでください。録画ファイルを正しく EDR 本体で認識出来なかったり、本ソフトウェアで再生出来なくなったりします。

● フォルダ構成図



● ファイル名の構成

例：F_20250401120510_20250401121030_N.MP4



■ 本ソフトウェア以外の動画再生ソフトを使用して、録画ファイルを再生することが出来ます。その際に録画ファイルを編集したり、上書き保存したりすると、G センサーやGPS の付帯情報が失われ、本ソフトウェアで正常に再生出来ない場合があります。

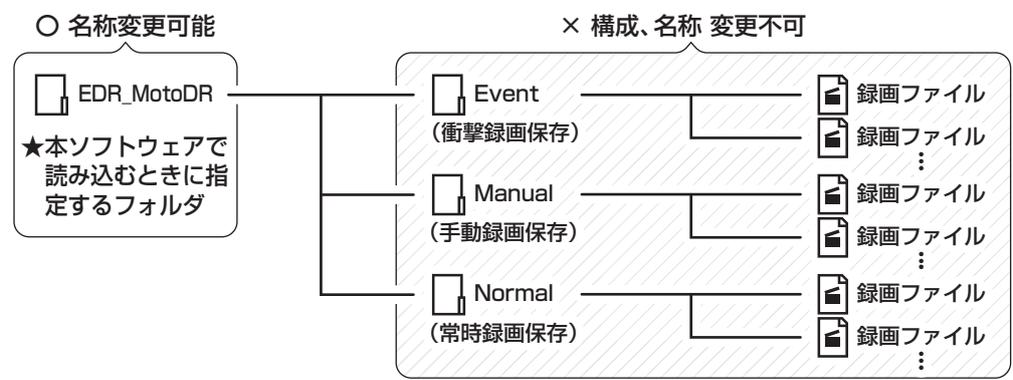
● バックアップファイルについて

バックアップした録画ファイルやフォルダの取り扱い方法について説明します。

注意

- microSD カード内の録画ファイルを PC 内やその他の外部ストレージ機器にコピーまたはバックアップする場合、下記の内容に従って管理してください。本ソフトウェアで正しく再生出来なくなります。
- ・フォルダ内のフォルダ構成は、変更しないでください。
- ・フォルダ名の変更は、下図で指定する範囲でおこなってください。
- ・ファイル名は、変更しないでください。
- ・バックアップしたフォルダ内に無関係のフォルダやファイルを混在させないでください。

● バックアップしたフォルダ、ファイルの構成とフォルダ名称の変更可能範囲



■ 本ソフトウェアのバックアップ機能を使用してバックアップする場合は、「録画ファイルをバックアップする」(84 ページ)を参照してください。

■ Moto DR2 をインストールする

● インストールに関する注意

< Windows / Mac >

- ・使用する PC が、本ソフトウェアの動作システム要件(2 ページ)を満たしていることを確認してください。なお、動作システム要件を満たしていた場合でも、PC の環境によって正常に動作しないことがあります。
- ・本ソフトウェアのインストールには、インストールする PC の管理者権限が必要です。管理者権限がない場合は PC の管理者にインストールを依頼してください。
- ・本ソフトウェアのインストールには、作業領域含め 1.5GB 以上の空き容量が必要です。起動ディスクの空き容量を確認してください。

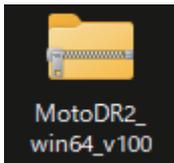
< Windows >

- ・インストールする PC が「S モード」で動作している場合、本ソフトウェアをインストールすることが出来ません。「S モード」を解除してからインストールしてください。「S モード」を解除すると「S モード」に戻すことは出来ません。お客様の判断で「S モード」を解除してください。「S モード」の解除によって発生した損害等について、弊社は一切その責任を負いません。

● インストール手順 < Windows >

※ Windows 11 に「Moto DR2 Version 1.0.0」をインストールする手順を記載しています。インストールする PC 環境やインストールする Version に置き換えてインストールをおこなってください。Version 1.0.0 をインストールする圧縮ファイルは、「MotoDR2_win64_v100」として表記しています。

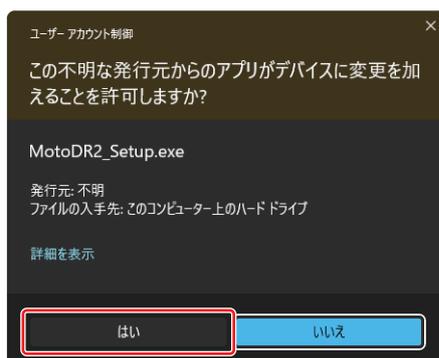
1. ダウンロードした圧縮ファイル(ZIP 形式)を展開(解凍)します。



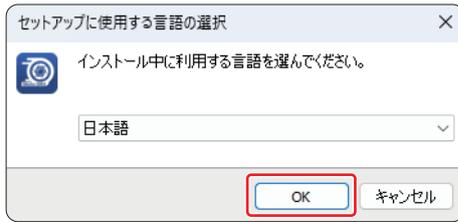
2. 「MotoDR2_setup(.exe)」をダブルクリックして、インストーラーを起動します。



3. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックします。

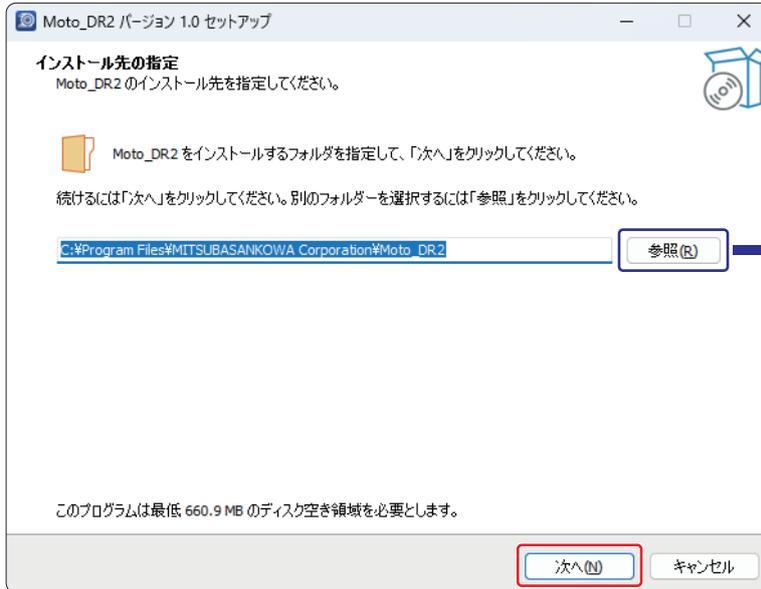


4. 「セットアップに使用する言語の選択」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックします。

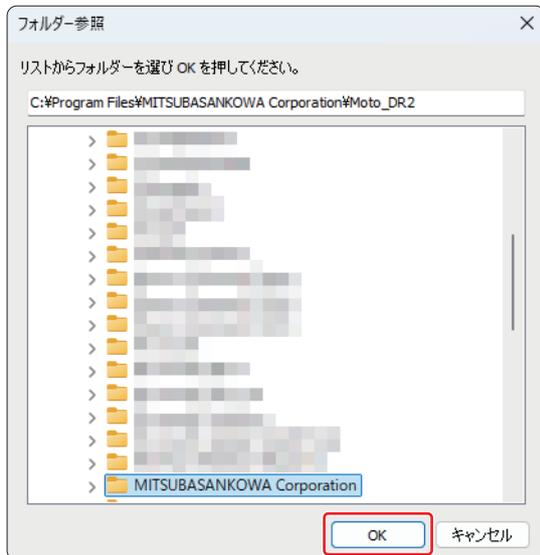


※言語の選択は「日本語」のほかに「English (英語)」、「简体中文 (中国語)」に変更することが出来ます。
 なお、本書では「日本語」を選択した場合での説明のみ記載しています。

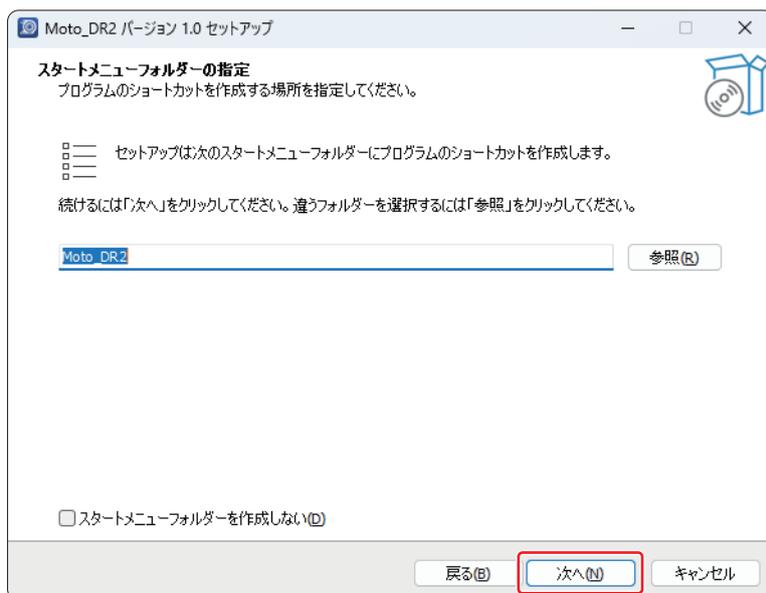
5. 「Moto_DR2 バージョン 1.0 セットアップ」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリックします。



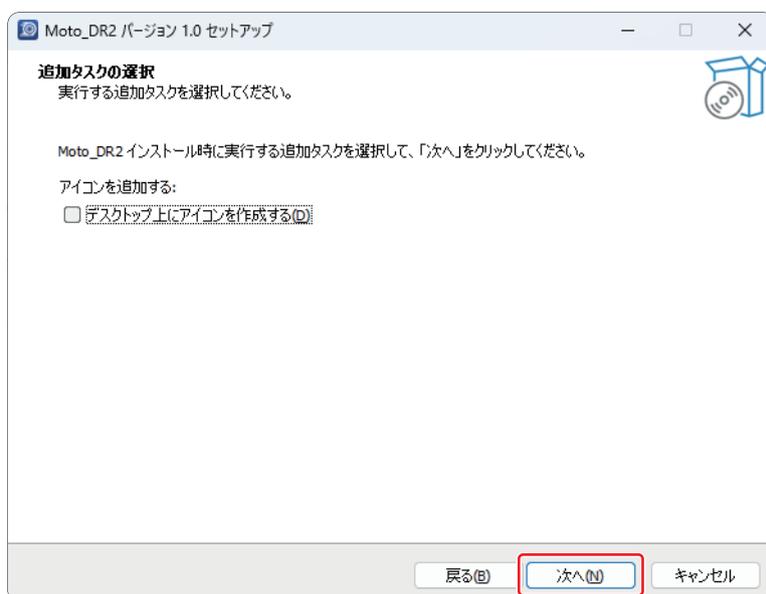
※別のフォルダーにインストールする場合は、「参照」ボタンをクリックしてインストールするフォルダーを選択して「OK」ボタンをクリックします。



6. 「スタートメニューフォルダーの指定」の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。

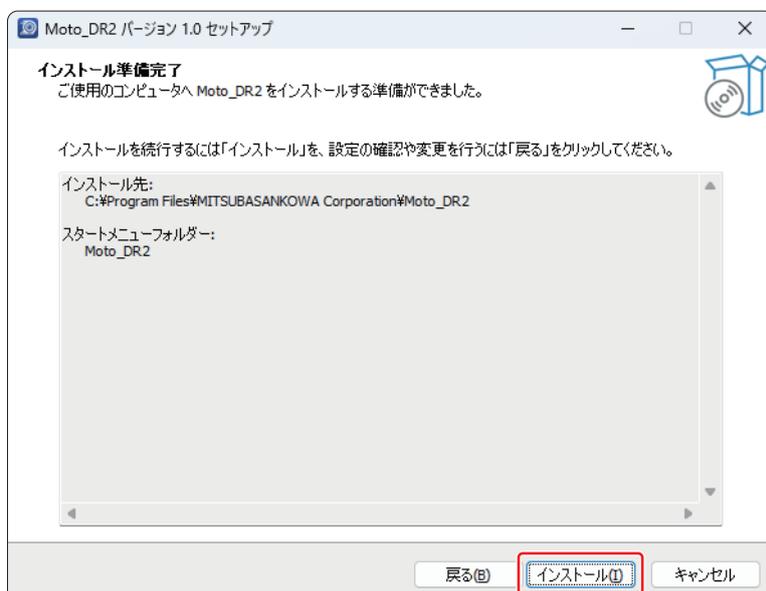


7. 「追加タスクの選択」の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。

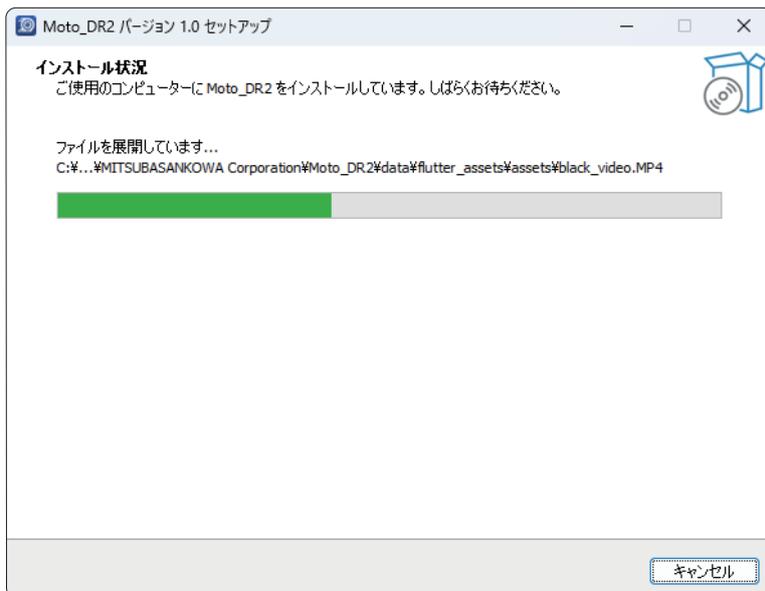


※ デスクトップ上に「Moto DR2」のショートカットアイコンを作成する場合は、「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックを入れます。

8. 「インストール準備完了」の画面が表示されたら「インストール」をクリックします。



9. 「インストール状況」の画面に変わり、インストールが開始されます。(画面が切り替わるまで待ちます)



準備と起動／終了

10. 「Moto_DR2 セットアップウィザードの完了」の画面が表示されたら「すぐに再起動」または「後で手動で再起動」を選択し、「完了」をクリックします。

※ インストールを完全に完了させるため、必ず再起動をおこなってください。

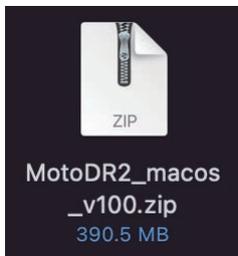


以上で「Moto DR2」の「インストール手順 < Windows >」の説明は終わりです。

● インストール手順 < Mac >

※ Macに「Moto DR2 Version 1.0.0」をインストールする手順を記載しています。インストールするPC環境やインストールするVersionに置き換えてインストールをおこなってください。Version 1.0.0をインストールするZIPファイルは、「MotoDR2_macos_v100.zip」として表記しています。

1. ダウンロードした「MotoDR2_macos_v100.zip」を展開(解凍)します。



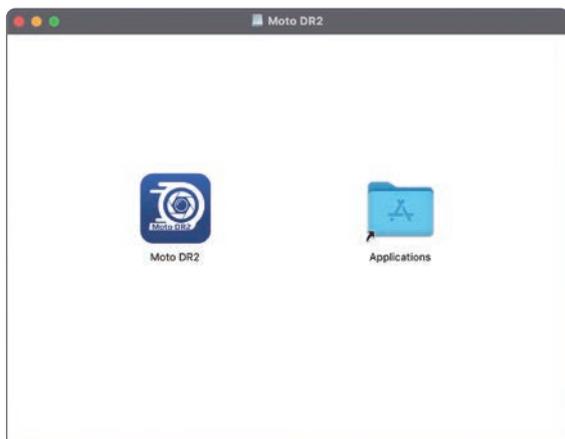
2. ディスクイメージファイル(dmg形式)を開きます。



3. デスクトップの「Moto DR2」をダブルクリックして、インストーラーを起動します。



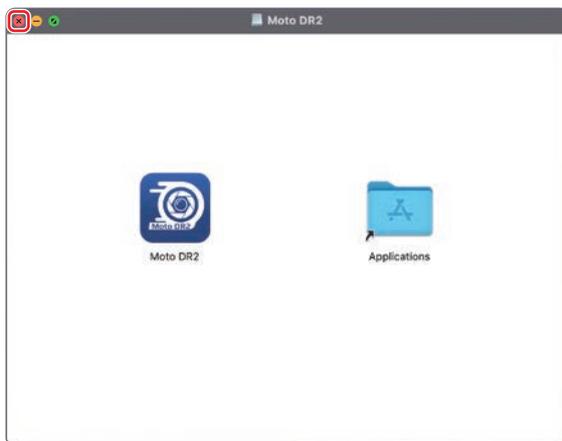
4. 「Moto DR2」を「Applications」にドラッグアンドドロップして、インストールを開始します。



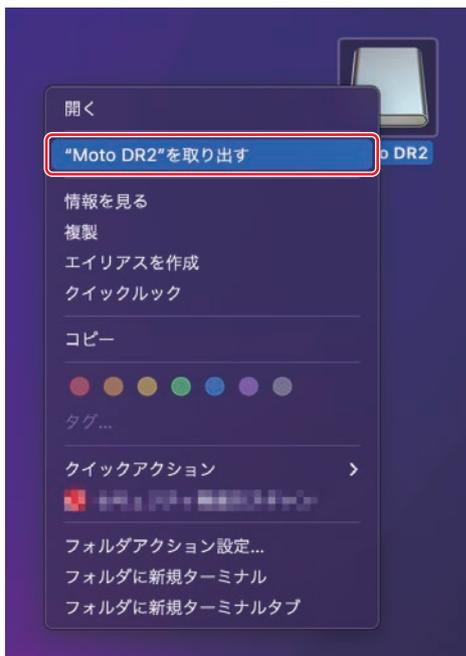
5. 「"Moto DR2" を"アプリケーション" にコピー中」の画面が表示され、インストールが開始されます。
(コピーが終わるまで待ちます)



6. コピーが終了したら左上の「✖」をクリックします。



7. デスクトップの「Moto DR2」から右クリックメニュー(コンテキストメニュー)を表示させ、「"Moto DR2"を取り出す」を選択して、「Moto DR2」を取り出します。



「Moto DR2」の取り出しは、「Moto DR2」を選択して [command] キー + [E] キーを押して取り出すことができます。

以上で「Moto DR2」の「インストール手順 < Mac >」の説明は終わりです。

Moto DR2 を起動する

● Moto DR2 を起動する < Windows >

ここでは、「Moto DR2」の代表的な起動方法について説明します。

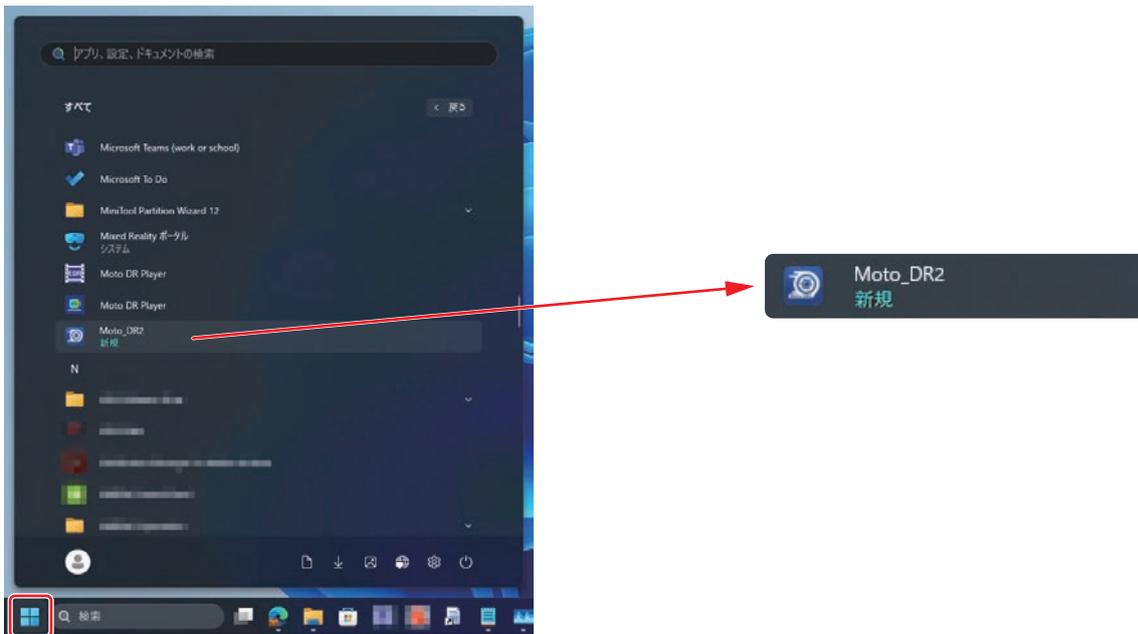
■ デスクトップに作成されたショートカットから起動する

1. PCを操作し、PCのデスクトップ画面を表示します。
 - ・画面の右下の角にカーソルを合わせてクリック、またはキーボードの[Win] + [D] 操作で、デスクトップ画面を表示します。
2. デスクトップに作成された「Moto DR2」のショートカットをダブルクリックします。



■ スタートメニューから起動する

1. スタートメニューを表示します。
 - ・画面の左下の[Win]アイコンをクリック、またはキーボードの[Win]操作で、スタートメニューを表示します。
2. スタートメニューを下にスクロールし、見出しの「M」から「Moto DR2」を探し、「Moto DR2」をクリックします。



■ 「Moto DR2」が起動すると「Moto DR2」の画面(メインウィンドウ)が表示されます

Moto DR2 画面 (メインウィンドウ)



以上で「Moto DR2 を起動する < Windows >」の説明は終わりです。

● Mac ではじめて Moto DR2 を起動するとき

注意

「Moto DR2」をインストール後、はじめて起動するときのみ必要な操作があります。詳細は、「Moto DR2 を起動出来るようにする < Mac >」(16 ページ)を参照してください。

● Moto DR2 を起動する < Mac >

ここでは、「Moto DR2」の代表的な起動方法について説明します。

■ Launchpad から起動する

1. Dock から Launchpad を起動します。

- ・画面の下の Dock から [Launchpad] アイコンをクリックして Launchpad を起動します。
- ・Dock を自動的に非表示に設定している場合は、カーソルを画面下に移動して Dock を表示させてから [Launchpad] アイコンをクリックして Launchpad を起動します。

※ ファンクションキーの「」を押して Launchpad を起動することも出来ます。



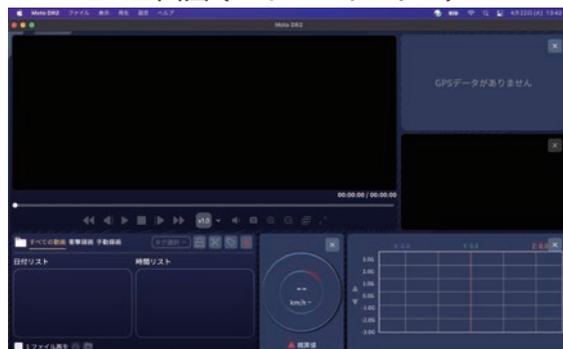
2. Launchpad から「Moto DR2」を探し、「Moto DR2」をクリックします。

※ 「Moto DR2」が表示されていない場合は、Launchpad のページを切り替えてください。



■ 「Moto DR2」が起動すると「Moto DR2」の画面(メインウィンドウ)が表示されます

Moto DR2 画面 (メインウィンドウ)



以上で「Moto DR2 を起動する < Mac >」の説明は終わりです。

● Moto DR2 を起動出来るようにする

ここでは、「Moto DR2」を起動出来るようにするための操作について説明します。

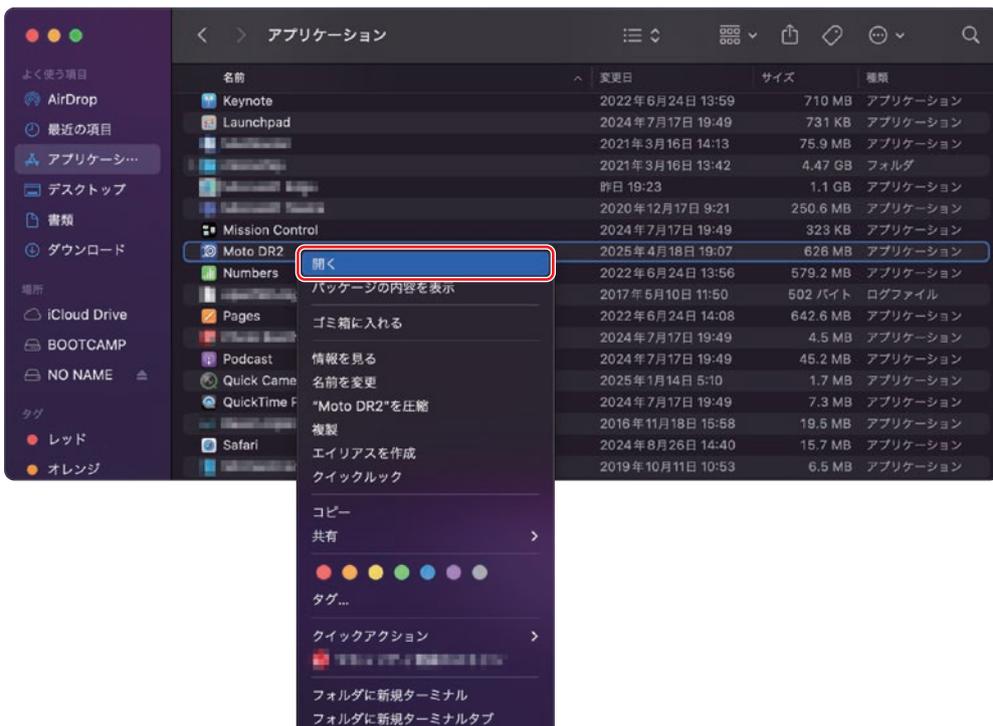
1. 「Moto DR2 を起動する < Mac >」(15 ページ)を参照し、「Moto DR2」のアイコンをクリックして、下図のメッセージ画面を表示します。



2. メッセージの「Finder に表示」をクリックして、「Moto DR2」を Finder に表示します。



3. 「Moto DR2」を選択し、右クリックメニュー(コンテキストメニュー)から「開く」をクリックします。



4. 下図のメッセージ画面が表示されたら「開く」をクリックします。

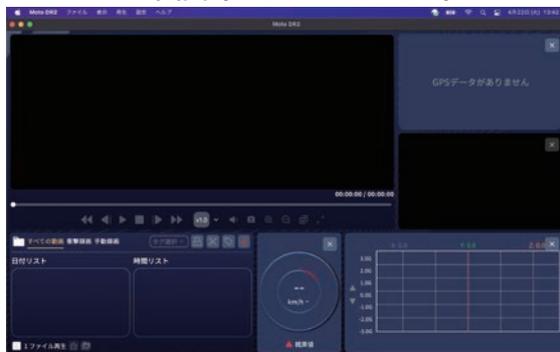


5. しばらくして下図のメッセージ画面が表示されたら「OK」をクリックします。



6. 「Moto DR2」の画面(メインウィンドウ)が表示されます。

Moto DR2 画面 (メインウィンドウ)



以上で「Moto DR2 を起動出来るようにする」の説明は終わりです。

■ Moto DR2 を終了する

● Moto DR2 を終了する < Windows >

「Moto DR2」の代表的な終了方法について説明します。

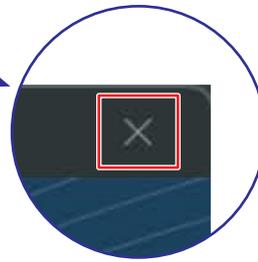
■ メインウィンドウの「×」(終了)ボタンで終了する

1. 「Moto DR2」のメインウィンドウの右上の「×」ボタンをクリックします。
 - ・メインウィンドウ右上の「×」にカーソルを合わせると、「×」ボタンが赤色に変わります。

Moto DR2 画面(メインウィンドウ)



「×」(終了)ボタン



2. 「終了確認」の画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックします。



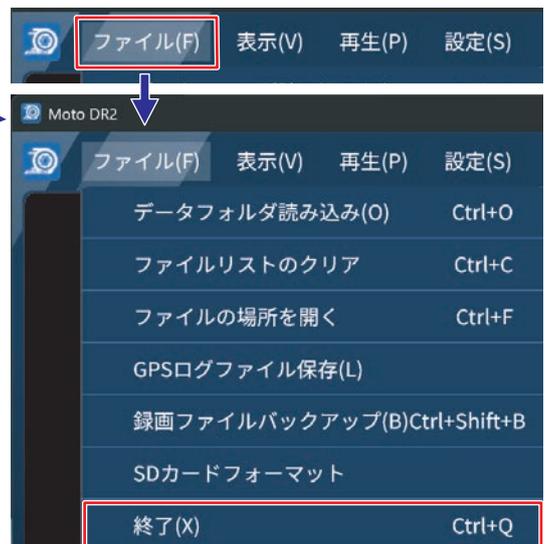
■ メニューの「終了」から終了する

1. 「Moto DR2」のメニューバーの「ファイル」をクリックします。
2. 表示されたメニューから、一番下の「終了」を選択します。

Moto DR2 画面(メインウィンドウ)



メニューバー



3. 「終了確認」の画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックします。



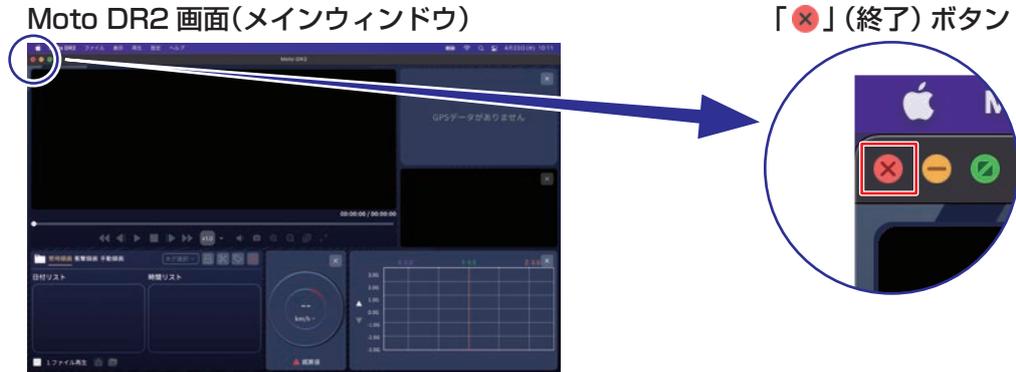
以上で「Moto DR2 を終了する < Windows >」の説明は終わりです。

● Moto DR2 を終了する < Mac >

「Moto DR2」の代表的な終了方法について説明します。

■ メインウィンドウの「×」(終了)ボタンで終了する

1. 「Moto DR2」のメインウィンドウの左上の「×」ボタンをクリックします。
 - ・メインウィンドウ右上の「●」にカーソルを合わせると、「×」ボタンに変わります。



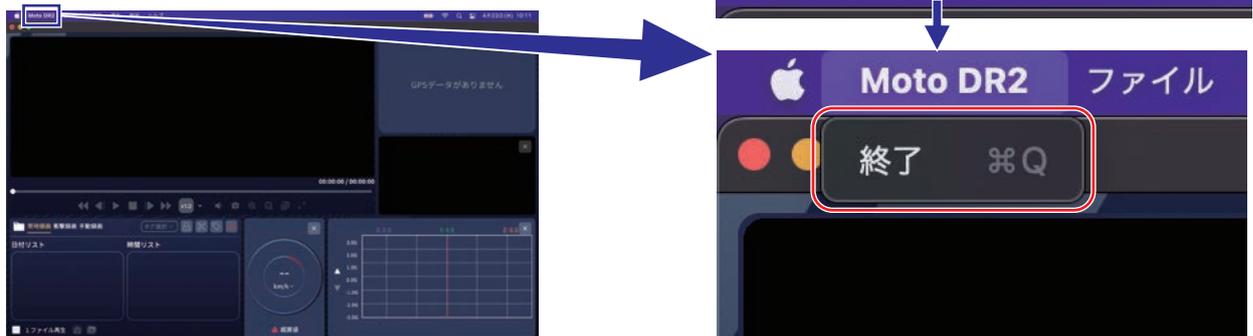
2. 「終了確認」の画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックします。



■ メニューの「終了」から終了する

1. 「Moto DR2」のメニューバーの「Moto DR2」をクリックします。
2. 表示されたメニューから、「終了」を選択します。

Moto DR2 画面(メインウィンドウ)



3. 終了の確認画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックします。



以上で「Moto DR2 を終了する < Mac >」の説明は終わりです。

Moto DR2 をアンインストールする

● アンインストールについて

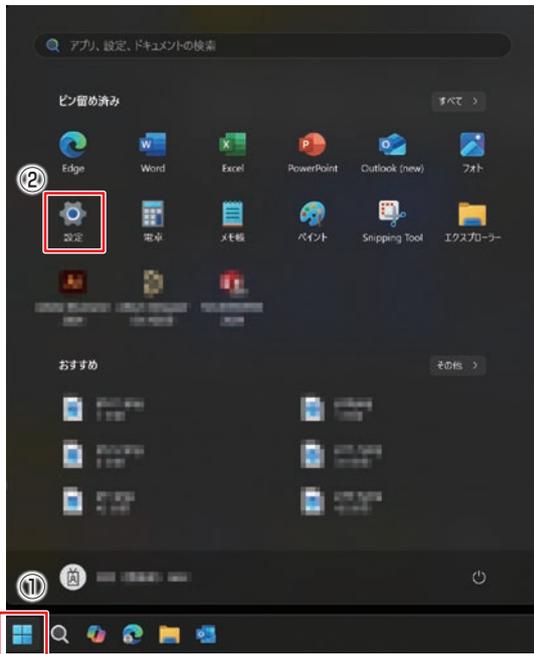
注意

本ソフトウェアのアンインストールには、アンインストールする PC の管理者権限が必要です。管理者権限がない場合は PC の管理者にアンインストールを依頼してください。

● アンインストール手順 < Windows >

本ソフトウェアの使用を中止する場合や新しいバージョンの「Moto DR2」をインストールする場合、本ソフトウェアのアンインストールをしてください。

- ① スタートメニューを表示します。
 - ・画面の下の [スタート] アイコンをクリックまたはキーボードの [Windows] 操作で、スタートメニューを表示することが出来ます。
- ② 「設定」を選択し、設定画面を表示します。
 - ・スタートメニューのアイコンから [設定] をクリックします。



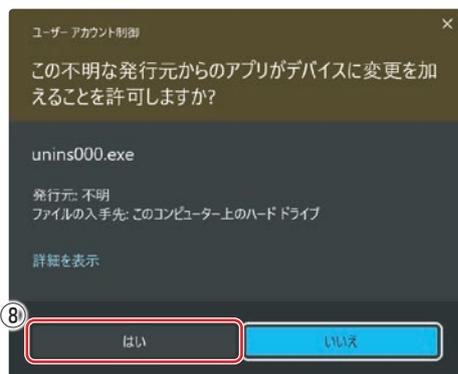
- ③ 設定画面から「アプリ」の項目をクリックします。
- ④ 「インストールされているアプリ」の項目をクリックします。



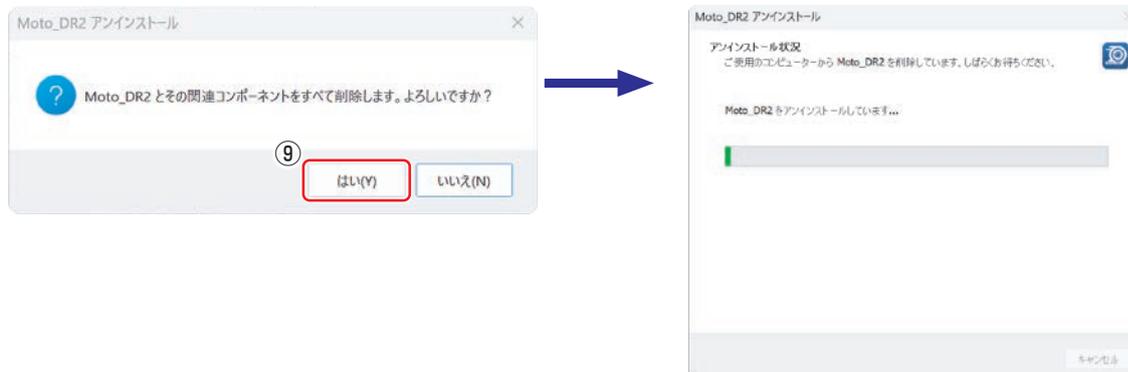
- ⑤ 「インストールされているアプリ」画面の右側から「Moto DR2」を探し、「…」をクリックします。
- ⑥ 「アンインストール」のボタンが表示されますので、「アンインストール」ボタンをクリックします。
- ⑦ 「アンインストール」ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。
続けて「アンインストール」ボタンをクリックします。



- ⑧ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら「はい」をクリックします。



- ⑨ 確認画面で「はい」をクリックするとアンインストールが開始され、画面が切り替わります。
・ アンインストール終了後、画面が自動で閉じます。



- ⑩ アンインストール終了後、「インストールされているアプリ」画面の一覧から「Modo DR2」の表示がないことを確認してください。

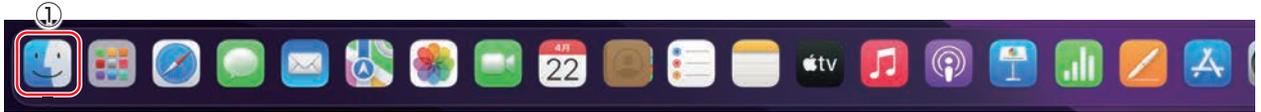
以上で「Moto DR2」の「アンインストール手順 < Windows >」の説明は終わりです。

● アンインストール手順 < Mac >

本ソフトウェアの使用を中止する場合や新しいバージョンの「Moto DR2」をインストールする場合、本ソフトウェアのアンインストールをしてください。

① Dock から Finder を起動します。

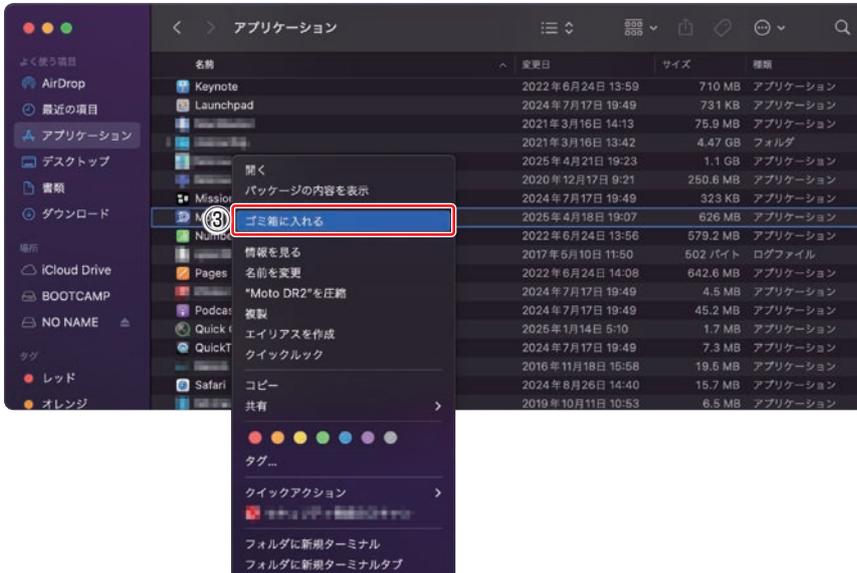
- ・画面の下の Dock から [Finder] アイコンをクリックし Finder を起動します。
- ・Dock を自動的に非表示に設定している場合は、カーソルを画面下に移動して Dock を表示させてから [Finder] アイコンをクリックし Finder を起動します。



② Finder が表示されたら、左の項目から「アプリケーション」をクリックします。



③ 「Moto DR2」を選択し、右クリックメニュー(コンテキストメニュー)から「ゴミ箱に入れる」をクリックします。



- ④ アンインストール終了後、「アプリケーション」画面の一覧から「Modo DR2」の表示がないことを確認します。



以上で「Modo DR2」の「アンインストール手順 < Mac >」の説明は終わりです。

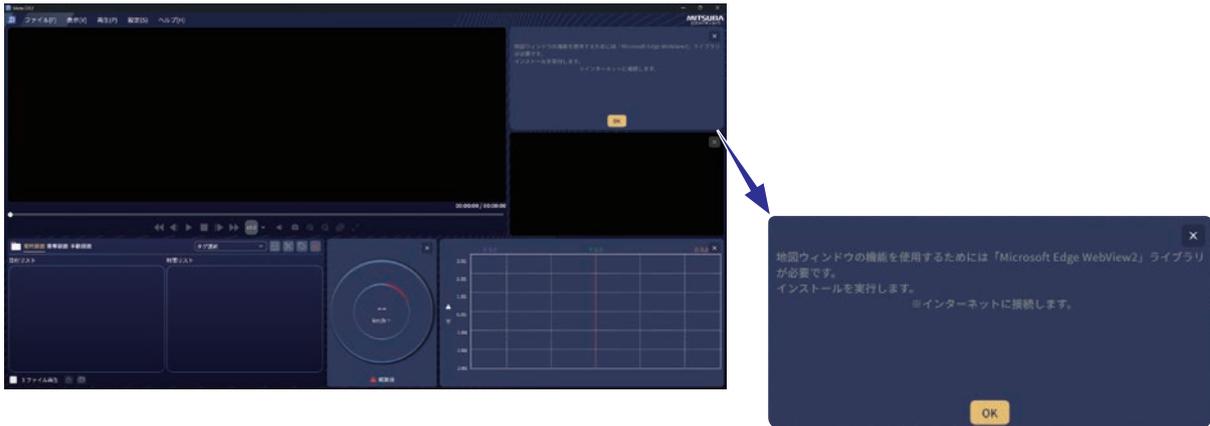
■ 地図表示されない場合

● 地図表示されない理由と対応方法について

本ソフトウェア「Moto DR2」の地図表示には、Microsoft Edge または Microsoft Edge WebView2 Runtime が必要です。(GPS 搭載モデルを使用する場合)

地図ウィンドウに Microsoft Edge WebView2 Runtime のインストールが必要である文面(下記画面)が表示される場合、下記手順に従い Microsoft Edge WebView2 Runtime のインストールをおこなってください。

- ※ 地図ウィンドウが非表示の状態になっている場合は、地図ウィンドウを表示させてください。表示方法は「ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える」(62 ページ)を参照してください。
- ※ 地図ウィンドウに下記画面の文面が表示されない場合、または地図が正常に表示されている場合は、Microsoft Edge WebView2 Runtime のインストールは不要です。
- ※ 地図ウィンドウを使用しない場合、Microsoft Edge WebView2 Runtime のインストールは不要です。



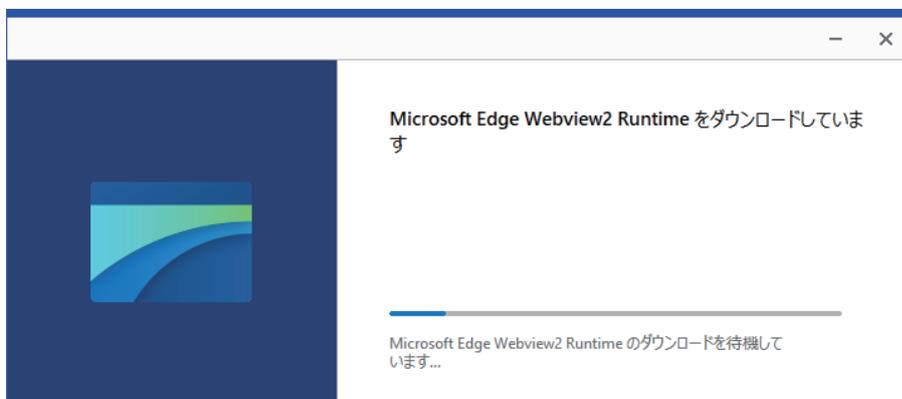
● Microsoft Edge WebView2 Runtime インストール手順

※ Microsoft Edge WebView2 Runtime のインストールには、インターネット接続が必要です。インターネットに接続出来ることを確認してください。

1. 地図ウィンドウに表示されている文面の下「OK」ボタンをクリックします。

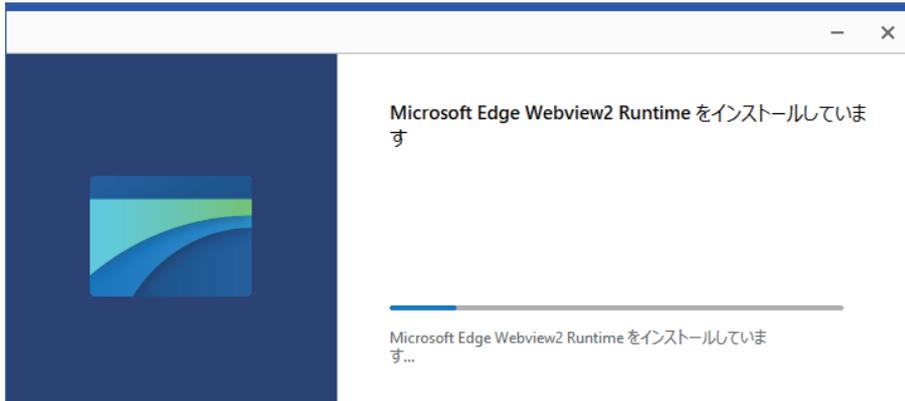


2. Microsoft Edge WebView2 Runtime のダウンロードが開始されます。



※ Microsoft Edge WebView2 Runtime のダウンロード中も本ソフトウェアをご使用頂けます。上記画面およびダウンロードは、バックグラウンドで表示、実行されます。

3. Microsoft Edge WebView2 Runtime のダウンロードが完了すると自動でインストールが開始されます。



4. Microsoft Edge WebView2 Runtime のインストールが完了すると下記の「インストール成功」画面が表示されますので、「再起動」ボタンをクリックします。



5. 「Moto DR2」が一度終了し、自動で「Moto DR2」が起動します。



録画ファイル再生中に地図ウィンドウに地図が表示されます。(GPS 搭載モデルを使用した場合のみ)

以上で「地図表示されない場合」の説明は終わりです。

表示ウィンドウについて

● ウィンドウの構成と名称について

初期時のメインウィンドウ内の各ウィンドウ構成と、各部の名称について説明します。

■ ウィンドウ構成と名称 ※画面は再生中の表示例です。



No.	名称	主な機能	詳細説明ページ
①	メニューバー	<ul style="list-style-type: none"> データフォルダ読み込み、各種保存操作のメニュー 各種表示の操作、設定のメニュー 再生操作のメニュー 設定メニュー オンラインサポートページ、バージョン情報の表示メニュー ウィンドウの最小化、最大化、終了などの操作 	28 ページ
②	メインビュー	<ul style="list-style-type: none"> メイン (主) の再生画面 再生関連操作、再生画面のキャプチャ操作、再生画面操作 	34 ページ
③	地図ウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> 地図表示と自車位置の走行軌跡表示 自車位置の緯度経度の表示 	35 ページ
④	サブビューウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> サブ (副) の再生画面 	36 ページ
⑤	日付リスト	<ul style="list-style-type: none"> 録画ファイルの日付リスト表示、選択 	38 ページ
⑥	時間リスト	<ul style="list-style-type: none"> 日付リスト内の録画ファイルの時間リスト表示、選択 	38 ページ
⑦	ファイルウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> 読み込んだ録画ファイルのリスト表示 常時録画、衝撃録画、手動録画の録画ファイルリスト切り替え タグ付けした録画ファイルの表示 録画ファイルの保護 / 保護解除 録画ファイルの連結保存 録画ファイルのタグ付け / タグ解除 録画ファイルの削除 	38 ページ

No.	名 称	主 な 機 能	詳細説明 ページ
⑦	ファイルウィンドウ	<ul style="list-style-type: none">・ 1 ファイル再生の選択・ 録画ファイルリストのクリア・ 録画ファイルの場所を開く	38 ページ
⑧	速度ウィンドウ	<ul style="list-style-type: none">・ 走行速度の表示	40 ページ
⑨	Gグラフウィンドウ	<ul style="list-style-type: none">・ X, Y, ZのGグラフ表示と表示範囲切り替え・ X, Y, Zの数値表示	40 ページ

メニューバー

●メニューの選択について

< Windows / Mac >

- ・メニューバーのメニューにカーソルを合わせクリックすると、その項目がプルダウン表示されます。目的の項目にカーソルを合わせクリックすると、その項目を選択または実行します。
- ・メニューの項目にショートカットが設定されている場合は、ショートカットキーによる操作も出来ます。

ショートカットの例 (Windows)

データフォルダ読み込み(O) **Ctrl+O**

[Ctrl] キー + [O] キー



ショートカットの例 (Mac)

データフォルダ読み込み **⌘O**

[command] キー + [O] キー



録画ファイルバックアップ(B) **Ctrl+Shift+B**

[Ctrl] キー + [Shift] キー + [B] キー



録画ファイルバックアップ **⇧⌘B**

[shift] キー + [command] キー + [B] キー



再生/一時停止(P) **Space**

[Space] キー



再生/一時停止 **スペース**

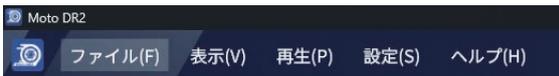
[スペース] キー



< Windows >

- ・キーボードで操作する場合は、[Alt] キーを押し、メニューバーが選択された状態でメニュー末尾に記載されているアルファベット(例:「ファイル(F)」の場合は [F] キー)を押すと、その項目がプルダウン表示されます。カーソルキーの [↑/↓] 操作で移動し、目的の項目を選択して [Enter] キーで実行することが出来ます。

メニューバー (ファイル) が選択された状態



● メニューの構成と機能について

メニューバーのメニュー構成と各機能について説明します。

■ メニューバーの構成と機能

< Windows >



< Mac >



① 「ファイル」内のメニュー構成と機能説明

ファイルの読み込み、各種ファイルの保存、本ソフトウェアの終了などの操作が出来ます。

	ファイル(F)	
(1)	データフォルダ読み込み(O)	Ctrl+O
(2)	ファイルリストのクリア	Ctrl+C
(3)	ファイルの場所を開く	Ctrl+F
(4)	GPSログファイル保存(L)	
(5)	録画ファイルバックアップ(B)	Ctrl+Shift+B
(6)	SDカードフォーマット	
(7)	終了(X)	Ctrl+Q

左記メニューの状態別、操作可否条件

	ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	○	○	○	○
(2)	×	○	○	○
(3)	×	○	○	○
(4)	×	○	○	○
(5)	×	○	○	○
(6)	○	○	○	○
(7)	○	○	○	○

※ 操作出来ない項目は、文字がグレーアウトで表示されます。

○：操作可能 / ×：操作不可

No.	メニュー名	機能説明	詳細説明ページ
(1)	データフォルダ読み込み	・ EDR で録画保存したフォルダを指定して、録画ファイルを読み込みます。	42 ページ
(2)	ファイルリストのクリア	・ 読み込んだ録画ファイルの録画ファイルリストをクリアします。	92 ページ
(3)	ファイルの場所を開く	・ 再生中または選択中の録画ファイルの保存場所をエクスプローラーや Finder を開き表示します。	114 ページ
(4)	GPS ログファイル保存	・ 読み込んだ録画ファイルに含まれる GPS データを抽出して、GPS ログファイルを作成し保存します。	78 ページ
(5)	録画ファイルバックアップ	・ 読み込んだ録画ファイルを指定のフォルダに保存します。	84 ページ
(6)	SD カードフォーマット	・ PC に接続された SD カードを EDR で使用可能な形式でフォーマットします。	88 ページ
(7)	終了 (Windows)	・ Moto DR2 を終了します。	18 ページ

②「表示」内のメニュー構成と機能説明

再生画面の表示方法、各種ウィンドウの表示 / 非表示、機能画面の表示 / 非表示などの設定が出来ます。

	表示(V)	左記メニューの状態別、操作可否条件			
		ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	メイン・サブ入れ替え X	×	×	2cam : ○ 1cam : ×	2cam : ○ 1cam : ×
(2)	メインビューズーム Z	×	×	○	○
(3)	メインビュー全画面表示 Ctrl+T	×	○	○	○
(4)	✓ サブビューウィンドウ(V) Ctrl+Y	×	○	○	○
(5)	✓ 地図ウィンドウ(M) Ctrl+M	○	○	○	○
(6)	✓ 速度ウィンドウ(S) Ctrl+H	○	○	○	○
(7)	✓ Gグラフウィンドウ(U) Ctrl+G	○	○	○	○
(8)	✓ Gグラフオーバーレイ表示(R) Ctrl+R	○	○	○	○
(9)	Gセンサー方向図(D) Ctrl+D	○	○	○	○
(10)	✓ 標準レイアウト	○	○	○	○
(11)	水平レイアウト	○	○	○	○
(12)	垂直レイアウト	○	○	○	○
(13)	ウィンドウ構成初期化(I)	○	○	○	○

※ 操作出来ない項目は、文字がグレースアウトして表示されます。

○：操作可能 / ×：操作不可

No.	メニュー名	機能説明	関連ページ
(1)	メイン・サブ入れ替え	・メインビューとサブビューで表示している再生中の画面を入れ替えます。 ※サブビューウィンドウが非表示状態でも入れ替え出来ます。	56 ページ
(2)	メインビューズーム	・メインビューで表示している再生中の画面をズーム、ズーム解除します。拡大倍率は約 1.5 倍です。	55 ページ
(3)	メインビュー全画面表示	・メインビューで再生中の画面を画面全体に拡大します。	57 ページ
(4)	サブビューウィンドウ	・サブビューウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 ・「✓」は表示状態、「✓」がない場合は非表示状態です。	36 ページ
(5)	地図ウィンドウ	・地図ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 ・「✓」は表示状態、「✓」がない場合は非表示状態です。	35 ページ
(6)	速度ウィンドウ	・速度ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 ・「✓」は表示状態、「✓」がない場合は非表示状態です。	40 ページ
(7)	Gグラフウィンドウ	・Gグラフウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 ・「✓」は表示状態、「✓」がない場合は非表示状態です。	40 ページ
(8)	Gグラフオーバーレイ表示	・メインビュー全画面表示中の G グラフ表示 / 非表示を切り替えます。 ※Gグラフは、再生画面に重ねて表示します。	60 ページ
(9)	Gセンサー方向図	・EDR 本体の G 検知方向を表した図のウィンドウ表示 / 非表示を切り替えます。 ※Gセンサー方向図は、独立したウィンドウで表示します。	41 ページ

No.	メニュー名	機能説明	関連ページ
(10)	標準レイアウト	・メインビューの表示を主とした配置です。	64 ページ
(11)	水平レイアウト	・メインビューとサブビューを水平に配置します。 フロントカメラ、リアカメラの録画映像が見やすくなります。	64 ページ
(12)	垂直レイアウト	・メインビューとサブビューを垂直に配置します。 フロントカメラ、リアカメラの録画映像が見やすくなります。	64 ページ
(13)	ウィンドウ構成初期化	・任意に設定した非表示ウィンドウや幅、高さを調整したウィンドウ構成を初期の状態に戻します。	67 ページ

③「再生」内のメニュー構成と機能説明

録画ファイル再生に関する操作、再生する「時間リスト」や「日付リスト」の選択操作、「画面キャプチャ」操作などが出来ます。

再生(P)		
(1)	再生／一時停止(P)	Space
(2)	停止(S)	Enter
(3)	再生速度(Y)	▶
(4)	コマ戻し	←
(5)	コマ送り	→
(6)	前のファイル	B
(7)	次のファイル	N
(8)	前の日付リスト	Ctrl+B
(9)	次の日付リスト	Ctrl+N
(10)	ミュート	M
(11)	画面キャプチャ	C

左記メニューの状態別、操作可否条件

ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
×	○	○	○
×	×	○	○
×	○	○	○
×	×	×	○
×	×	×	○
×	○	○	○
×	○	○	○
×	○	×	×
×	○	×	×
×	○	○	○
×	×	○	○

※ 操作出来ない項目は、文字がグレーアウトして表示されます。

○: 操作可能 / ×: 操作不可

再生速度は、サブメニューで選択します。

再生速度(Y)	▶	速い(F)	Ctrl + →
		標準(N)	Ctrl + ↑
		遅い(S)	Ctrl + ←

No.	メニュー名	機能説明	詳細説明ページ
(1)	再生／一時停止	・録画ファイルの再生、一時停止をします。	48 ページ
(2)	停止	・録画ファイルの再生を停止します。	49 ページ
(3)	再生速度	・録画ファイルの再生速度を変更します。 x0.25 / x0.5 / x1.0 (標準) / x1.5 / x2.0 の5段階で再生速度を変更出来ます。「速い」で1段階速く、「遅い」で1段階遅くなります。標準の速度に戻す際は「標準」を選択します。	52 ページ
(4)	コマ戻し	・表示している再生位置から1コマ(1フレーム)前の画像を表示します。	51 ページ
(5)	コマ送り	・表示している再生位置から1コマ(1フレーム)後の画像を表示します。	51 ページ
(6)	前のファイル	・再生している録画ファイルの1つ前の録画ファイルを再生します。	50 ページ
(7)	次のファイル	・再生している録画ファイルの1つ後の録画ファイルを再生します。	50 ページ
(8)	前の日付リスト	・選択している1つ前の日付リストを選択します。	45 ページ
(9)	次の日付リスト	・選択している1つ後の日付リストを選択します。	45 ページ
(10)	ミュート	・録画ファイル再生時の音声をミュート(消音)します。 ミュート中は「✓」が項目の先頭に表示されます。 ミュート中に再度選択すると、ミュートが解除されます。	53 ページ
(11)	画面キャプチャ	・メインビューに表示中の画像(静止画)を保存します。	54 ページ

④「設定」内のメニュー構成と機能説明

EDR 本体の録音、録画設定や本ソフトウェアの表示言語を変更出来ます。

設定(S)		左記メニューの状態別、操作可否条件			
		ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	本体録音/録画設定(S)	○	○	○	○
(2)	通知設定	○	○	○	○
(3)	タグ管理	○	○	○	○
(4)	✓ 日本語	○	○	○	○
(5)	English	○	○	○	○
(6)	简体中文	○	○	○	○

○：操作可能 / ×：操作不可

No.	メニュー名	機能説明	詳細説明ページ
(1)	本体録音 / 録画設定	・ EDR 本体の録音 / 録画設定を変更する画面を表示します。	122 ページ
(2)	通知設定	・ Moto DR2 からメンテナンスや最新情報に関する通知のオン / オフを設定します。	124 ページ
(3)	タグ管理	・ 録画ファイルの分類に使用するタグの作成や削除、タグの名称変更等を管理します。	94 ページ
(4)	日本語	・ 表示する言語を日本語に設定します。	126 ページ
(5)	English	・ 表示する言語を英語に設定します。	126 ページ
(6)	简体中文	・ 表示する言語を中国語(簡体)に設定します。	126 ページ

⑤「ヘルプ」内のメニュー構成と機能説明

オンラインのサポートページや本ソフトウェアのバージョンを表示させることが出来ます。

ヘルプ(H)		左記メニューの状態別、操作可否条件			
		ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	オンラインサポートページ(H) F1	○	○	○	○
(2)	通知	○	○	○	○
(3)	アプリバージョン情報 1.0.0	×	×	×	×
(4)	EDRバージョン情報 EDR-22G_V2.0.2	×	×	×	×

○：操作可能 / ×：操作不可

No.	メニュー名	機能説明	詳細説明ページ
(1)	オンラインサポートページ	・ EDR シリーズや本ソフトウェア、スマホアプリに関するサポートページ(WEB サイト)を表示します。	137 ページ
(2)	通知	・ 受信した通知を表示します。	124 ページ
(3)	アプリバージョン情報	・ 本ソフトウェアのバージョンを表示します。	138 ページ
(4)	EDRバージョン情報	・ SD カードに記録された EDR 本体のバージョンを表示します。	138 ページ

■ メインビューと再生ツール

● メインビューの機能と構成について

メインビューは、メインの再生画面、再生ツール、シークバーで構成され、再生関連の操作は、このメインビューからおこなうことができます。

■ メインビューの構成



● 再生ツールと機能について

メインビューに配置されている「再生ツール」を操作することで、録画ファイルの再生や目的のシーン探し、録画時の状況確認が簡単に出来ます。

ツールアイコン	名称	機能説明	詳細説明ページ
	再生 / 一時停止	・ 録画ファイルを再生、一時停止します。	48 ページ
	停止	・ 録画ファイルの再生を停止します	49 ページ
	前のファイル	・ 再生している録画ファイルの1つ前の録画ファイルを再生します。 ※ 前の録画ファイルが無い場合は、選択出来ません。	50 ページ
	次のファイル	・ 再生している録画ファイルの次の(後の)録画ファイルを再生します。 ※ 次の録画ファイルが無い場合は、選択出来ません。	50 ページ
	コマ戻し	・ 表示している再生位置から1コマ(1フレーム)前の画像を表示します。 ※ 一時停止中のみ操作出来ます。	51 ページ
	コマ送り	・ 表示している再生位置から1コマ(1フレーム)後の画像を表示します。 ※ 一時停止中のみ操作出来ます。	51 ページ
	再生速度	・ 録画ファイルの再生速度を変更します。 ・ x0.25 / x0.5 / x1.0(標準) / x1.5 / x2.0 の5段階で再生速度を変更出来ます。	52 ページ
	ミュート/ミュート解除	・ 録画ファイル再生時の音声をミュート(消音)、ミュートを解除します。	53 ページ
	画面キャプチャ	・ メインビューに表示中の画像(静止画)を保存します。	54 ページ
	メイン・サブ入れ替え	・ メインビューとサブビューで表示している再生中の画面を入れ替えます。(2カメラモデルのみ) ※ サブビューウィンドウが非表示状態でも入れ替えが出来ます。	56 ページ
	ズームイン / ズームアウト	・ メインビューで表示している再生中の画面をズーム、ズーム解除します。拡大倍率は約1.5倍です。	55 ページ
	全画面表示 / 全画面表示の解除	・ メインビューで再生中の画面を全画面表示、全画面表示を解除します。	57 ページ

※ 操作出来ないツールアイコンは、グレーアウトで表示されます。

■ 地図ウィンドウ ※GPS 搭載モデルのみ

● 地図ウィンドウの機能と構成について

地図ウィンドウは、録画ファイルの再生に合わせ、記録された GPS 位置情報をもとに自車位置と走行軌跡を表示します。

また、地図に表示されているツールを使用して、地図の表示を変更することができます。

注意

- ・ 地図の情報および地図の機能は、Google マップのサービスを使用しています。そのため、地図の内容やツールなどが変更されることがあります。
- ・ 録画および再生する時期により、道路整備など地図情報が更新されることで、車両の位置や走行軌跡、地図の道路表示が走行録画時と異なることがあります。

■ 地図ウィンドウの構成



「緯度」を表示します

「経度」を表示します

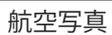
■ 地図ウィンドウのツール(Google マップの機能)



・ 標準の地図を表示します。



・ 地形を表した地図を表示します。
・ 「地図」の上にカーソルを合わせるか、「地図」をクリックすると表示されます。



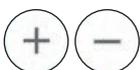
・ 航空写真を表示します。



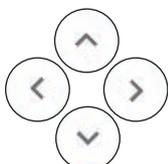
・ 航空写真表示に地名や施設名などのラベルを表示します。
・ 「航空写真」の上にカーソルを合わせるか、「航空写真」をクリックすると表示されます。



・ 地図の移動や地図の縮尺を変更するツールを表示、非表示します。



・ 地図の縮尺を変更します。
・ 「+」で拡大し、「-」で縮小します。



・ 地図表示を移動します。
・ 「^」で上に移動、「v」で下に移動、「<」で左に移動、「>」で右に移動します。

■ サブビューウィンドウ ※ 2カメラモデルのみ

● サブビューウィンドウの機能について

サブビューウィンドウは、サブの再生画面です。2カメラモデルの録画ファイルを再生するときメインビューとリンクする録画ファイルを再生します。

■ サブビューウィンドウの構成



再生画面

- ・ サブビューの再生画面は、メインビューの再生操作に連動します。単独での再生操作は出来ません。
- ・ メインビューでフロントカメラの録画ファイルを再生しているときは、サブビューウィンドウでリアカメラの録画ファイルを再生し、メインビューでリアカメラの録画ファイルを再生しているときは、サブビューウィンドウでフロントカメラの録画ファイルを再生します。

■ ファイルウィンドウ

● ファイルウィンドウの機能と構成について

ファイルウィンドウは、録画ファイルの読み込みや再生する録画ファイルを選択する画面です。録画ファイルを選択して再生すると、時間リストに再生中の録画ファイルの色付きの背景で表示します。再生の進行状況に合わせて色付きの背景も移動し、どの録画ファイルが再生されているか確認出来ます。また、各種ツールを使用することでファイルリストや録画ファイルの操作をすることが出来ます。

■ ファイルウィンドウの構成



- ①  データフォルダ読み込み ・録画ファイルの読み込み画面を開きます。
- ②  常時録画 常時録画 ・常時録画ファイル、衝撃録画ファイル、手動録画ファイルを含むリストを表示します。
・一連の録画ファイルを確認するときに選択します。
- ③  衝撃録画 衝撃録画 ・衝撃録画ファイルのリストのみを表示します。
・衝撃を検知してイベント録画した衝撃録画ファイルのみを確認するときに選択します。
- ④  手動録画 手動録画 ・手動録画ファイルのリストのみを表示します。
・手動でイベント録画した手動録画ファイルのみを確認するときに選択します。
- ⑤ 日付リスト ・録画開始日時をリストで表示します。
・選択すると、選択した日時の時間リストが表示されます。
- ⑥ 時間リスト ・録画ファイルの時刻をリストで表示します。
・選択して再生することが出来、再生中の録画ファイルの色付きの背景で表示します。再生に合わせて色付きの背景が移動し、再生されている録画ファイルを確認出来ます。
- ⑦  1 ファイル再生 1 ファイル再生 ・チェックボックスにチェックを入れ、時間リストの録画ファイルを選択すると、選択した 1 ファイルのみを再生します。
- ⑧  ファイルリストのクリア ・読み込んだファイルリストを消すことが出来ます。
- ⑨  ファイルの場所を開く ・選択中または再生中のファイルの保存場所をエクスプローラーで表示します。

- ⑩
タグ選択
タグ選択
 - ・ タグ付けされた録画ファイルでリストに表示する録画ファイルをフィルタリングすることが出来ます。
 - ・ 「タグで録画ファイルをフィルタリングする」(108 ページ) を参照してください。
- ⑪
 ファイル保護 / 保護解除
 - ・ ボタンをクリックすると、日付リスト、時間リストにチェックボックスが表示され、任意の録画ファイルを保護、または保護の解除をすることが出来ます。
 - ・ 録画ファイルの保護、保護解除は「録画ファイルを選択して保護 / 保護解除する」(110 ページ)を参照してください。
- ⑫
 録画ファイル連結保存
 - ・ ボタンをクリックすると、日付リスト、時間リストにチェックボックスが表示され、任意の録画ファイルを連結してひとつのファイルに保存することが出来ます。
 - ・ 録画ファイル連結保存は「録画ファイルを連結保存する」(70 ページ)を参照してください。
- ⑬
 タグ付け
 - ・ ボタンをクリックすると、日付リスト、時間リストにチェックボックスが表示され、任意の録画ファイルにタグを付けることが出来ます。
 - ・ 録画ファイルのタグ付けは「録画ファイルにタグを付ける」(101 ページ)を参照してください。
- ⑭
 ファイル削除
 - ・ ボタンをクリックすると、日付リスト、時間リストにチェックボックスが表示され、任意の録画ファイルを削除することが出来ます。
 - ・ 録画ファイルの削除手順は、「録画ファイルを選択して削除する」(116 ページ)を参照してください。

■ 速度ウィンドウ ※GPS 搭載モデルのみ

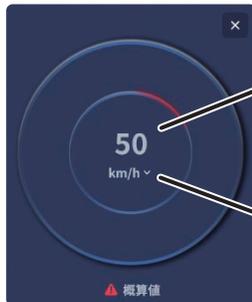
● 速度ウィンドウの機能と構成について

速度ウィンドウは、録画ファイルに記録された GPS 位置情報から演算し、自車のおおまかな走行速度を表示します。

注意

- 記録された GPS 情報の誤差や GPS 信号を受信出来ない状況が発生した場合、速度表示出来なかったり、実際の走行速度と大きく異なる速度を表示したりすることがあります。

■ 速度ウィンドウ



速度表示

速度単位選択：「km/h」表示と「mph」表示を切り替えることが出来ます。

■ Gグラフウィンドウ

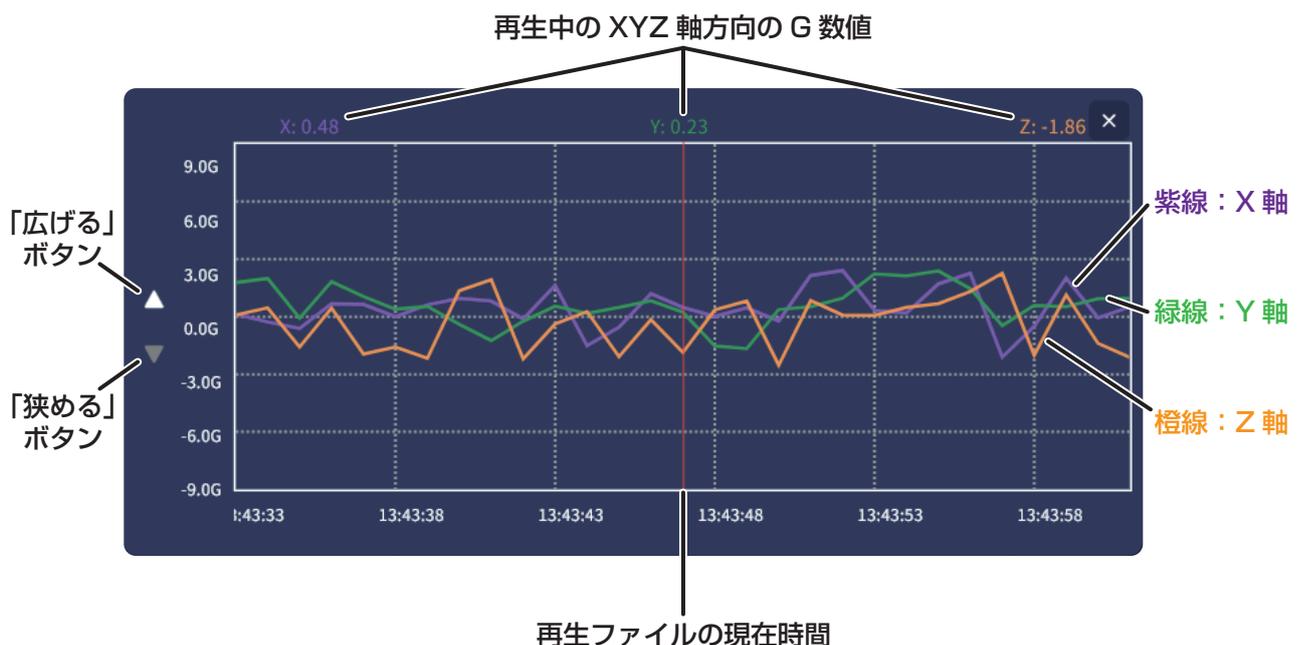
● Gグラフウィンドウの機能と構成について

Gグラフウィンドウは、録画ファイルの再生に合わせ、記録されたGセンサーの情報をもとに再生中のG数値と再生前後のG数値変化をグラフで表示します。

注意

- EDR 本体の衝撃検知感度の設定が「OFF」で録画されたファイルの場合、G センサーの情報が記録されていないため、グラフおよび数値による表示が出来ません。

■ Gグラフウィンドウの構成



・数値およびグラフは、1秒毎に更新されます。

・グラフのG(縦軸)の範囲は、「広げる」ボタン(▲)、「狭める」ボタン(▼)により4段階で調整出来ます。

● Gセンサー方向図について

Gグラフウィンドウに表示されるGの向きと、正負の方向をEDR本体イラストで表示します。

● Gセンサー方向図を表示 / 非表示する

- 「Gセンサー方向図」は、メニューの「表示」から「Gセンサー方向図」(30 ページ)を選択するか、下記のキーボード操作で、表示することが出来ます。

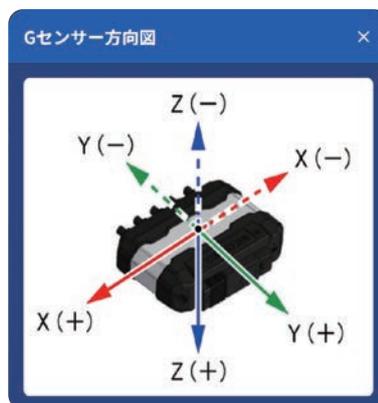
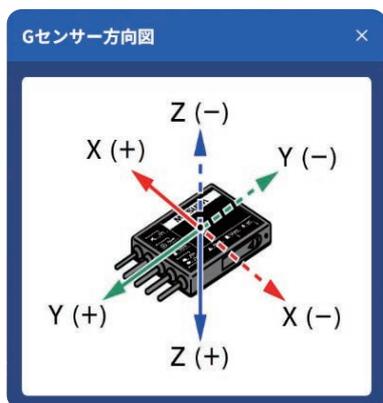
< Windows >



< Mac >



■ Gセンサー方向図



- 表示される「Gセンサー方向図」のEDR本体イラストは、SDカードに保存されるEDR本体のファームウェアバージョンによって識別します。
- EDR本体のファームウェアバージョンによっては、識別されないことがあります。この場合、「Gセンサー方向図」のEDR本体イラストは上記左図の表示になります。

- 「Gセンサー方向図」を閉じるときは、「Gセンサー方向図」右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックするか、下記のキーボード操作で、閉じることが出来ます。

< Windows >



< Mac >



録画ファイルを読み込む

EDR の録画ファイルの読み込みについて

EDR から取り外した microSD カードや PC 内のバックアップファイルから録画ファイルを読み込む手順です。

EDR の録画ファイルを読み込む

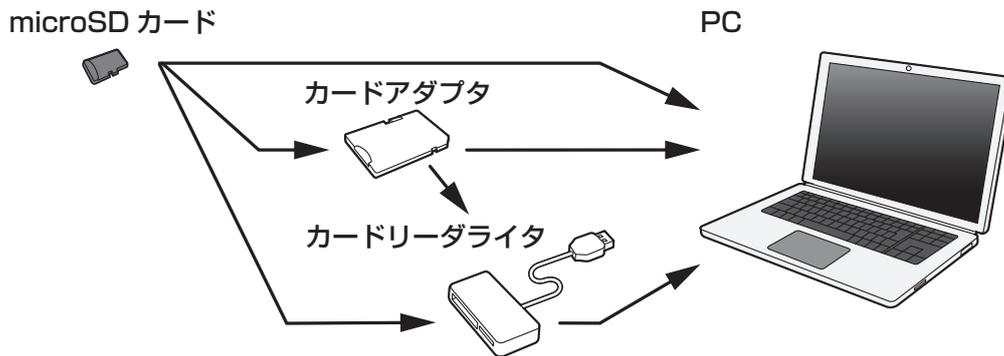
1. 「Moto DR2」を起動後、microSD カードを PC に接続します。

※ microSD カードから録画ファイルを読み込む場合

注意

- 必ず、接続する microSD カードの規格に適合した機器を使用してください。microSD カードや microSD カード内の録画ファイルを正しく認識出来ません。
- 使用する PC やカードリーダーの取扱説明書に従って接続してください。microSD カードの破損、ファイルの消失や破損、機器の故障の原因となります。

接続方法の例



2. データフォルダ読み込み画面を表示します。

- 読み込み画面の表示方法は、下記の3つの方法があります。

I. メニューバーの「ファイル」から、「データフォルダ読み込み」を選択します。



II. 下記のキーボード操作で表示する。

< Windows >



< Mac >



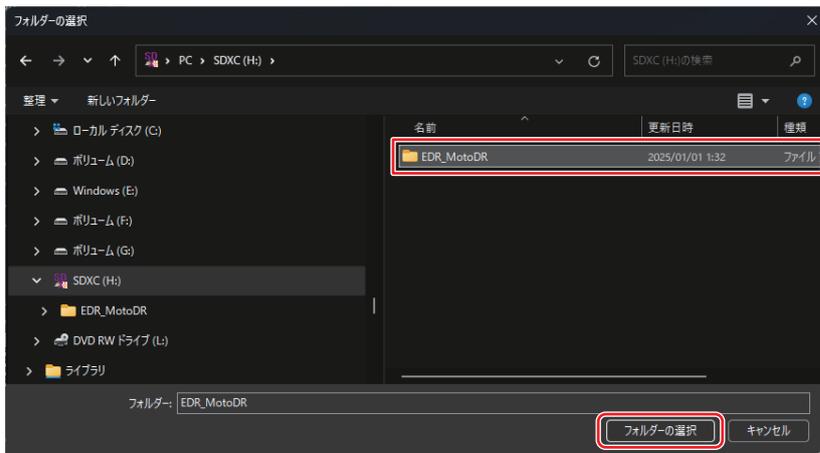
III. ファイルウィンドウのフォルダボタンをクリックする。



3.「フォルダーの選択」の画面が表示されたら、「EDR_MotoDR」フォルダ※または PC などへバックアップしたフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

※ EDR 本体が、microSD カード内に作成するフォルダ名です。

フォルダーの選択画面



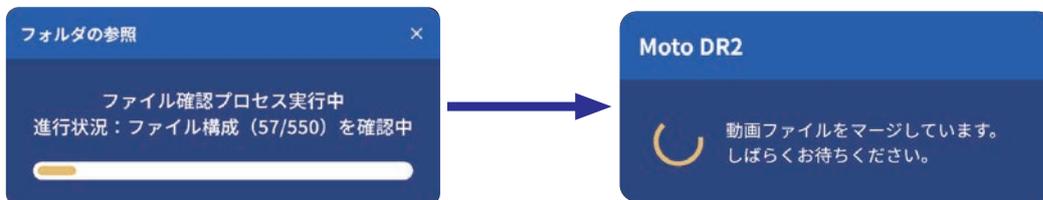
「EDR_MotoDR」フォルダをクリック

「フォルダーの選択」をクリック

- 適切なフォルダを選択していない場合は、エラーが表示されます。
エラー表示した場合は、「OK」ボタンをクリックしてエラー画面を閉じ、手順 2 からやり直してください。



4. 録画ファイルを読み込みます。読み込み中は、下記画面を表示します。



※ 読み込むファイル数が多い場合や PC の環境 (性能) によって、録画ファイルの読み込みが完了するまでに時間がかかることがあります。

5. 録画ファイルの読み込みが完了すると、ファイルリスト内にリストが表示されます。

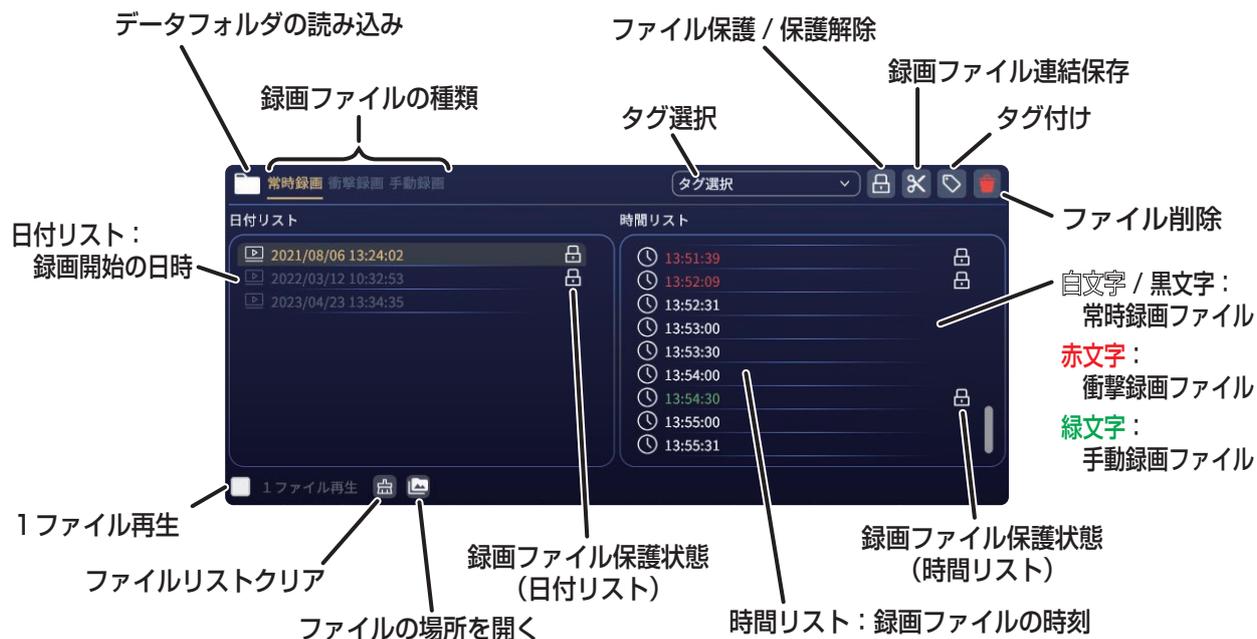


以上で「EDR の録画ファイルを読み込む」の説明は終わりです。

録画ファイルウィンドウの操作

録画ファイルウィンドウの構成について

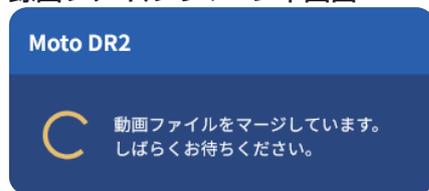
ファイルウィンドウは、録画ファイルの読み込みや再生、削除する録画ファイルを選択する画面です。



録画ファイルリストの操作

- 再生する録画ファイルの種類を選択します。
※「常時録画」には、常時録画ファイルの他に、「衝撃録画」、「手動録画」のイベント録画ファイルが含まれます。
※ 常時録画ファイルを含まない「衝撃録画」、「手動録画」のイベント録画ファイルは、「常時録画」を選択しても常時録画ファイルが存在しないので「日付リスト」には表示されません。
- 「日付リスト」から再生する録画開始の日時をクリックして選択します。
※ リストは昇順(古い日時から新しい日時の順)で表示されます。
※ 再生中は、「日付リスト」を選択出来ません。
- 「日付リスト」から再生する録画開始の日時を選択すると、下記の画面が表示され、動画ファイルのマージ(結合)処理、選択した日時の時間リストと再生の準備をおこないます。

録画ファイルのマージ中画面



- 「時間リスト」の先頭から再生する場合は、下記の2つの方法があります。
 - ・「メインビュー」の再生ボタンをクリックする。
 - ・「時間リスト」先頭の録画ファイル(時刻)をダブルクリックする。
- 「時間リスト」から録画ファイル(時刻)を選択して再生する場合は、下記の2つの方法があります。
 - ・目的の録画ファイルを選択して「メインビュー」の再生ボタンをクリックする。
 - ・目的の録画ファイル(時刻)をダブルクリックする。
- 「時間リスト」の1録画ファイル(時刻)だけ再生したい場合は、「1ファイル再生」のチェックボックスをクリックしチェックを入れることで、選択した録画ファイルのみを再生することが出来ます。
※ 「1ファイル再生」にチェックを入れている場合、「メインビュー」のシークバーは、選択した録画ファイルの再生範囲のみポインタが移動します。
※ 「1ファイル再生」中でも、「時間リスト」の録画ファイル(時刻)選択や「メインビュー」再生ツール操作で、再生する録画ファイルを変更出来ます。選択した録画ファイルの再生が終了すると、再生は停止します。

● 再生する「日付リスト」の切り替えについて

選択中の「日付リスト」の1つ前、1つ後の「日付リスト」へ切り替える方法です。再生停止中のみ操作をおこなうことができます。

※ 録画ファイル再生中は、「日付リスト」の選択切り替えは出来ません。

● 再生する「日付リスト」を切り替える

■ 前の日付リスト / 次の日付リスト

「日付リスト」の切り替え方法は、下記の2の方法があります。

I. メニューバーの「再生」から、「前の日付リスト」または「次の日付リスト」を選択します。



II. キーボード操作で「日付リスト」を切り替える。

・ 下記のキーボード操作で、1つ前の日付リストを選択出来ます。

< Windows >



< Mac >



・ 下記のキーボード操作で、1つ後の日付リストを選択出来ます。

< Windows >



< Mac >



● 再生する録画ファイルを切り替える

再生する録画ファイルを切り替える操作については、「再生する録画ファイルを切り替える」(50 ページ)を参照してください。

● ファイルリストをクリアする

録画ファイルのリストをクリアする操作については、「ファイルリストをクリアする」(92 ページ)を参照してください。

● 再生中 / 選択中の録画ファイルの場所を開く

再生中または選択中の録画ファイルの保存場所を開く操作については、「再生中 / 選択中の録画ファイルの場所を開く」(114 ページ)を参照してください。

● タグを選択した録画ファイルをフィルタリングする

タグ選択操作については、「タグで録画ファイルをフィルタリングする」(108 ページ)を参照してください。

● 録画ファイルを選択して保護 / 保護解除する

録画ファイルの保護、保護解除の操作については、「録画ファイルを選択して保護 / 保護解除する」(110 ページ)を参照してください。

● 録画ファイルを連結保存する

録画ファイルの連結保存の操作については、「録画ファイルを連結保存する」(70 ページ)を参照してください。

● 録画ファイルにタグを付ける / タグを外す

録画ファイルのタグ付け操作については、「録画ファイルにタグを付ける / タグを外す」(101 ページ)を参照してください。

● 録画ファイルを選択して削除する

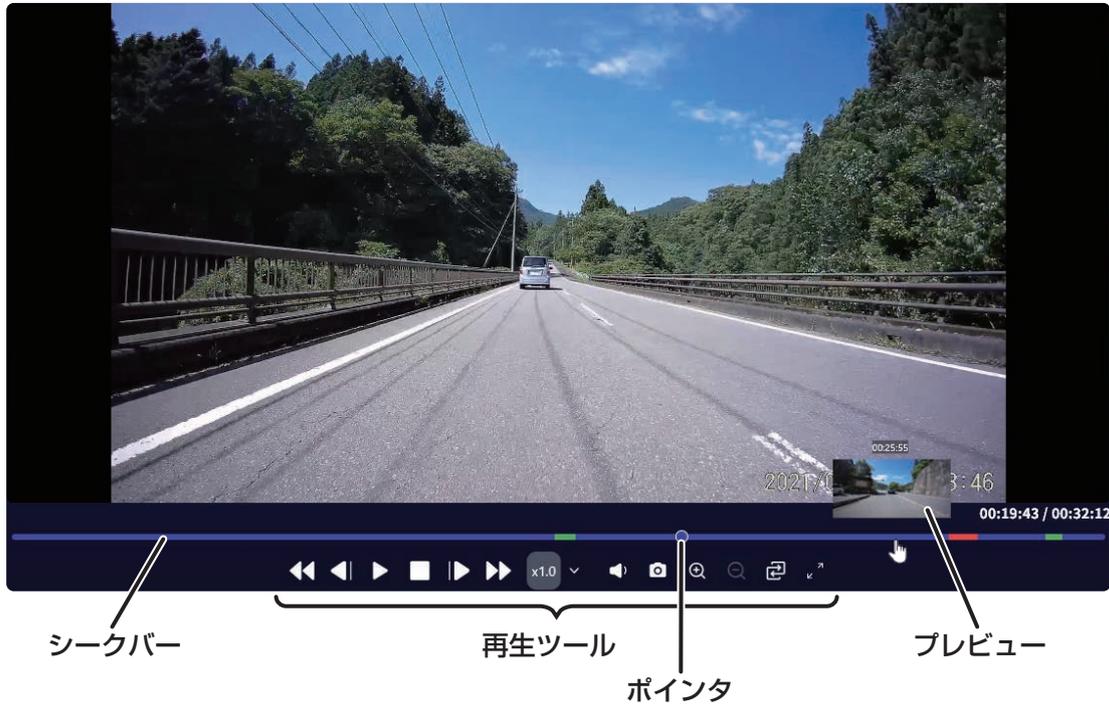
録画ファイルを選択して削除する操作については、「録画ファイルを選択して削除する」(116 ページ)を参照してください。

■ 基本的な再生操作

● メインビューの構成について

メインビューは、録画ファイルの再生画面、再生ツール、シークバーで構成されています。再生の操作は、このメインビュー画面でおこなうことができます。

メインビュー の録画ファイル再生画面(一時停止中)



● 録画ファイルの再生 / 一時停止 / 停止について

録画ファイルを再生して映像を確認することができます。

一時停止により瞬間の映像を確認したり、コマ送り / コマ戻し機能を使用したりすることができます。

停止をすることで再生する日付リストの選択が可能になります。また一部の再生機能をリセットすることができます。

● 録画ファイルの再生 / 一時停止 / 停止の操作

■ 再生操作

選択した録画ファイルの映像を再生します。

- ・ 再生ツールの再生  をクリックすると、録画ファイルを再生します。

下記のキーボード操作でも、再生することができます。

< Windows / Mac >

Space / スペース

※ 再生中は、再生ツールの再生  が一時停止  の表示に変わります。

■ 一時停止操作

再生を一時的に停止したり、確認したい場面の静止画を見たりするときに使用します。

- 再生ツールの一時停止を  クリックすると、再生を一時停止します。

下記のキーボード操作でも、一時停止することが出来ます。

< Windows / Mac >



※ 一時停止中は、再生ツールの一時停止  が再生  の表示に変わります。

■ 停止操作

再生を中断したり、別の「日付リスト」を選択したりするときに使用します。

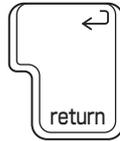
- 再生ツールの停止  をクリックすると、再生や一時停止状態を停止状態にします。

下記のキーボード操作でも、停止することが出来ます。

< Windows >



< Mac >



※ 停止操作すると、各ウィンドウ(メインビュー、サブビュー、地図ウィンドウ、速度ウィンドウ、G グラフウィンドウ)の表示がリセットされます。

● 再生する録画ファイルの切り替えについて

再生中の録画ファイルの1つ前、1つ後の録画ファイルへ切り替える方法です。確認したい場面の録画ファイルを探すときに使用します。

● 再生する録画ファイルを切り替える

■ 前の録画ファイルへ切り替える

- 再生ツールの前のファイル  を1回クリックすると、1つ前の録画ファイルへ切り替わります。

下記のキーボード操作でも、1つ前の録画ファイルへ切り替えることができます。

< Windows / Mac >



■ 次の録画ファイルへ切り替える

- 再生ツールの次のファイル  を1回クリックすると、1つ後の録画ファイルへ切り替わります。

下記のキーボード操作でも、1つ後の録画ファイルへ切り替えることができます。

< Windows / Mac >



● シークバーの操作について

確認したい映像をいち早く探すのに便利な機能です。

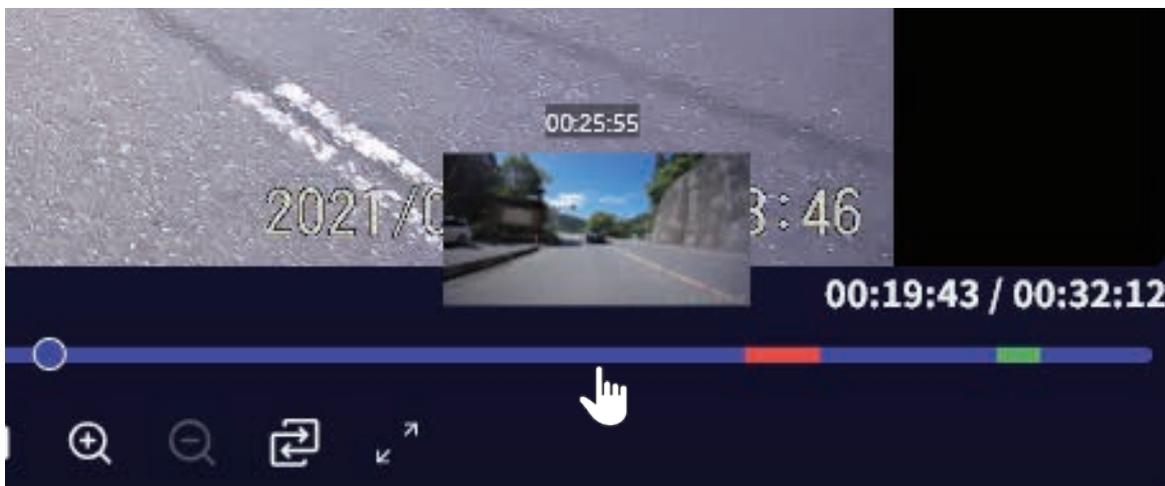
● 確認したい映像を探す

■ シークバーのプレビューで確認したい映像を探す

シークバーにカーソルを重ね、表示されるプレビューから確認したい映像を探すことができます。

- シークバー上にカーソルを重ねると、その位置のメインビュー映像がプレビュー表示されます。カーソルを移動し、確認したい映像のところでマウスをクリックすると、その場面へシークバーのポインタが移動し、移動前の再生状態(停止 / 再生 / 一時停止)を維持します。

プレビュー表示



■ コマ送り / コマ戻し

● コマ送り / コマ戻しについて

一時停止中の映像の 1コマ(1フレーム)前、1コマ(1フレーム)後の映像をメイン / サブビューウィンドウで確認することができます。

● 映像を 1コマ(1フレーム)毎に確認する

コマ送り / コマ戻し操作は、一時停止中のみおこなえます。
一時停止の操作については、「基本的な再生操作」(48 ページ)を参照してください。

■ コマ送り

- 一時停止中に再生ツールのコマ送り  をクリックすると、1コマ(1フレーム)後の映像が表示され、更にコマ送り操作すると 1コマ(1フレーム)づつ後の映像が表示されます。

下記のキーボード操作でも、1コマ(1フレーム)後の映像を確認することができます。

< Windows / Mac >



■ コマ戻し

- 一時停止中に再生ツールのコマ戻し  をクリックすると、1コマ(1フレーム)前の映像が表示され、更にコマ送り操作すると 1コマ(1フレーム)づつ前の映像が表示されます。

下記のキーボード操作でも、1コマ(1フレーム)づつ前の映像を確認することができます。

< Windows / Mac >



再生速度を変更する

● 再生速度の変更について

再生速度を5段階で変更して、映像を確認することが出来ます。(標準はx1.0です)
確認したい映像まで速く再生したり、確認したい映像をじっくり確認したりするのに便利な機能です。
再生を停止すると、再生速度は標準に戻ります。

● 再生速度を速くする、遅くする、標準に戻す

■ 再生速度変更操作

- 再生ツールの速度変更 **x1.0** をクリックし、再生速度を表示します。

再生速度表示



- 再生したい速度をクリックします。

■ 再生速度を速くする

- 再生速度を速くする場合は、「x1.5」または「x2.0」を選択します。
「x1.5」で1.5倍速、「x2.0」で2.0倍速で再生します。

下記のキーボード操作でも、再生速度を速くすることが出来ます。

< Windows >



< Mac >



■ 再生速度を遅くする

- 再生速度を遅くする場合は、「x0.5」または「x0.25」を選択して変更します。
「x0.5」で0.5倍速、「x0.25」で0.25倍速で再生します。

下記のキーボード操作でも、再生速度を遅くすることが出来ます。

< Windows >



< Mac >



■ 再生速度を標準にする

- 再生速度を標準に戻す場合は、「x1.0」を選択します。

下記のキーボード操作でも、再生速度を標準に戻すことが出来ます。

< Windows >



< Mac >



■ 再生時の音声をミュートする ※音声記録 ON のファイルのみ

● 再生時の音声ミュート

再生中の録画ファイルの音声をミュート(消音)することができます。

● 再生時の音声をミュートする / ミュートを解除する

■ 音声をミュートする

- ・再生ツールのミュート  をクリックすると、再生時の音声がミュートになります。

< Windows / Mac >



※ミュート中は、ツールのミュート  がミュートの解除  に変わります。

■ ミュートを解除する

- ・再生ツールのミュートの解除  をクリックすると、音声のミュートが解除されます。

下記のキーボード操作でも、音声のミュートを解除することができます。

< Windows / Mac >



※ミュートの解除中は、ツールのミュートの解除  がミュート  に変わります。

■ 静止画を保存する

● メインビュー再生画面の静止画保存について

メインビューに表示中の映像 1 コマ(1 フレーム)を静止画(JPEG 形式)として保存することができます。保存される解像度は、録画時の解像度となります。

● メインビュー再生画面の静止画を保存する

■ 再生画面の静止画を保存する

1. 再生中、一時停止中に再生ツールの画面キャプチャ  をクリックすると、画像ファイル保存画面が表示されます。

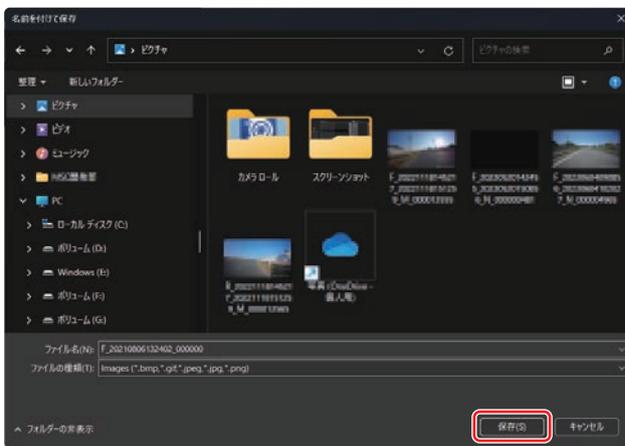
下記のキーボード操作でも、再生画面の静止画を保存することができます。

< Windows / Mac >



2. 画像ファイルの保存場所を指定し、ファイル名を入力後に「保存」ボタンをクリックします。

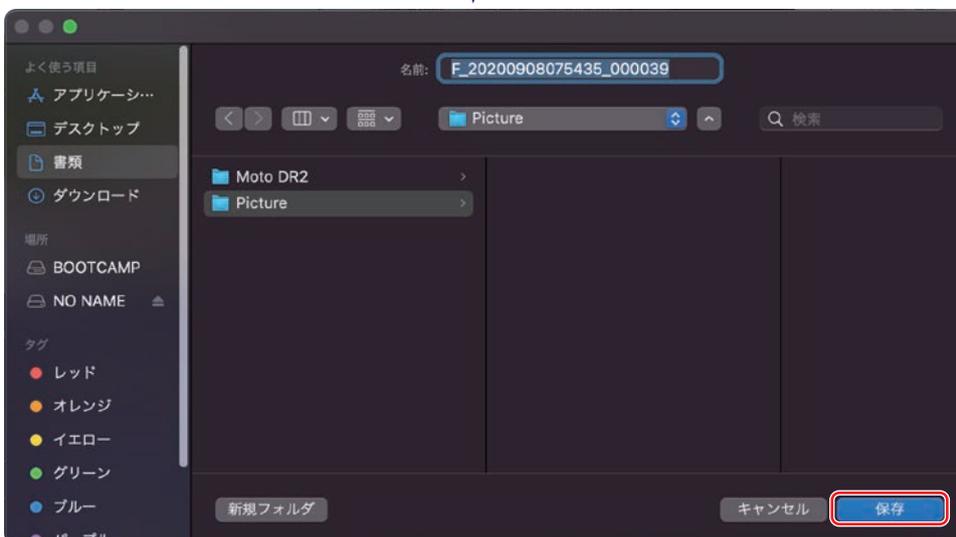
画像ファイル保存画面 < Windows >



画像ファイル保存画面 < Mac >



※ 「✓」ボタンを押すことで、別の保存場所を選択出来ます。



■ ズーム機能を使う

● ズーム機能について

ズーム機能を使用することで、メインビューに表示している映像を約 1.5 倍に拡大して確認することができます。また映像をドラッグすることで撮影映像の範囲で映像の中心を調整することもできます。

● ズーム機能を使用する

■ メインビュー映像をズーム(拡大)する

再生ツールのズームイン  をクリックすると、メインビュー映像をズームします。

- ・ 下記のキーボード操作でも、メインビュー映像をズームすることができます。

< Windows / Mac >



※ 映像ズーム中に再生を停止すると、映像ズームが解除されます。

メインビュー映像ズーム前



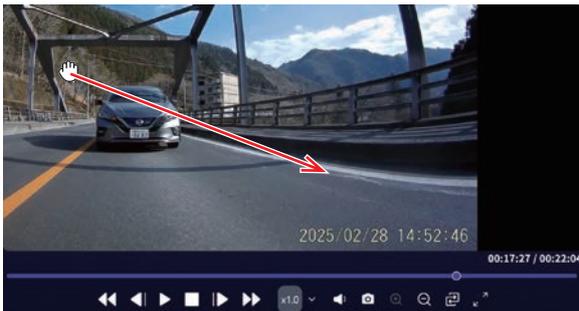
メインビュー映像ズーム中



■ ズームした映像の表示範囲を調整する

- ・ 映像をズームしたメインビュー上にカーソルを移動すると、カーソルが  の表示に変わります。カーソルが  の状態でドラッグすると、カーソルが  の表示に変わり、その状態でカーソルを動かすと、映像を表示範囲を調整することができます。

ドラッグして映像表示範囲を調整



■ メインビュー映像をズーム(拡大)を解除する

- ・ メインビュー映像ズームを解除するときは、ズームアウト  をクリックします。

下記のキーボード操作でも、メインビュー画面ズームを解除することができます。

< Windows / Mac >



■ メインビューとサブビューの画面を入れ替える

● メインビューとサブビュー画面の入れ替えについて

メインビュー画面とサブビュー画面を入れ替えることができます。サブビュー画面映像をメインビュー画面に表示することで、再生画面の静止画保存や映像ズーム、全画面表示などの機能が使用出来るようになります。

再生を停止すると、メインビュー / サブビュー画面の入れ替えは解除されます。

● メインビューとサブビュー画面を入れ替える

■ メインビューとサブビュー画面を入れ替える

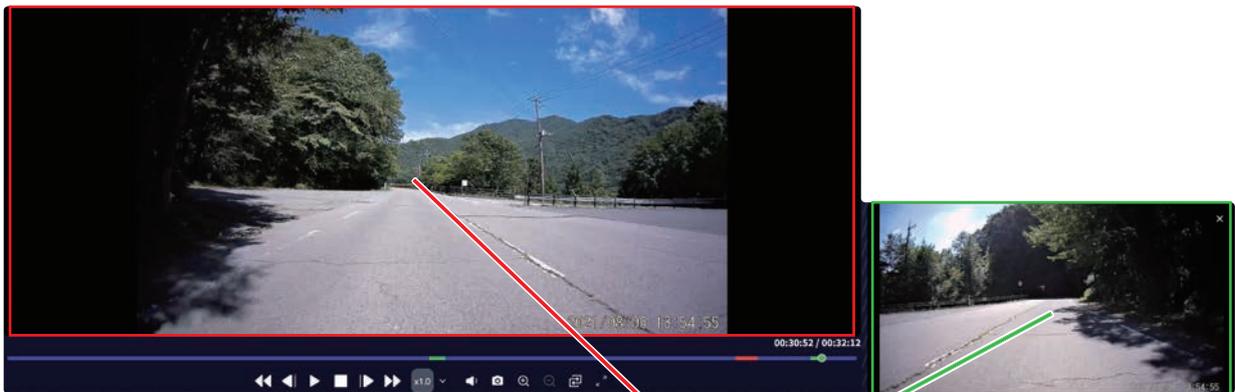
- ・ファイル再生中または一時停止中に再生ツールのメイン・サブ入れ替え  をクリックして、メインビューとサブビューの画面を入れ替えます。

下記のキーボード操作でも、メインビューとサブビュー画面を入れ替えることができます。

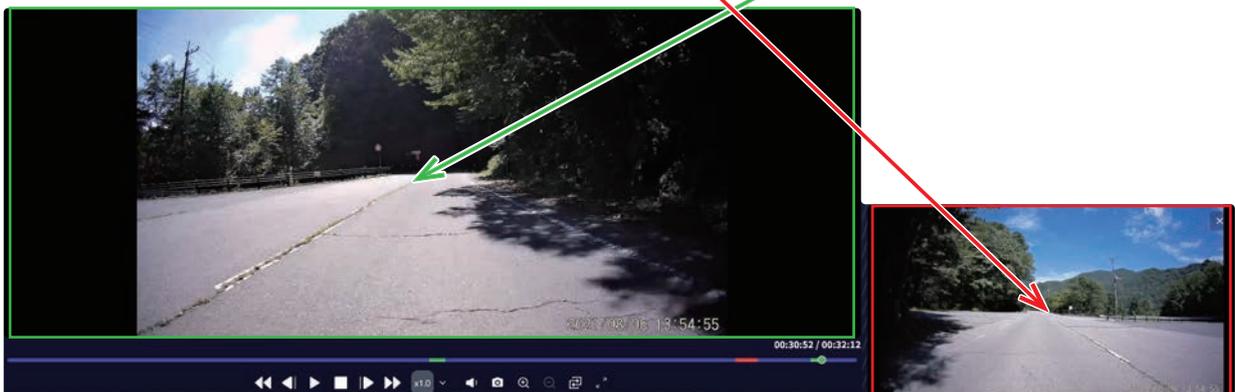
< Windows / Mac >



メインビュー / サブビュー画面入れ替え前



メインビュー / サブビュー画面入れ替え後



■ メインビューとサブビュー画面をもとに戻す

- ・メインビューとサブビュー画面の入れ替え操作をした後に再生ツールのメイン・サブ入れ替え  をクリックすると、再びメインビューとサブビューの画面が入れ替わります。

下記のキーボード操作でも、メインビューとサブビュー画面を入れ替えることができます。

< Windows / Mac >



■ 全画面表示で再生する

● メインビュー映像の全画面表示について

メインビューで表示中の映像をモニタ全体に拡大して表示することができます。

● メインビュー映像を全画面で表示する

■ メインビュー映像を全画面表示する

- 再生ツールのメインビュー全画面表示  をクリックすると、メインビュー映像を全画面で表示します。
下記のキーボード操作でも、メインビュー映像を全画面で表示することができます。

< Windows >



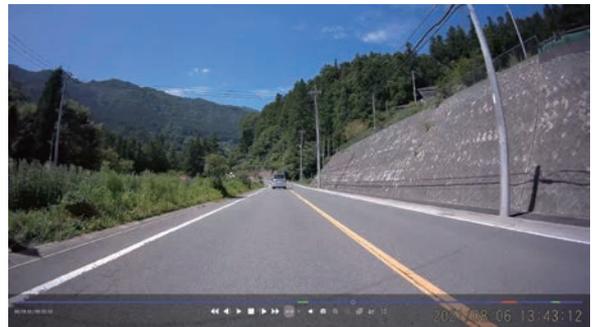
< Mac >



通常画面表示



メインビュー全画面表示



■ シークバーと再生ツール

全画面表示中のシークバーと再生ツールは、通常表示のときと同じように操作することができます。



■ シークバー、再生ツール、カーソルの自動非表示と再表示

全画面表示中は、シークバー、再生ツールの表示が下記条件で非表示 / 再表示されるようになります。

- シークバーと再生ツールの非表示条件
カーソルがシークバーと再生ツールの範囲から約5秒以上外れると、シークバーと再生ツールが非表示になります。
- シークバーと再生ツールの再表示条件
カーソルをシークバーと再生ツールの範囲内に動かすと、シークバーと再生ツールが再表示されます。

シークバー、再生ツール表示状態



シークバー、再生ツール非表示状態



■ メインビュー映像を全画面表示から通常画面表示に戻す

- 再生ツールの全画面表示の解除  をクリックすると、全画面表示前の画面表示に戻ります。

下記のキーボード操作でも、全画面表示前の画面表示に戻すことができます。

< Windows >



または



< Mac >



または



メインビュー全画面表示



通常画面表示



■ 全画面表示状態でGグラフの表示/非表示を切り替える

● 全画面表示状態で G グラフの表示 / 非表示について

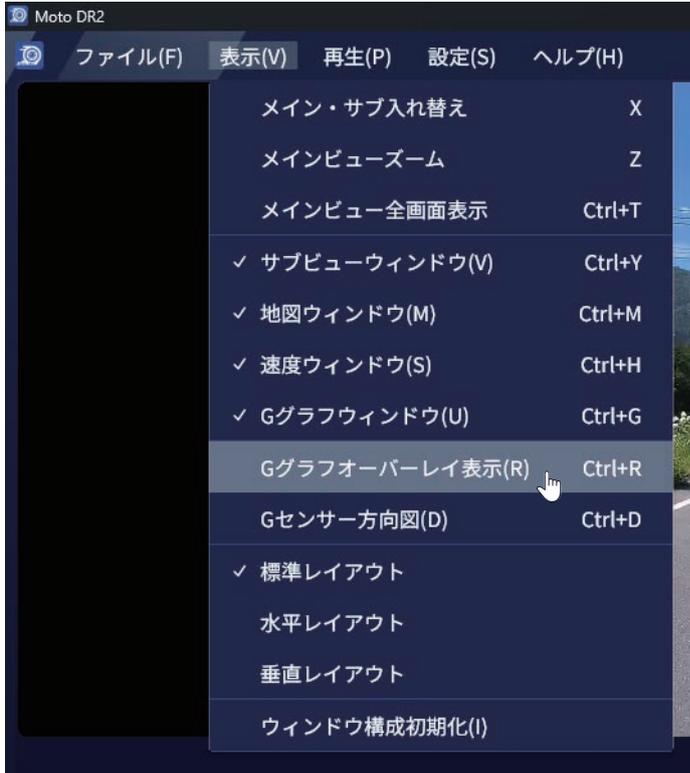
全画面表示中に G グラフを重ねて表示することができます。

● 全画面表示状態で G グラフを表示 / 非表示する

■ 全画面表示状態の G グラフ表示 / 非表示

全画面表示状態で G グラフを表示 / 非表示させる方法は、下記の 3 つの方法があります。

I. 通常画面のメニューバーの「表示」から、「G グラフオーバーレイ表示」を選択します。



・項目の左に「✓」がある場合、G グラフは表示され、「✓」がない場合、G グラフは非表示となります。

II. 再生ツールの G グラフオーバーレイ  をクリックする。

III. 下記のキーボード操作で、表示 / 非表示を切り替える。

< Windows >



< Mac >



G グラフオーバーレイ表示



- Gグラフをドラッグすることで、G グラフを任意の場所に移動することができます。
- ※ 全画面表示を解除すると、G グラフの位置は初期の位置にリセットされます。

Gグラフの移動イメージ



Gグラフ移動後の表示例



再生操作

■ ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える

● ウィンドウの表示 / 非表示について

EDR のモデルやお好みに合わせて、ウィンドウを表示 / 非表示することが出来ます。(一部ウィンドウを除く)

■ 表示と非表示が可能なウィンドウ

表示と非表示が可能なウィンドウは下記の通りです。

- ・サブビューウィンドウ
- ・地図ウィンドウ
- ・速度ウィンドウ
- ・G グラフウィンドウ

※ ウィンドウの名称については、「表示ウィンドウについて」(26 ページ) を参照してください。

■ 表示と非表示の状態の記憶

ウィンドウの表示と非表示の状態は下記ウィンドウ配置毎に記憶されます。

- ・標準レイアウト
- ・水平レイアウト
- ・垂直レイアウト

※ ウィンドウの配置設定については、「ウィンドウの配置設定を切り替える (64 ページ) を参照してください。

● ウィンドウを表示 / 非表示にする

■ ウィンドウの表示 / 非表示

I. メニューバーの「表示」から、各ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える。

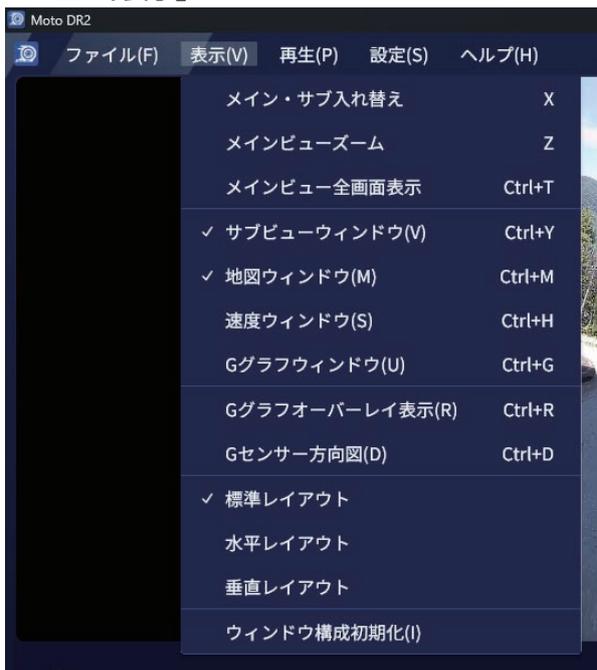
サブビューウィンドウ：「表示」→「サブビューウィンドウ」

地図ウィンドウ：「表示」→「地図ウィンドウ」

速度ウィンドウ：「表示」→「速度ウィンドウ」

G グラフウィンドウ：「表示」→「G グラフウィンドウ」

メニュー「表示」



・項目の左に「✓」がある場合、ウィンドウは表示され、「✓」がない場合、ウィンドウは非表示となります。

II. 下記のキーボード操作で、ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える。

< Windows >

サブビューウィンドウ



地図ウィンドウ



速度ウィンドウ



G グラフウィンドウ



< Mac >

サブビューウィンドウ



地図ウィンドウ



速度ウィンドウ



G グラフウィンドウ



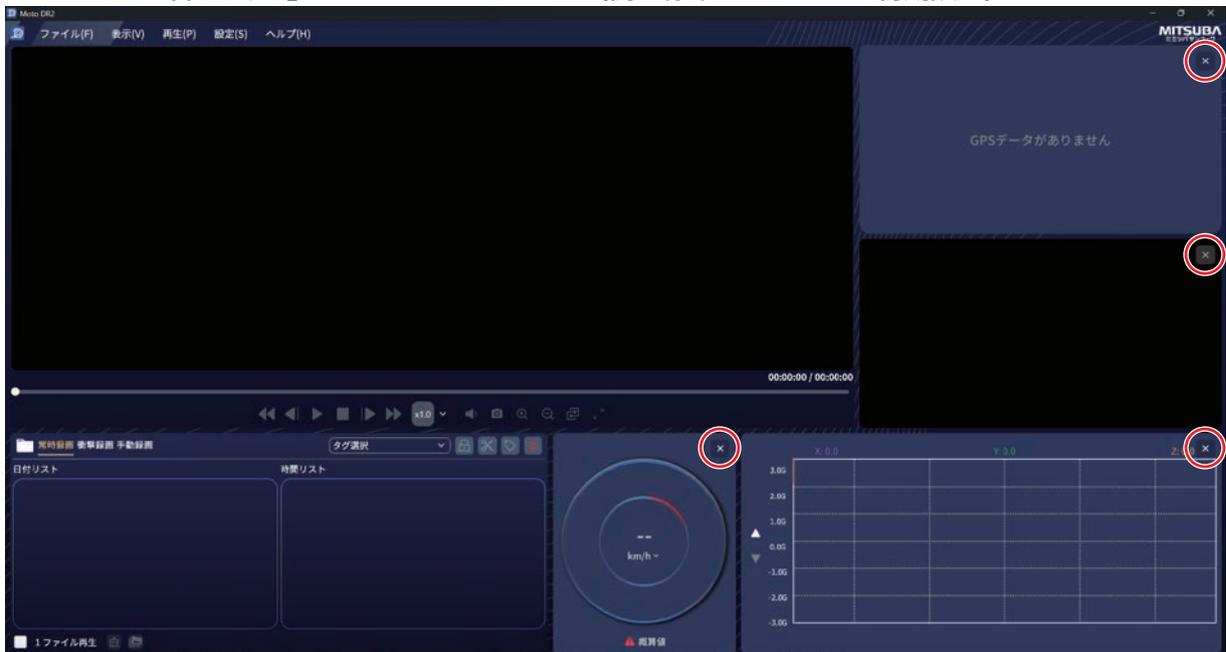
● 簡単な操作でウィンドウを非表示にする

簡単な操作でウィンドウを非表示状態にすることが出来ます。

■ ウィンドウの非表示

- 各ウィンドウの右上に「×」マークがあるウィンドウは、「×」をクリックすることで、ウィンドウを非表示にすることが出来ます。

ウィンドウの右上に「×」マークがあるウィンドウ(例：標準レイアウトの初期設定)



■ ウィンドウの配置設定を切り替える

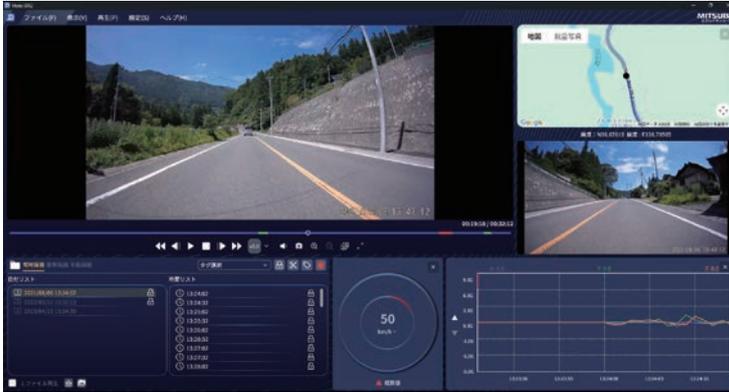
● ウィンドウの配置設定について

ウィンドウの配置設定を3種類から選択出来ます。
標準レイアウト / 水平レイアウト / 垂直レイアウト

■ ウィンドウの配置設定名称と特徴説明

※ 下記画像の各ウィンドウ配置設定は、初期の状態をアスペクト比 16:9 のモニタで表示したものです。

・ 標準レイアウト(初期設定)



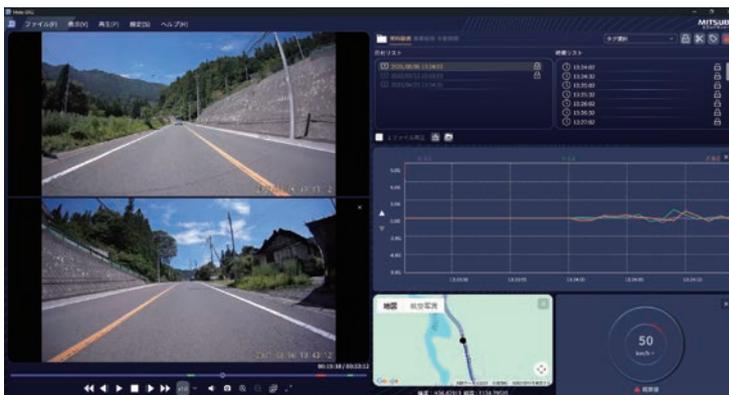
説明
メインビューの表示を主とした標準の設定です。

・ 水平レイアウト



説明
メインビューとサブビューを水平に配置した設定です。
フロントカメラ、リアカメラの録画映像が見やすくなります。

・ 垂直レイアウト



説明
メインビューとサブビューを垂直に配置した設定です。
フロントカメラ、リアカメラの録画映像および地図のウィンドウが同程度のサイズで表示されます。

■ ウィンドウ配置設定のカスタマイズ

上記3種類のウィンドウ配置設定を基本として、ウィンドウの表示 / 非表示の切り替え(62 ページ)やウィンドウの幅、高さを調整する(66 ページ)ことで、ご自身に合った視聴ウィンドウ設定にカスタマイズすることが出来ます。

カスタマイズした設定は、各ウィンドウの配置設定に反映されます。

● ウィンドウの配置設定を切り替える

■ ウィンドウの配置設定切り替え

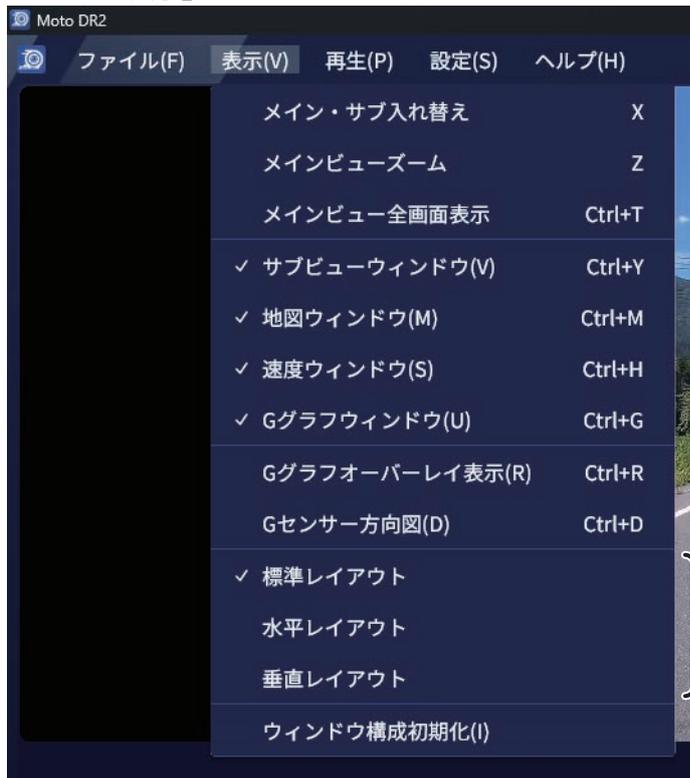
- ・メニューバーの「表示」から、任意のウィンドウ配置設定を選択します。

標準レイアウト：「表示」→「標準レイアウト」

水平レイアウト：「表示」→「水平レイアウト」

垂直レイアウト：「表示」→「垂直レイアウト」

メニュー「表示」



・左に「✓」がある項目が、現在表示されているウィンドウレイアウトです。

■ ウィンドウの幅、高さを調整する

● ウィンドウの幅、高さの調整について

各ウィンドウの幅や高さを調整することで、確認したいウィンドウを大きく表示させたり、お好みに合わせてウィンドウの幅や高さを調整したりすることが出来ます。

● ウィンドウの幅、高さを調整する

■ ウィンドウの幅、高さの調整

ウィンドウの境界や外枠の縁または角にカーソルを合わせると、カーソルが両矢印「 \longleftrightarrow 」(Windows)/ $\leftarrow\rightarrow$ (Mac)に変わります。両矢印「 \longleftrightarrow 」(Windows)/ $\leftarrow\rightarrow$ (Mac)の位置でドラッグすると、ウィンドウの幅や高さを調整することが出来ます。

高さ調整(ウィンドウ境界位置)



幅調整(ウィンドウ境界位置)



高さ幅調整(外枠角位置)

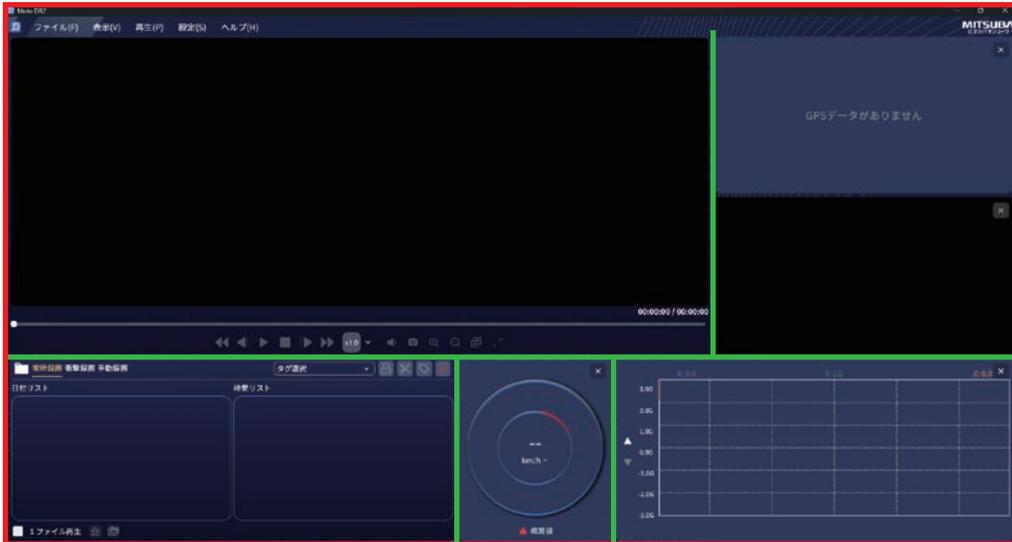


■ ウィンドウの調整可能な位置

ウィンドウの調整可能な位置は、下図の赤線および緑線の位置になります。ウィンドウを最大化している場合は、赤線的位置を調整することは出来ません。

幅、高さ調整可能な位置(赤線、緑線)

例：標準レイアウトの場合



調整前(例)



高さ、幅、調整後(例)



■ ウィンドウ構成を初期の状態に戻す

● ウィンドウ構成の初期化について

任意に設定した非表示ウィンドウや幅、高さを調整したウィンドウ構成を初期の状態に戻すことができます。

■ 初期化によって変更される項目

- ・ サブビューウィンドウ、地図ウィンドウ、速度ウィンドウ、G グラフウィンドウの表示
- ・ 各ウィンドウの幅、高さの比率

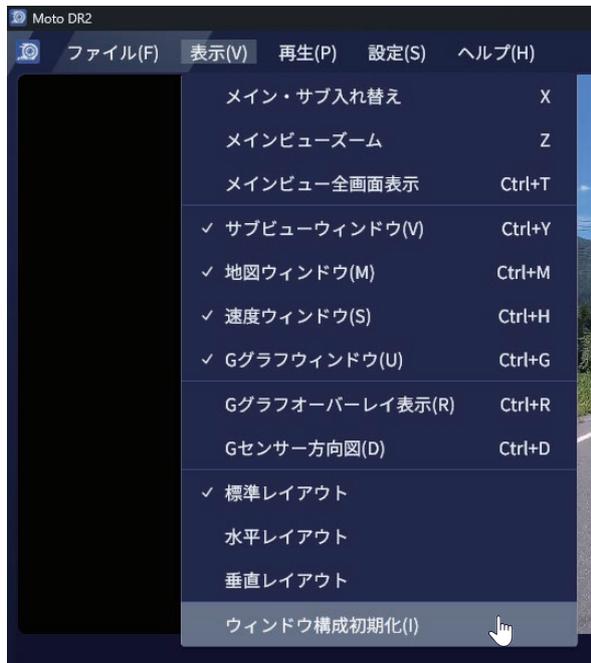
■ 初期化によって変更されない項目

- ・ ウィンドウ全体の表示サイズ
- ・ ウィンドウ全体の表示位置
- ・ 現在表示中のウィンドウ配置設定にのみ適用されます。他の2種類のウィンドウ配置設定には適用されません。

● ウィンドウ構成を初期化する

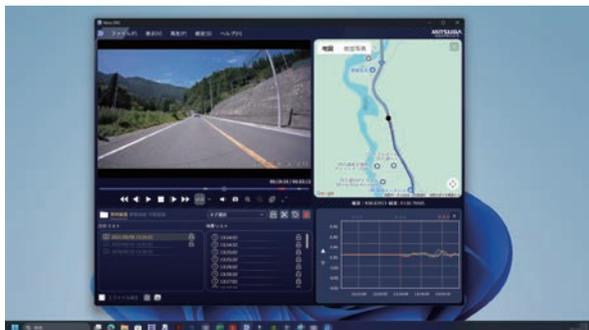
■ ウィンドウ構成の初期

メニューバーの「表示」から「ウィンドウ構成の初期化」を選択します。



「ウィンドウ構成初期化」を実行すると、ウィンドウ構成が初期化されます。

ウィンドウ構成初期化前(例)



ウィンドウ構成初期化後(例)



■ ウィンドウ配置設定の記憶機能

● ウィンドウ配置設定の記憶機能について

カスタマイズしたウィンドウ配置設定は、Moto DR2 終了時の状態を記憶します。次回起動時は、前回の状態を維持して表示します。

■ 記憶されるウィンドウ配置設定の項目

- ・ ウィンドウの配置設定選択
- ・ ウィンドウ全体表示サイズ
- ・ サブビューウィンドウ、地図ウィンドウ、速度ウィンドウ、G グラフウィンドウの表示状態
- ・ すべてのウィンドウの幅、高さ

録画ファイルを連結保存する

● 録画ファイル連結保存機能について

読み込んだ録画ファイルの範囲を指定して、つなぎ目のないひとつの録画ファイルとして保存することが出来ます。録画ファイルを連結保存することで、本ソフトウェア以外のソフトウェアでの再生や動画編集ソフトウェアでの編集が出来るようになります。

なお、もとの録画ファイルは削除や変更されることなく、そのままの状態で見えます。

注意

- ・連結保存した録画ファイルの読み込みや再生は、本ソフトウェアでは出来ません。
- ・連結保存した録画ファイルには、GPS 位置情報や G センサーのデータは保存されません。
- ・連結保存するファイル数が多い場合や使用する PC の環境により、連結保存に時間がかかる場合があります。
- ・連結保存する選択範囲に上書き保存で消去された録画ファイルや任意で削除した録画ファイルを含んでいる場合、欠落した録画ファイルの前後を連結して保存します。
- ・連結保存した録画ファイルは、連結前の録画ファイルより画質が劣化する場合があります。

● 録画ファイルを連結保存する

■ 録画ファイル連結保存画面の説明

ファイルウィンドウのリストで選択した「日付リスト」、「時間リスト」の録画ファイルを連結範囲の指定や、「フロントのみ」/「リアのみ」/「フロント・リア両方」を選択して、録画ファイルを連結保存します。



- ① フロント録画ファイルプレビュー
連結範囲のフロント録画ファイルのプレビューを表示します。
- ② リア録画ファイルプレビュー
連結範囲のリア録画ファイルのプレビューを表示します。
- ③ シークバー
連結範囲のプレビュー再生位置を確認、移動することが出来ます。
- ④ プレビュー再生時間 / 連結範囲全体時間
プレビュー再生の開始からの時間と連結範囲全体の時間を表示します。
- ⑤ ファイル容量
連結後の概算ファイル容量を表示します。(2カメラモデルの場合、フロントとリアの合計ファイル容量)
- ⑥ 「5秒戻し」ボタン
プレビュー再生位置を5秒前に戻します。
- ⑦ 「再生」ボタン
プレビューを再生します。
- ⑧ 「5秒送り」ボタン
プレビュー再生位置を5秒先に送ります。

-
- ⑨ スライダー
連結する録画ファイルの範囲を調整します。
 - ⑩ 連結ファイルの選択
連結する対象の録画ファイル(フロントのみ / リアのみ / フロント・リア両方)を選択します。
 - ⑪ 「音声出力」の選択
連結ファイルの音声を記録する、記録しないの選択が出来ます。(EDR 本体の設定で音声記録をオフに設定して録画されたファイルは、この選択をオンにしても連結ファイルに音声は記録されません)
 - ⑫ 「実行」ボタン
録画ファイルの連結保存を実行します。
 - ⑬ 「キャンセル」ボタン / ⑭ 「×」(閉じる)ボタン
録画ファイルの連結保存をキャンセルします。

■ 録画ファイルを連結保存する

1. 連結する録画ファイルを読み込みます。録画ファイルを読み込む手順は、「録画ファイルを読み込む」(42ページ)を参照してください。
録画ファイルを読み込んでいる場合は、次へ進んでください。
2. 連結保存する対象のファイルを選択します。
ファイルウィンドウの「録画ファイル連結保存」ボタン  をクリックします。



「録画ファイル連結保存」のボタンが  から  に変わり、「日付リスト」および「時間リスト」にチェックボックスが表示されます。



チェックボックス

キャンセルボタン

3. 連結保存したい録画ファイルを選択します。

- ・ひとつの「日付リスト」に含まれる時間リストのすべての録画ファイルを連結保存の対象とする場合
連結保存する「日付リスト」のチェックボックスに「」チェックを入れると、選択した「日付リスト」内のすべての「時間リスト」の録画ファイルに「」チェックが入り、選択されます。
- ・ひとつの「日付リスト」に含まれる時間リストの一部の録画ファイルを連結保存の対象とする場合
連結保存する録画ファイルが含まれる「日付リスト」をクリックして選択します。
「時間リスト」から、連結保存する録画ファイルに「」チェックを入れ選択します。
または、連結保存する録画ファイルが含まれる「日付リスト」のチェックボックスに「」チェックを入れ、「時間リスト」から、連結保存しない録画ファイルのチェックボックスのチェックを「」外します。
- ・複数の「日付リスト」に含まれる時間リストの録画ファイルを連結保存の対象とする場合
上記の操作を組み合わせ、連結保存する録画ファイルを選択します。

※ 録画ファイルの連結保存を中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

4. 連結保存するファイルの選択後、「連結保存」ボタンをクリックして「録画ファイル連結保存」画面を表示します。



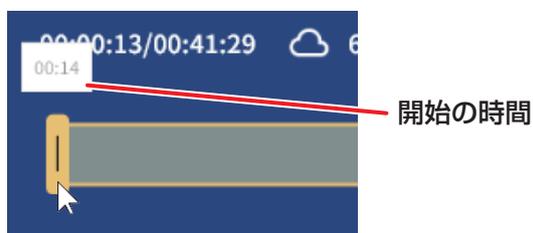
5. プレビュー画面を確認し、スライダーを操作して連結保存の範囲(開始位置 / 終了位置)を調整します。



開始位置

終了位置

- ・スライダー(開始位置 / 終了位置)を操作すると先頭からの時間がスライダーの上に表示されます。
※選択したファイル数や表示している画面サイズによっては、細かな調整が出来ない場合があります。



- ・スライダーで範囲を調整すると、「連結範囲全体時間」、「ファイル容量」、「連結処理時間」が調整範囲に連動して、表示が更新されます。
- ・「再生▶」ボタンを押して調整範囲のプレビューを確認することができます。
※再生はスライダーで調整した範囲でおこなうことができます。
※再生中にスライダーの範囲調整をおこなうと再生が停止します。

6. 「連結ファイルの選択」から連結保存を実行するファイルを選択します。



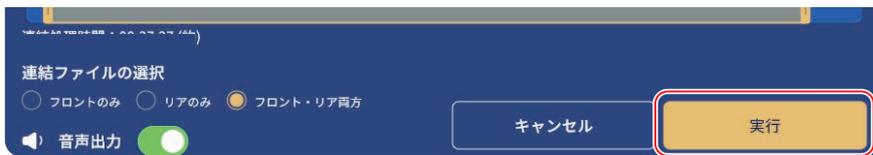
- ・「フロントのみ」を選択すると、フロントカメラで撮影した録画ファイルを連結保存します。
- ・「リアのみ」を選択すると、リアカメラで撮影した録画ファイルを連結保存します。(2カメラモデルの場合)
- ・「フロント・リア両方」を選択すると、フロントカメラ・リアカメラで撮影した録画ファイルをそれぞれ連結保存します。(2カメラモデルの場合)
※ 1カメラモデルの場合、「リアのみ」を選択出来ませんが、「実行」ボタンをクリックすることが出来ません。
また、「フロント・リア両方」を選択した場合、保存されるファイルはフロントのみになります。

7. 「音声出力」から音声の記録をする / 記録をしないを選択します。



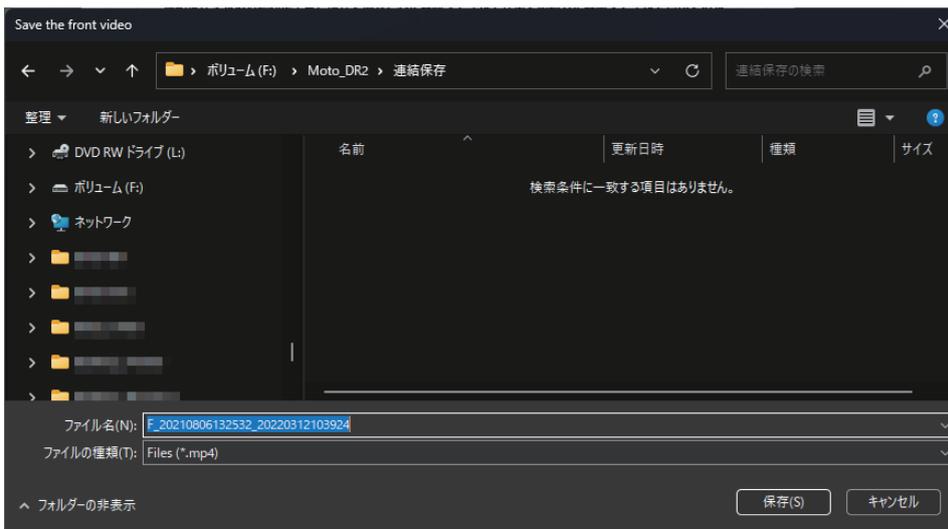
- ・音声を連結ファイルに記録する場合は、スイッチを「」オンにします。
- ・音声を連結ファイルに記録しない場合は、スイッチを「」オフにします。
※ EDR 本体の設定で音声記録をオフに設定して録画されたファイルは、この選択をオンにしても連結ファイルに音声は記録されません。

8. 「実行」ボタンをクリックして録画ファイルの連結保存を実行します。



9. 録画ファイルの連結保存先を指定しファイル名を入力し保存します。

録画ファイル連結保存 保存先指定画面 < Windows >

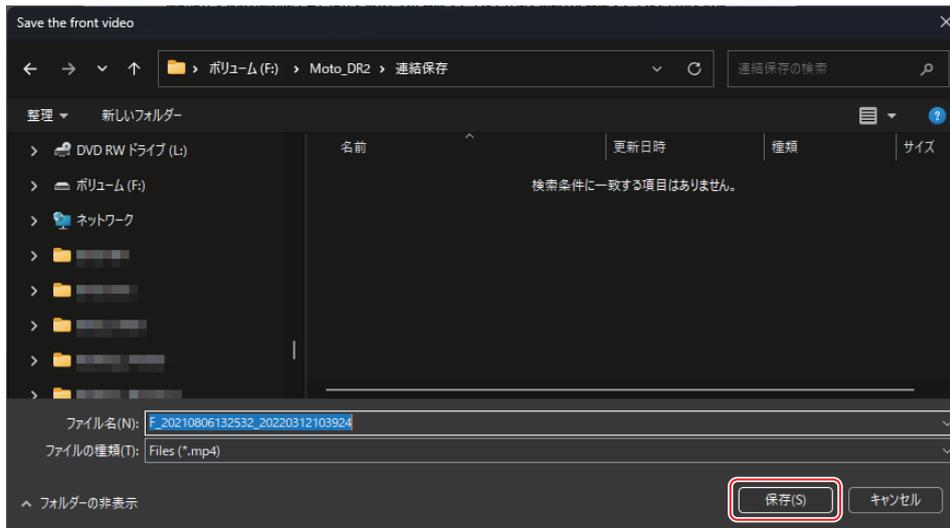


録画ファイル連結保存 保存先指定画面 < Mac >

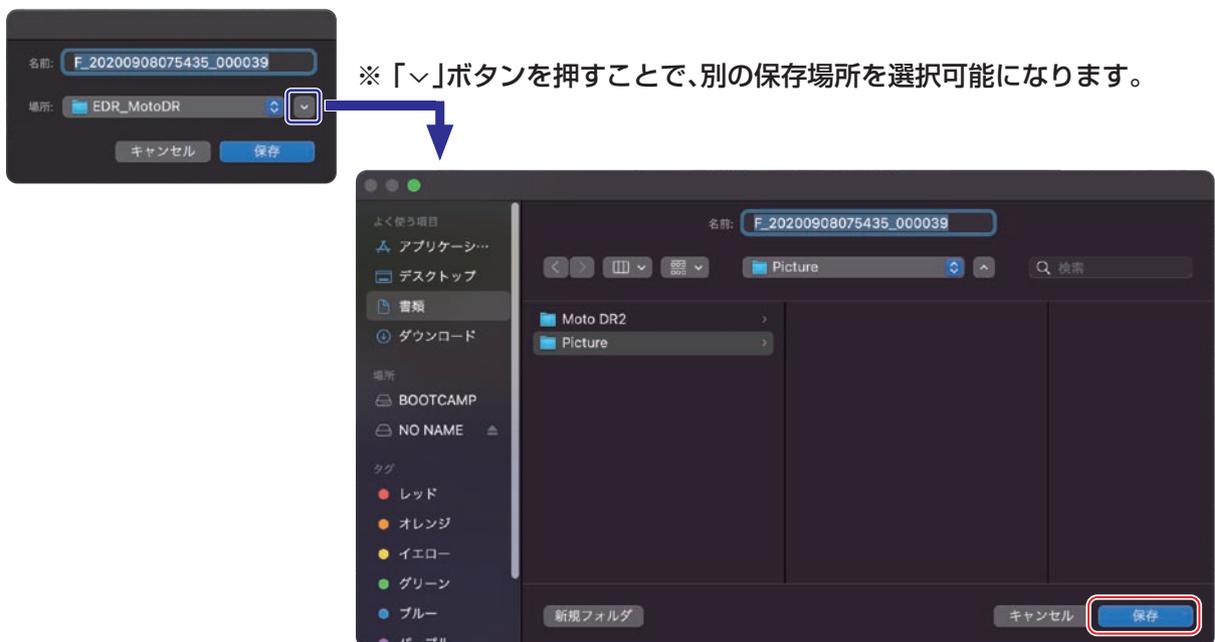


10. 保存先の指定とファイル名の入力が完了したら「保存」ボタンをクリックします。

録画ファイル連結保存 保存先指定画面 < Windows >



録画ファイル連結保存 保存先指定画面 < Mac >

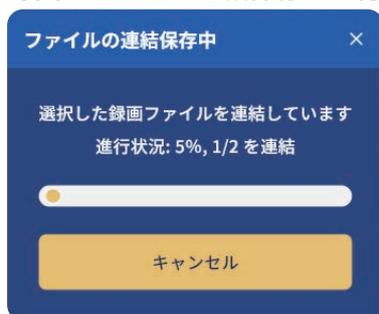


※手順 6 の録画ファイル連結保存画面にて「録画ファイルの選択」から「フロント・リア両方」を選択した場合、フロントファイルの保存操作後に、続けてリアファイルの保存先を指定する画面が表示されます。フロントとリアの録画ファイルは、別々に保存されますので、同様の操作をもう一度おこなってください。

※フロントファイルの保存先指定画面にて「キャンセル」ボタンをクリックした場合、続けてリアファイルの保存先指定画面が表示されます。このとき、リアファイルの保存先を指定し保存操作した場合、リアの録画ファイルのみ連結保存します。

便利な機能

11. 録画ファイルの連結保存が実行されます。



- ※ 「キャンセル」ボタンまたは「×」(閉じる)ボタンをクリックすると、録画ファイルの連結保存を中止します。中止した場合、連結保存中のファイルは削除されます。
- ※ 連結後の1ファイルの最大容量を4GBに制限しています。連結保存によって、1ファイルの最大容量を超える場合、ファイル名の末尾に「-2」、「-3」・・・を付与して連結したファイルを保存します。
- ※ 連結後の1ファイルの最大容量が4GB以下の場合でも、保存先のファイルシステムの制限によって、分割保存されることがあります。この場合、録画ファイル名の末尾に「-2」、「-3」・・・を付与して録画ファイルを保存します。

12. 録画ファイルの連結保存が完了すると、「ファイルの連結に成功しました」の画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックして、連結完了の通知画面を閉じます。



13. 連結保存完了の通知画面を閉じると、「録画ファイル連結保存画面」に戻ります。継続して録画ファイルを連結保存する場合は、そのまま作業をしてください。録画ファイルの連結保存を終了する場合は、「キャンセル」ボタンまたは「×」(閉じる)ボタンをクリックして、「録画ファイル連結保存画面」を閉じてください。

以上で「録画ファイルを連結保存する」の説明は終わりです。

■ GPS ログファイルを保存する ※GPS 搭載モデルのみ

● GPS ログファイルの保存機能について

読み込んだファイルの日付リストの範囲を指定して、GPS のログファイル(位置情報の履歴)を保存します。保存した GPS ログファイルは、Google マップや Google Earth などの地図ソフトウェア、ロケーション管理ソフトウェアで使用することができます。

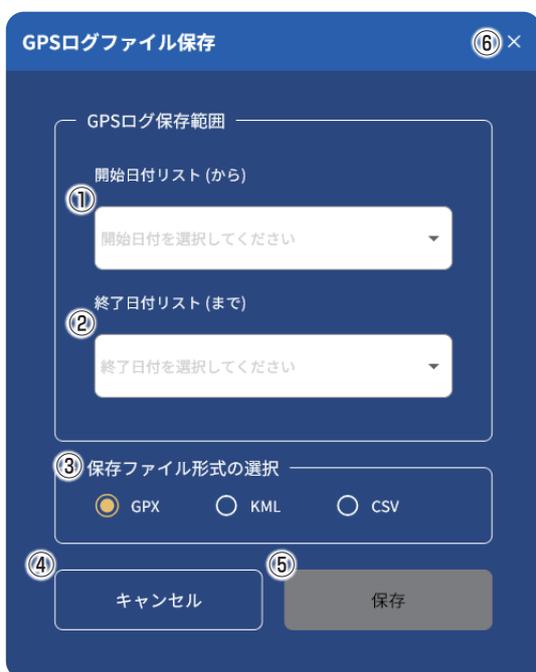
注意

- ・本ソフトウェアでは、保存した GPS ログファイルの読み込みや再生は出来ません。
- ・EDR で記録した日時、緯度、経度の情報が、GPS ログファイルとして保存されます。
- ・GPS 搭載モデル以外で記録した録画ファイルでも「GPS ログデータ保存」操作は出来ませんが、録画ファイル内にログデータが記録されていないため、GPS ログファイル内にログ情報は記録されません。

● GPS ログファイルを保存する

■ GPS ログファイル保存画面の説明

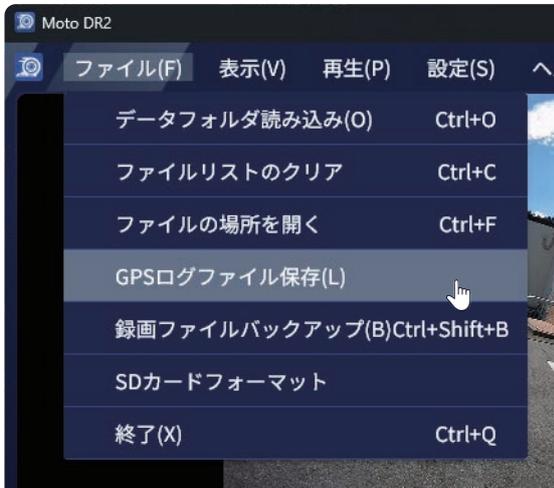
GPS ログファイル保存画面で、GPS ログデータ保存範囲、保存ファイル形式を選択します。



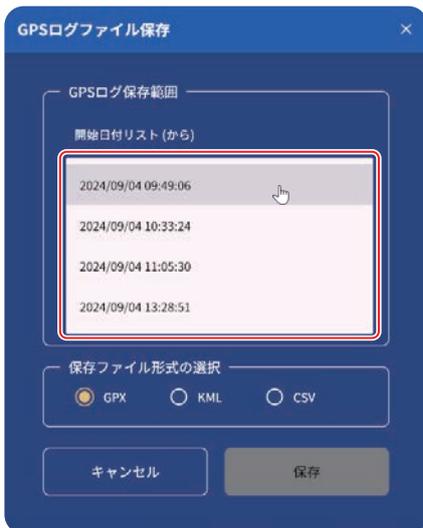
- ① 「開始日付リスト」のプルダウンリスト
読み込んでいる録画ファイルから、保存する録画ファイルの「開始日付リスト」を選択します。
- ② 「終了日付リスト」のプルダウンリスト
読み込んでいる録画ファイルから、保存する録画ファイルの「終了日付リスト」を選択します。
- ③ 「保存ファイル形式の選択」ボタン
保存するファイル形式を GPX、KML、CSV から選択します。
- ④ 「キャンセル」ボタン / ⑥ 「×」(閉じる)ボタン
GPS ログファイルの保存をキャンセルします。
- ⑤ 「保存」ボタン
GPS ログファイルを保存します。

■ GPS ログファイルを保存する

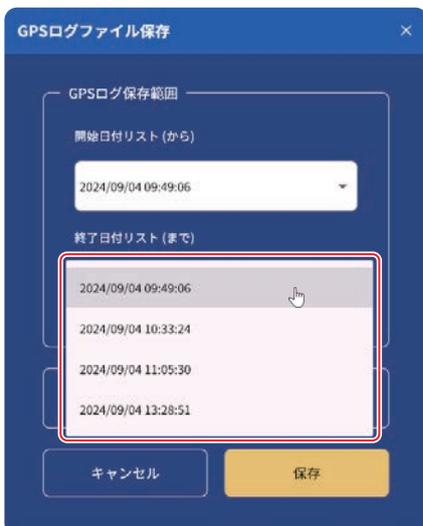
1. GPS ログデータを保存する対象の録画ファイルを読み込みます。「録画ファイルを読み込む」(42 ページ)を参照してください。
録画ファイルを読み込んでいる場合は、次へ進んでください。
2. 「GPS ログファイル保存」画面を表示します。
メニューバーの「ファイル」から、「GPS ログファイル保存」をクリックし表示します。



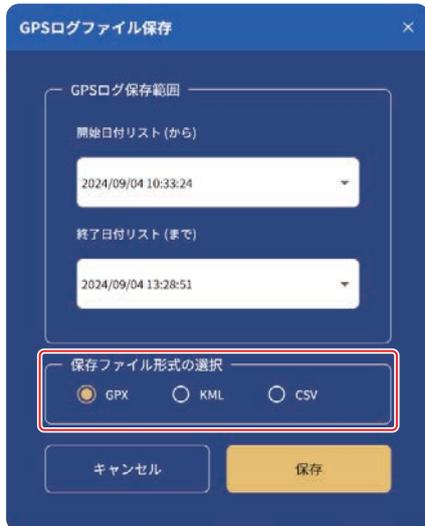
3. 「GPS ログ保存範囲」の「開始日付リスト」プルダウンリストから、保存を開始する日付リストを選択します。



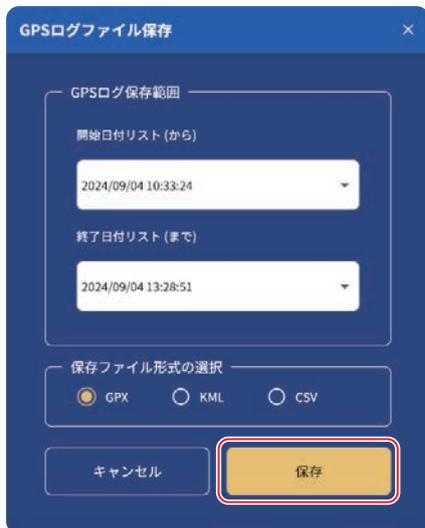
4. 「GPS ログ保存範囲」の「終了日付リスト」プルダウンリストから、保存を終了する日付リストを選択します。



5. 「保存ファイル形式の選択」から、GPS ログファイルを保存するファイル形式を選択します。

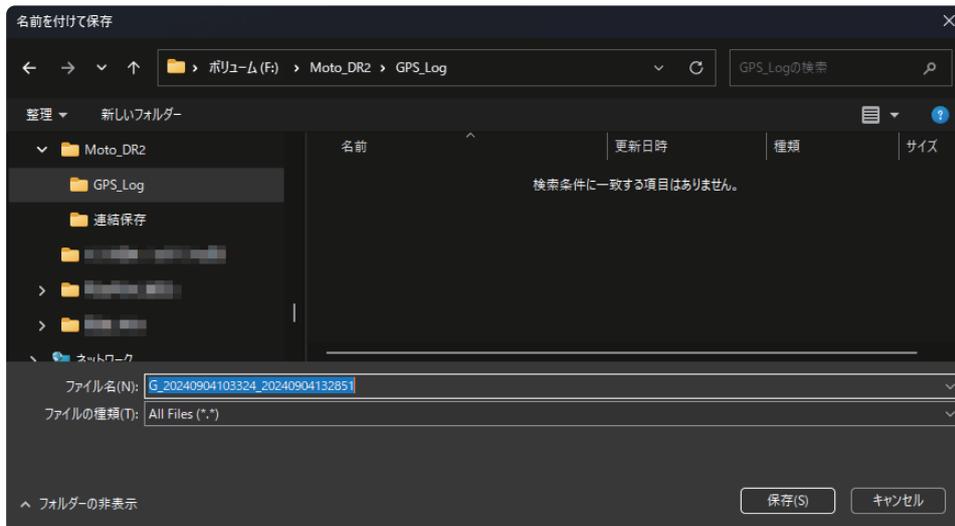


6. 「保存」ボタンをクリックします。



7. GPS ログファイルの保存先を指定しファイル名を入力し保存します。

GPS ログファイル保存 保存先指定画面 < Windows >

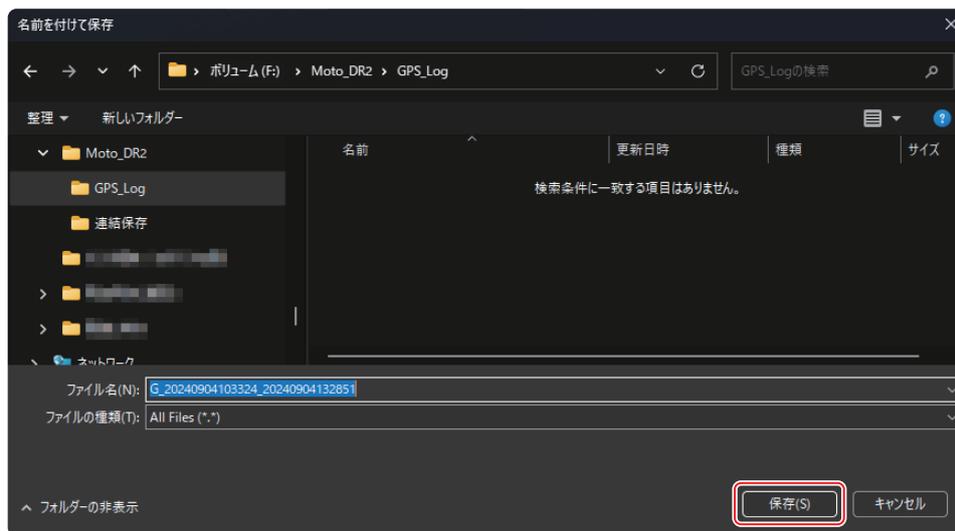


GPS ログファイル保存 保存先指定画面 < Mac >



8. 保存先の指定とファイル名の入力が完了したら「保存」ボタンをクリックします。
※ この画面で保存するファイル形式(ファイルの種類)を変更することは出来ません。

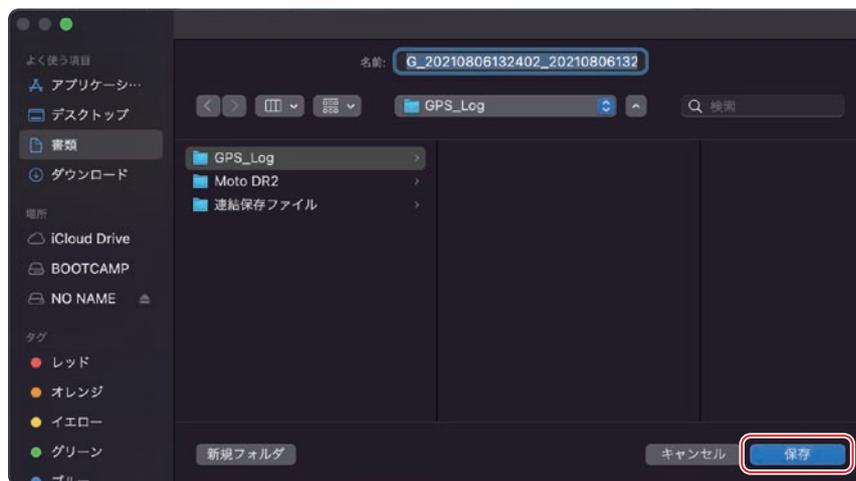
GPS ログファイル保存 保存先指定画面 < Windows >



GPS ログファイル保存 保存先指定画面 < Mac >

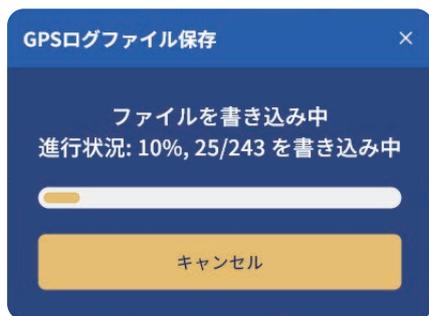


※ 「▽」ボタンを押すことで、別の保存場所を選択可能になります。



便利な機能

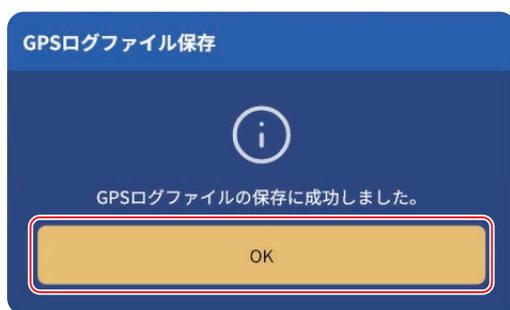
9. GPS ログファイルの保存が実行されます。



※「キャンセル」ボタンをクリックすると、GPS ログファイルの保存を中止します。中止した場合、保存中のファイルは削除されます。

10. GPS ログファイルの保存が完了すると、「GPS ログファイルの保存に成功しました。」の画面が表示されます。

「OK」ボタンをクリックして通知画面を閉じます。



以上で「GPS ログファイルを保存する」の説明は終わりです。

録画ファイルをバックアップする

● 録画ファイルバックアップ機能について

読み込んだ録画ファイルをフォルダ構成を保った状態で、指定のフォルダへバックアップします。バックアップした録画ファイルは、本ソフトウェアで再生、録画ファイルの連結保存、GPS ログファイル保存が出来ます。

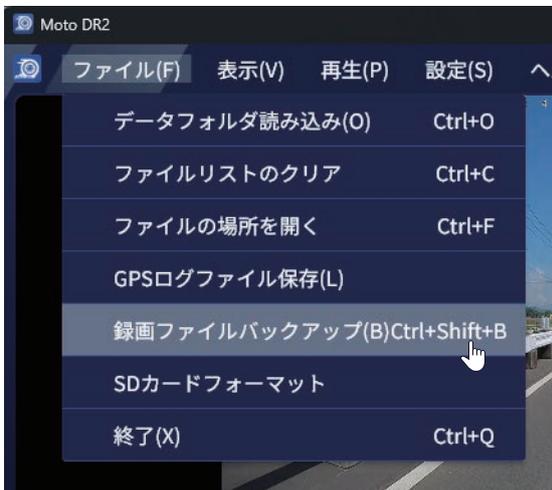
注意

- ・バックアップする録画ファイル数が多い場合や使用する PC の環境により、バックアップに時間がかかる場合があります。

● 録画ファイルのバックアップ

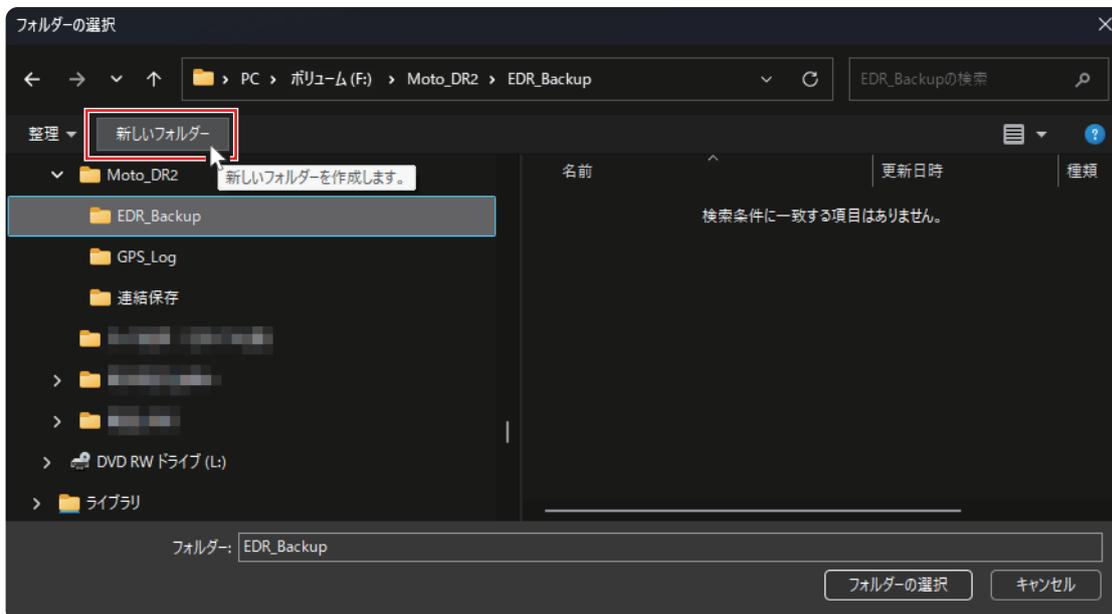
■ 録画ファイルをバックアップする

1. バックアップする対象の録画ファイルを読み込みます。録画ファイルの読み込み手順は、「録画ファイルを読み込む」(42 ページ)参照してください。
録画ファイルを読み込んでいる場合は、次へ進んでください。
2. 「バックアップ先のフォルダーの参照」画面を表示します。
メニューバーの「ファイル」から、「録画ファイルバックアップ」を選択します。



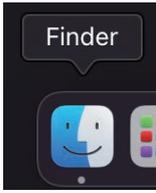
3. 「フォルダーの選択」画面から、「新しいフォルダーの作成」をクリックします。

録画ファイルバックアップ 保存先指定画面 < Windows >



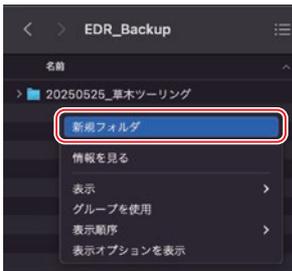
録画ファイルバックアップ 保存先指定 < Mac >

i. Finder を起動します。



ii. 録画ファイルをバックアップするフォルダを作成します。

新規フォルダを作成する場所で、右クリックメニュー(コンテキストメニュー)を表示して「新規フォルダ」を選択して作成。または、メニューバーの「ファイル」から「新規フォルダ」を選択して作成します。

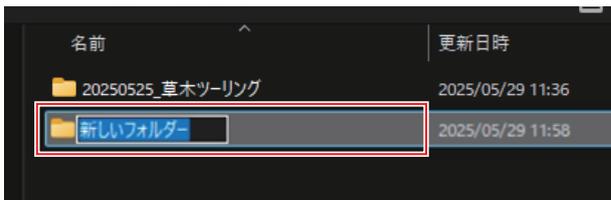


※ 左図は右クリックメニュー(コンテキストメニュー)を表示して「新規フォルダ」を選択しています。

4. 新しいフォルダの名称を入力します。

フォルダ名入力後「Enter」、「return」キーを押して決定します。

フォルダ名入力画面 < Windows >



フォルダ名入力画面 < Mac >



※ 必ず「新しいフォルダ」を作成し、バックアップしてください。また、「新しいフォルダ」の名称は、バックアップファイルの内容が分かる名称としてください。

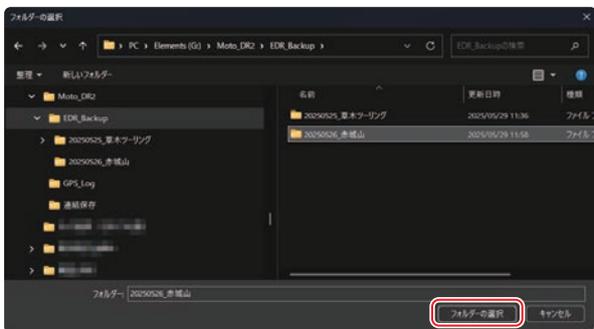
※ Mac の場合、フォルダ名入力後、「Moto DR2」に戻って次の操作をおこなってください。

5. 手順 4 で作成したフォルダを選択します。

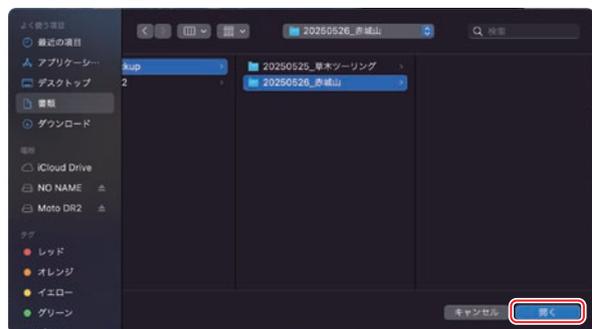
Windows の場合、「フォルダーの選択」ボタンをクリックします。

Mac の場合、「開く」ボタンをクリックします。

フォルダー選択画面 < Windows >



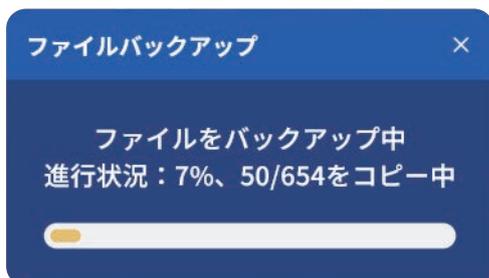
フォルダ選択画面 < Mac >



- ・ 誤って既存のバックアップフォルダーを指定して「フォルダーの選択」ボタンをクリックした場合、下記画面が表示され、バックアップが中止されます。「OK」ボタンをクリックし、手順2からやり直してください。



6. 録画ファイルのバックアップが実行されます。



- ※ 「×」(閉じる)ボタンをクリックすると、録画ファイルのバックアップを中止します。中止した場合、バックアップ中の録画ファイルは、中止するまでにバックアップがされた録画ファイルが指定のフォルダーに保存されます。保存出来なかった録画ファイルのみを再度バックアップすることは出来ません。

7. 録画ファイルのバックアップが完了すると、バックアップ完了の通知画面が表示されます。 「OK」ボタンをクリックして、バックアップ完了の画面を閉じます。



以上で「録画ファイルをバックアップする」の説明は終わりです。

microSD カードをフォーマットする

● microSD カードのフォーマット機能について

microSD カードを EDR シリーズで使用可能な形式にフォーマットします。
本ソフトウェアでフォーマットすることで、専用スマートフォンアプリでのフォーマット操作をすることなく、EDR 本体へ microSD カードを挿入して使用出来ます。

注意

- ・フォーマットを実行すると、microSD カード内の録画ファイル(データ)は、すべて消去されます。フォーマットを実行する場合は、必要に応じて録画ファイルのバックアップをしてください。
- ・パーティションを分割した microSD カードは、EDR で使用しないでください。フォーマットされている場合でも EDR で使用しないでください。誤動作の原因となります。

● microSD カードのフォーマット

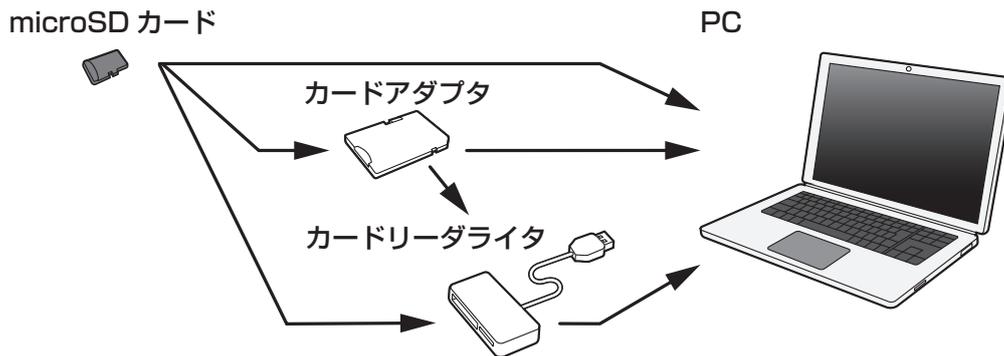
■ microSD カードをフォーマットする

1. フォーマットする microSD カードを PC に接続します。

注意

- ・必ず、接続する microSD カードの規格に適合した機器を使用してください。microSD カードや microSD カード内のファイルを正しく認識出来ません。
- ・使用する PC やカードリーダーの取扱説明書に従って接続してください。microSD カードの破損、ファイルの消失や破損、機器の故障の原因となります。

■ 接続方法の例



2. メニューバーの「ファイル」から、「SD カードフォーマット」を選択します。



3. 「SD カードフォーマット」画面の「SD カード選択」から、対象の microSD カードを選択します。
下図は、複数の Drive を選択した場合の画面です。複数選択出来ない場合は、1 つだけの選択となります。
(例：「I(アイ)Drive」に接続された microSD カードをフォーマットする場合)



- ※ microSD カードが破損していたり、ご使用中の PC でサポートしていないフォーマット形式の場合は、この「SD カード選択」画面に表示されません。
選択画面に表示されない場合は、一度 PC でサポートしている形式でフォーマットしてください。

4. フォーマットする microSD カードの選択が合っていることを確認し、「フォーマット」ボタンをクリックします。

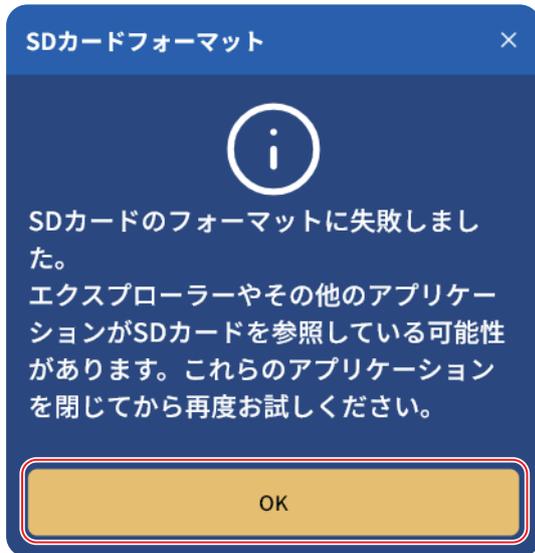


- ※ 「キャンセル」ボタンまたは右上の「×」(閉じる) ボタンをクリックすると、フォーマットを中止することができます。

5. 確認の画面が表示されたら、内容を確認して「OK」ボタンをクリックします。



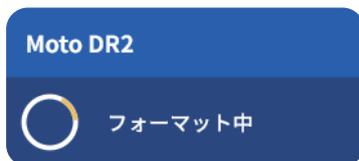
- 下記のフォーマット失敗の画面が表示された場合は、microSD カードが使用状態にある可能性があります。「OK」ボタンまたは右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックして、フォーマット失敗の画面を閉じ、microSD カードを参照しているアプリケーション(ソフトウェア)や Windows の場合、「エクスプローラー」などのアプリケーションをすべて終了し、手順 2 から操作をおこなってください。



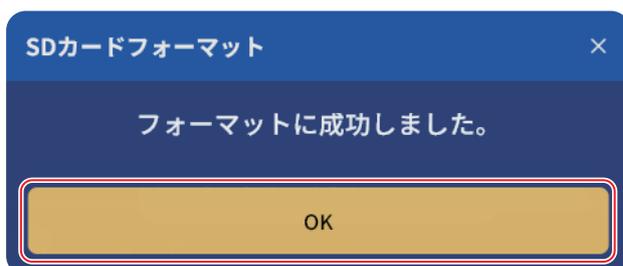
- Mac を使用して下記のアクセス許可の確認画面が表示された場合、「許可」ボタンをクリックしてください。「許可しない」ボタンをクリックした場合、フォーマット出来ません。



6. microSD カードのフォーマットが実行されると「フォーマット中」の画面が表示されます。



7. microSD カードのフォーマットが完了すると、フォーマットに成功の画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックして、フォーマット成功の画面を閉じます。



以上で「microSD カードをフォーマットする」の説明は終わりです。

■ ファイルリストをクリアする

● ファイルリストのクリア機能について

本ソフトウェアで読み込んだ録画ファイルのリストをクリアすることにより、録画ファイルの使用状態を解除することができます。これにより microSD カードを PC から取り外すことや、他のソフトウェアによる編集などが可能になります。

注意

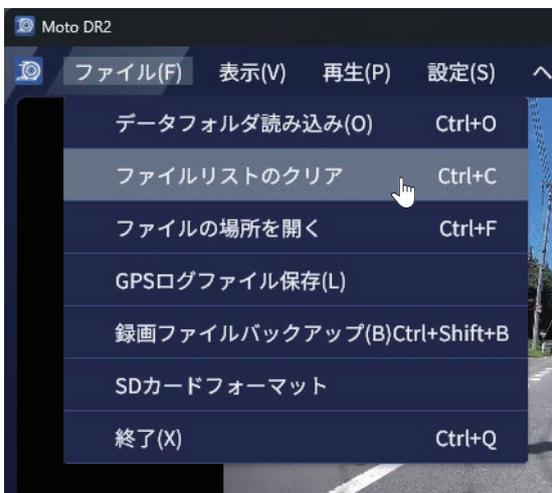
- ・ファイルリストクリアを実行しても録画ファイルが使用中となる場合があります。この場合、本ソフトウェアやその他起動中のソフトウェアを終了してください。本ソフトウェアの終了手順は、「Moto DR2を終了する」(18 ページ)を参照してください。

● ファイルリストのクリア

■ ファイルリストをクリアする

1. ファイルリストをクリアする方法は、下記の 3 つの方法があります。

I. メニューバーの「ファイル」から、「ファイルリストのクリア」を選択する。



II. 下記のキーボード操作で、ファイルリストのクリアをする。

< Windows >



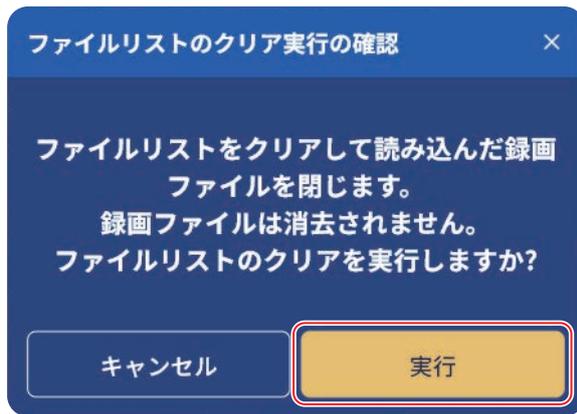
< Mac >



III. ファイルウィンドウの「ファイルリストのクリア」ボタンをクリックする。



2. ファイルリストクリアの実行の確認画面が表示されたら、「実行」ボタンをクリックします。



※「キャンセル」ボタンまたは右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックすると、ファイルリストのクリアをキャンセルすることが出来ます。

以上で「ファイルリストをクリアする」の説明は終わりです。

■ タグを管理する(作成 / 編集 / 削除)

● ファイルのタグ管理機能について

録画ファイルにタグを付けることで、録画ファイルを分類識別し、選択したタグの録画ファイルのみをリストに表示することで、目的の録画ファイルを探しやすくすることが出来ます。

タグ管理機能はタグを新規に作成したり、タグの名称を編集、削除したりすることが出来ます。

「録画ファイルにタグを付ける / タグを外す」の操作は 101 ページを参照してください。

「タグで録画ファイルをフィルタリングする」については 108 ページを参照してください。

注意

- ・ タグの情報はタグを編集、タグ付けした PC でのみ有効です。PC でタグ付けした録画ファイルを別の PC やスマートフォンアプリ「Moto DR2」で閲覧した場合、タグの情報は反映されません。
- ・ タグの編集やタグ付けした PC で本ソフトウェアをアンインストールした場合、タグの情報は削除されます。また、タグの情報をバックアップすることは出来ません。

● タグを管理する

■ タグ管理画面の説明

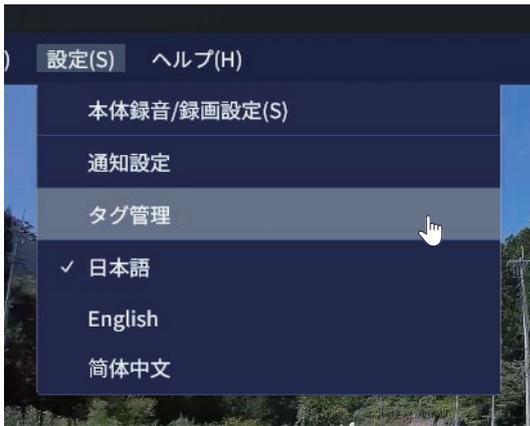
タグの新規作成や作成したタグ名の編集、削除をおこなう画面です。



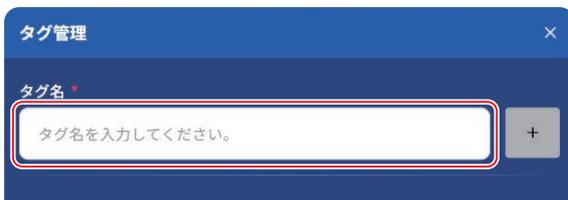
- ① タグ名入力欄
新規に登録するタグ名を入力します。
- ② タグ登録ボタン
新規タグ名を入力後、このボタンをクリックすることでタグが登録出来ます。
- ③ タグ一覧
登録済みのタグ名が表示されます。
- ④ タグ編集ボタン
登録したタグ名を編集するときにこのボタンをクリックすることで、タグ名の編集が出来ます。
- ⑤ タグ削除ボタン
登録したタグを削除するときにこのボタンをクリックすることで、タグの削除が出来ます。
- ⑥ 「×」(閉じる)ボタン
タグ管理を終了し、タグ管理画面を閉じます。

■ タグを作成する

1. メニューの「設定」から、「タグ管理」を選択します。



2. タグ管理の画面が表示されたら、タグ名入力欄にタグ名を入力します。

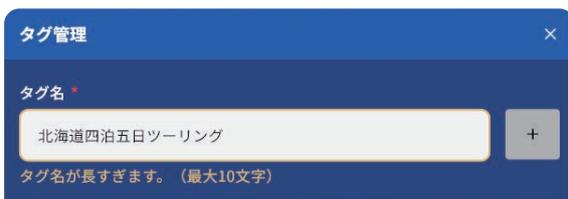


3. タグ名の入力が完了したら、「タグ登録ボタン」 をクリックします。



※ タグ名が登録可能な状態になると、タグ登録ボタンの色が  から  に変わります。

- ※ 登録可能なタグ名は、最大 10 文字です。10 文字を超えると、下図のようにタグ名入力欄の下にエラーメッセージが表示され、タグ登録が出来ません。



4. タグの登録が完了すると、保存完了の画面が表示されます。「OK」ボタンを押して、タグ管理の画面に戻ります。

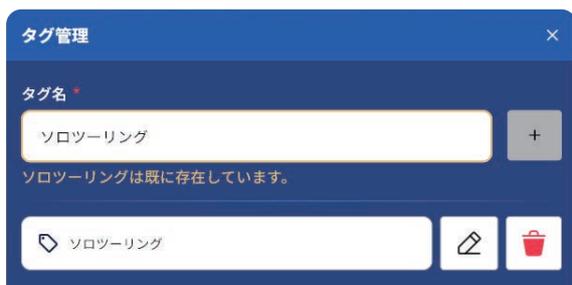


5. 登録されたタグが表示されます。



2～4の操作をおこなうことで、続けてタグを登録することが出来ます。

※ 登録するタグ名が既に使用されている場合、下図のようにタグ名入力欄の下にエラーメッセージが表示され、タグ登録が出来ません。



■ タグを編集する

作成したタグ名を変更することが出来ます。

1. メニューの「設定」から、「タグ管理」を選択します。



2. タグ管理の画面が表示されたら、編集するタグの「タグ編集ボタン」をクリックします。



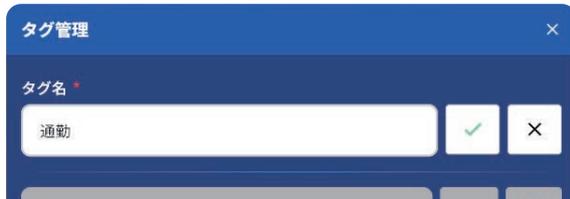
3. 編集するタグ名がタグ名入力欄に表示され、編集可能になります。



4. タグ名の編集が完了したら「決定ボタン」 をクリックします。



※タグ名の編集をキャンセルする場合は、「キャンセルボタン」 をクリックします。



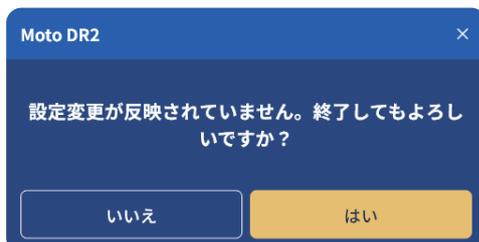
5. タグの登録が完了すると、保存完了の画面が表示されます。
「OK」ボタンを押すと、タグ管理の画面に戻ります。



6. 編集したタグ名で登録されます。



※タグ作成中やタグ名の編集中にタグ管理画面右上の「×」(閉じる)ボタンをクリック場合、下記の確認画面が表示されます。



画面の内容を確認し、タグの作成や編集を中断して終了する場合は「はい」ボタンをクリックします。
タグの作成や編集を継続する場合は「いいえ」ボタンをクリックしてタグ管理の画面に戻ります。

■ タグを削除する

作成したタグを削除することができます。

注意

- ・ 録画ファイルに付けているタグを削除すると、削除したタグを付けた録画ファイルからそのタグの情報が削除されます。これは現在のファイルリストにない録画ファイルにも適用されます。
- ・ ファイルリストが削除するタグを選択して表示している場合、タグ管理画面を閉じたときにファイルリストのファイル表示はタグ未選択の状態になります。
- ・ タグ削除実行後に削除を取り消したり、もとに戻したりすることは出来ません。再度タグの作成および録画ファイルへのタグを付けてください。

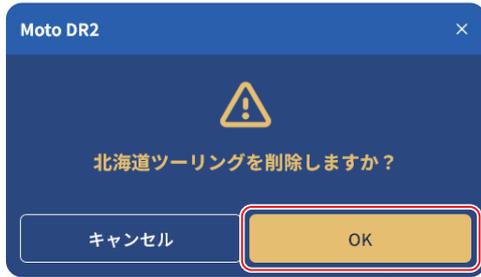
1. メニューの「設定」から、「タグ管理」を選択します。



2. タグ管理の画面が表示されたら、削除するタグの「タグ削除ボタン」 をクリックします。



3. 削除するタグの確認画面が表示されます。
削除するタグ名を確認し削除を実行する場合は、「OK」ボタンをクリックします。



- ※ タグの削除をキャンセルする場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。
「キャンセル」ボタンをクリックした場合、タグ管理の画面に戻ります。

4. タグの登録が完了すると、保存完了の画面が表示されます。
「OK」ボタンを押すと、タグ管理の画面に戻ります。



5. タグ管理の画面から、削除したタグが一覧から消去されます。



以上で「タグを管理する(作成 / 編集 / 削除)」の説明は終わりです。

録画ファイルにタグを付ける / タグを外す

● 録画ファイルにタグを付ける / タグを外す機能について

録画ファイルにタグを付けることで、録画ファイルを分類識別し、選択したタグの録画ファイルのみをリストに表示することで、目的の録画ファイルを探しやすくすることが出来ます。
ファイルウィンドウから録画ファイルにタグを付ける、タグを外す操作をおこなうことが出来ます。
「タグを管理する(作成 / 編集 / 削除)」については 94 ページを参照してください。
「タグで録画ファイルをフィルタリングする」については 108 ページを参照してください。

注意

- タグの情報はタグを編集、タグ付けした PC でのみ有効です。PC でタグ付けした録画ファイルを別の PC やスマートフォンアプリ「Moto DR2」で閲覧した場合、タグの情報は反映されません。
- タグの編集やタグ付けした PC で本ソフトウェアをアンインストールした場合、タグの情報は削除されます。また、タグの情報をバックアップすることは出来ません。

● 録画ファイルにタグを付ける

■ 選択した録画ファイルにタグを付ける

1. ファイルウィンドウの「タグ付け」ボタン  をクリックします。



ファイルウィンドウの「タグ付け」ボタンが  から  に変わり、「日付リスト」および「時間リスト」にチェックボックスが表示されます。



チェックボックス

キャンセルボタン

2. タグを付けする録画ファイルを選択します。

- ・ひとつの「日付リスト」に含まれる時間リストの全ての録画ファイルをタグ付けの対象とする場合
タグ付けする「日付リスト」のチェックボックスに「」チェックを入れると、選択した「日付リスト」内の全ての「時間リスト」の録画ファイルに「」チェックが入り、選択されます。
- ・ひとつの「日付リスト」に含まれる時間リストの一部の録画ファイルをタグ付けの対象とする場合
タグ付けする録画ファイルが含まれる「日付リスト」をクリックして選択します。
「時間リスト」から、タグ付けする録画ファイルに「」チェックを入れ選択します。
または、タグ付けする録画ファイルが含まれる「日付リスト」のチェックボックスに「」チェックを入れ、「時間リスト」から、タグ付けしない録画ファイルのチェックボックスのチェックを「」外します。
- ・複数の「日付リスト」に含まれる時間リストの録画ファイルをタグ付けの対象とする場合
上記の操作をおこない、タグ付けする録画ファイルを選択します。

※ 録画ファイルのタグ付けを中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

3. タグ付けするファイルの選択後、「タグ」ボタンをクリックして「タグ付け」画面を表示します。



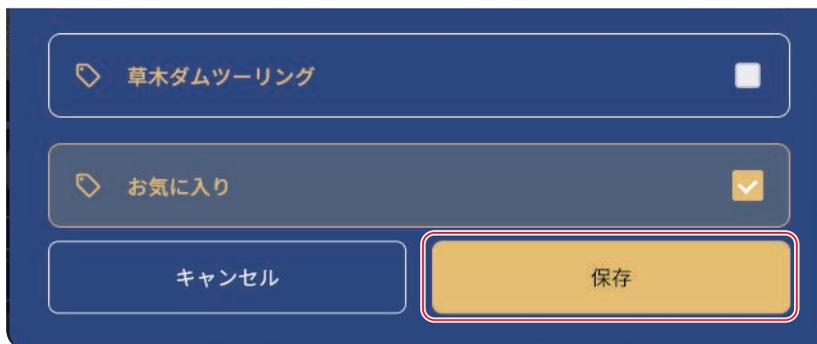
4. タグ付け画面からタグ付けするタグを選択します。



※ 録画ファイルのタグ付けを中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

5. タグ付けするタグを選択後、「保存」ボタンをクリックします。

- ・録画ファイルには複数のタグを付けることができます。



6. 録画ファイルへのタグ付けが完了すると、タグ処理に成功した画面が表示されます。

- 「OK」ボタンを押すと、通常の再生画面に戻ります。



7. タグ付けされた録画ファイルには、ファイルウィンドウの「日付リスト」および「時間リスト」のタグ付けされた録画ファイルの右側にタグのアイコン  が表示されます。



タグマーク

- ・時間リストの録画ファイルのタグのアイコン  にカーソルを合わせると、その録画ファイルに付けたタグ名が表示されます。



● 録画ファイルのタグを外す

■ 録画ファイルに付いているタグを外す

1. ファイルウィンドウの「タグ付け」ボタン  をクリックします。



ファイルウィンドウの「タグ付け」ボタンが  から  に変わり、「日付リスト」および「時間リスト」にチェックボックスが表示されます。



チェックボックス

キャンセルボタン

2. タグを外したい録画ファイルを選択します。

- ・ひとつの「日付リスト」に含まれる時間リストのすべての録画ファイルをタグ外しの対象とする場合
タグを外す「日付リスト」のチェックボックスに「」チェックを入れると、選択した「日付リスト」内のすべての「時間リスト」の録画ファイルに「」チェックが入り、選択されます。
- ・ひとつの「日付リスト」に含まれる時間リストの一部の録画ファイルをタグ外しの対象とする場合
タグを外す録画ファイルが含まれる「日付リスト」をクリックして選択します。
「時間リスト」から、タグを外す録画ファイルに「」チェックを入れ選択します。
または、タグを外す録画ファイルが含まれる「日付リスト」のチェックボックスに「」チェックを入れ、
「時間リスト」から、タグを外さない録画ファイルのチェックボックスのチェックを「」外します。
- ・複数の「日付リスト」に含まれる時間リストの録画ファイルをタグ外しの対象とする場合
上記の操作をおこない、タグを外す録画ファイルを選択します。

※ 録画ファイルのタグ外しを中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

3. タグを外すファイルの選択後、「タグ」ボタンをクリックして「タグ付け」画面を表示します。



4. タグ付け画面からタグを外すタグのチェックを外します。



チェックボックスの種類と状態

- : 選択中の録画ファイルにタグが付けられていない。
- : 選択中の一部の録画ファイルにタグ付けされている。
- : 選択中の録画ファイルにタグ付けされている。

※ 録画ファイルのタグ付けを中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

5. タグのチェックを外したら、「保存」ボタンをクリックします。



便利な機能

6. 録画ファイルからタグ外しが完了すると、タグの処理に成功した画面が表示されます。
「OK」ボタンを押すと、通常の再生画面に戻ります。



7. タグを外した録画ファイルは、ファイルウィンドウの「日付リスト」、「時間リスト」の録画ファイルの右側に表示されていたタグアイコン  が消えます。



- ※ 「時間リスト」に 1 つ以上、タグの付いた録画ファイルがある場合、その録画ファイルを含む「日付リスト」の右側にはタグアイコン  が表示されます。

以上で「録画ファイルにタグを付ける / タグを外す」手順の説明は終わりです。

■ タグで録画ファイルをフィルタリングする

● タグによる録画ファイルのフィルタリングについて

録画ファイルにタグを付けることで、録画ファイルを分類識別し、選択したタグの録画ファイルのみをリストに表示することで、目的の録画ファイルを探しやすくすることが出来ます。

タグ管理機能はタグを新規に作成したり、タグの名称を編集、削除したりすることが出来ます。

「タグを管理する(作成 / 編集 / 削除)」については 94 ページを参照してください。

「録画ファイルにタグを付ける / タグを外す」の操作は 101 ページを参照してください。

注意

- ・ タグの情報はタグを編集、タグ付けした PC でのみ有効です。PC でタグ付けした録画ファイルを別の PC やスマートフォンアプリ「Moto DR2」で閲覧した場合、タグの情報は反映されません。

● タグで録画ファイルの表示をフィルタリングする

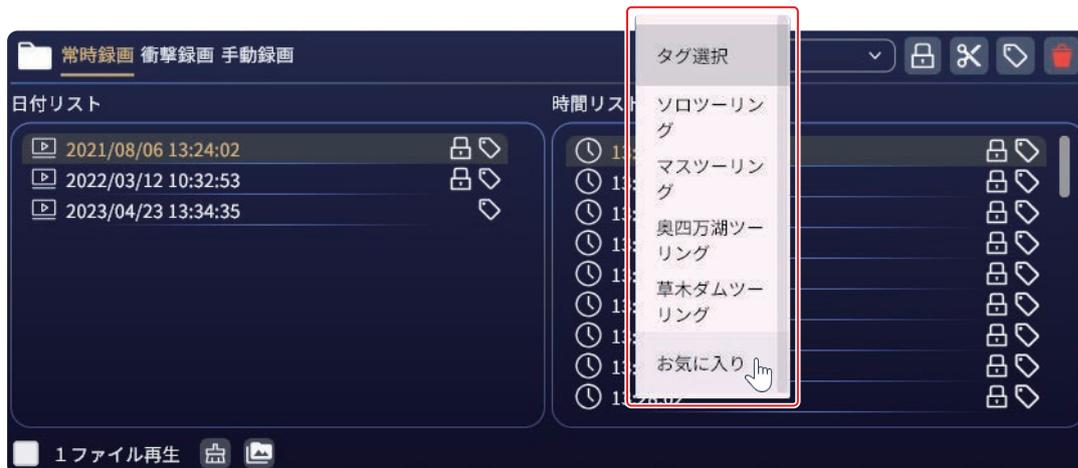
■ タグで録画ファイルの表示をフィルタリングする

1. ファイルウィンドウの「タグ選択」のプルダウンメニューをクリックします。

※「タグ選択」のプルダウンメニューがグレーアウトして選択出来ない場合、タグが作成されていない状態です。

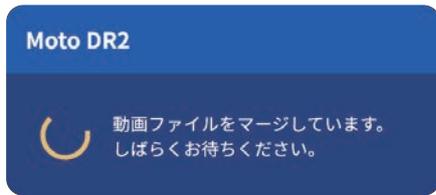


2. 表示されたタグのリストから、表示させる録画ファイルに付いているタグ名を選択します。



- ・ タグ名「お気に入り」を選択して、録画ファイルをフィルタリングする場合の表示例です。

3. 下記画面が表示され、録画ファイルのマージが実行されます。



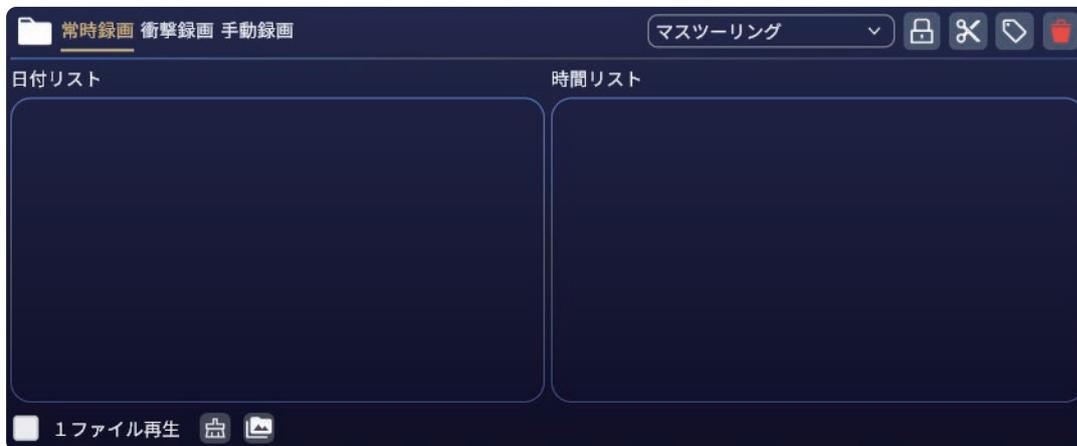
※ 読み込むファイル数が多い場合や PC の環境(性能)によって、録画ファイルの読み込みが完了するまでに時間がかかることがあります。

4. 選択したタグが付いた録画ファイルのみファイルウィンドウに表示されます。



・ タグ名「お気に入り」を選択して、録画ファイルをフィルタリングした場合の表示例です。

※ 「タグ選択」で選択したタグが付いた録画ファイルがない場合、ファイルウィンドウには録画ファイルが表示されません。(下図参照)



5. フィルタリングを解除する場合は、「タグ選択」のプルダウンメニューから『タグ選択』を選択します。

以上で「タグで録画ファイルをフィルタリングする」の説明は終わりです。

録画ファイルを選択して保護 / 保護解除する

● 録画ファイルの保護 / 保護解除機能について

読み込んだ録画ファイルから、録画ファイルを選択して保護や保護の解除をします。ファイルを保護することで、本ソフトウェアの削除機能で必要な録画ファイルを誤って削除してしまうことを防止することが出来ます。また、必要な録画ファイルの入った microSD カードを EDR で使用しても、必要な録画ファイルへの上書きを防止することが出来ます。ファイルの保護を解除すると、本ソフトウェアの削除機能で録画ファイルを削除することが出来ます。また、ファイル保護を解除した録画ファイルの入った microSD カードを EDR で使用した場合、録画ファイルは上書きされるようになります。

注意

- ・ PC の OS やエクスプローラー(Windows)/ Finder(Mac)などで操作した場合、削除を防止することが出来ません。
- ・ 2 カメラモデルの録画ファイルの場合、保護または保護解除すると、フロントとリア両方の録画ファイルを保護または保護解除します。フロントまたはリアのどちらか片方の録画ファイルのみを保護または保護解除することは出来ません。

● 録画ファイルの保護状態の表示について

録画ファイルの保護状態は、「日付リスト」および「時間リスト」の右端に表示されるカギアイコンによって識別することが出来ます。録画ファイルが保護されていない(保護解除)状態の場合は、カギアイコンは表示されません。



-  **カギアイコン** 日付リスト：リスト内の全部または一部の録画ファイルが保護されている。
時間リスト：録画ファイルが保護されている。

● 録画ファイルの保護 / 保護解除

録画ファイルを読み込み、ファイルリストに「日付リスト」および「時間リスト」が表示された状態からの説明となります。

録画ファイルの読み込みについては、「録画ファイルを読み込む」(42 ページ)を参照してください。

■ 録画ファイルを選択して保護 / 保護解除する

1. ファイルウィンドウの「ファイル保護 / 保護解除」ボタン  をクリックします。



2. 「日付リスト」の左側、「時間リスト」の左側にチェックボックス「」が表示されます。
 保護する録画ファイルのチェックボックスに「」チェックを入れます。
 また、保護解除する場合、録画ファイルのチェックボックスの「」チェックまたは、「」を外し、「」の状態にします。



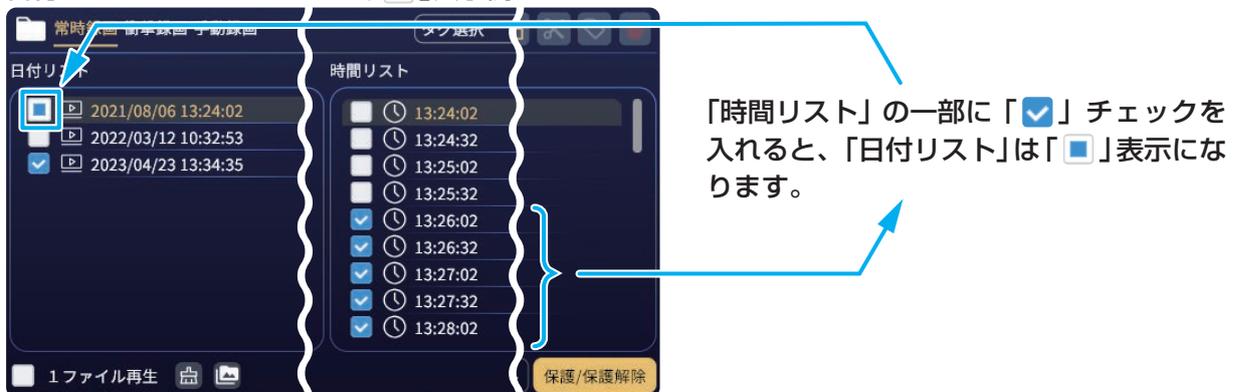
※ 録画ファイルの保護または保護解除をキャンセルする場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

- ・「日付リスト」のチェックボックスに「」チェックを入れると、「日付リスト」内のすべての「時間リスト」の録画ファイルが選択されます。
- ・「時間リスト」のチェックボックスすべてに「」チェックを入れた場合、「日付リスト」のチェックボックスに「」チェックが入ります。また「時間リスト」のチェックボックス一部に「」チェックを入れた場合、「日付リスト」のチェックボックスが「」表示になります。

日付リストチェックボックス「」表示例



日付リストチェックボックス「」表示例



3. 保護または保護解除する録画ファイルの選択が完了したら、「保護 / 保護解除」ボタンをクリックします。



4. 録画ファイルの保護 / 保護解除が実行されます。



※ 録画ファイルの保護 / 保護解除を中止する場合は、右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックします。中止までに保護 / 保護解除を実行した録画ファイルの処理の取り消しは出来ません。

● カードアダプターのロックがかかった状態で microSD カードのファイルを読み込み、ファイル保護 / 保護解除を実行した場合、下記のエラー画面が表示されます。



この場合、下記の処置をおこなってから、「録画ファイルを選択して保護 / 保護解除する」をおこなってください。

- ① エラー画面の「OK」ボタンをクリックして、エラー画面の表示を閉じます。
- ② ファイルリストをクリアします。ファイルリストのクリア手順は、「ファイルリストをクリアする」(92 ページ)を参照してください。
- ③ PC を操作して、microSD カード(カードアダプタ)を安全に取り外します。
- ④ カードアダプタのロックを解除します。
- ⑤ ロックを解除した microSD カード (カードアダプタ) を PC に接続して録画ファイルを読み込み、再度録画ファイルの保護 / 保護解除をしてください。録画ファイルの読み込み手順は、「録画ファイルを読み込む」(42 ページ)を参照してください。

5. 録画ファイルの保護 / 保護解除が完了すると、ファイルの保護・保護解除に成功した画面が表示されます。
「OK」ボタンを押して、通常の再生画面に戻ります。



6. ファイルウィンドウの表示が更新され、ファイルリストに録画ファイルの保護状態が表示されます。



以上で「録画ファイルを選択して保護 / 保護解除する」の説明は終わりです。

再生中 / 選択中の録画ファイルの場所を開く

● 再生中 / 選択中の録画ファイルの場所を開く機能について

再生中または選択中の録画ファイルの保存場所をエクスプローラー（Windows）または Finder（Mac）で表示します。

録画ファイルをコピーするときや、ほかのソフトウェアで使用する時など、録画ファイルの保存場所を簡単に確認することが出来ます。

注意

< Windows / Mac >

- 表示された録画ファイルおよび読み込み中の録画ファイルをエクスプローラーまたは Finder で移動したり、削除、名前の変更などをおこなったりしないでください。本ソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。

< Windows >

- PC や OS の環境によっては、エクスプローラーで正しく表示出来ない場合があります。
- 1カメラモデルの録画ファイルの場合や、メインビューまたはサブビューのどちらか片方の録画ファイルがない場合、どちらかのビューに表示されている録画ファイルの保存場所を表示します。

< Mac >

- Finder で表示される録画ファイルの場所は、メインビューに表示されている録画ファイルのみ表示されます。メインビューの録画ファイルがない場合は、サブビューの録画ファイルの場所が Finder で表示されます。
- Moto DR2 をフルスクリーン表示している場合は、Finder はバックグラウンドで開きます。この場合、Moto DR2 のフルスクリーン表示を解除して Finder を表示してください。

● 再生中 / 選択中の録画ファイルの場所を開く

録画ファイルを読み込み、ファイルリストに「日付リスト」および「時間リスト」が表示された状態からの説明となります。

録画ファイルの読み込みについては、「録画ファイルを読み込む」(42 ページ)を参照してください。

1. 再生中 / 選択中の録画ファイルの場所を開くを実行します。

- 再生中 / 選択中の録画ファイルの場所を開く方法は、下記の 3 つの方法があります。

I. メニューバーの「ファイル」から、「ファイルの場所を開く」を選択します。

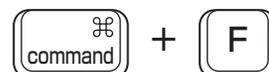


II. 下記のキーボード操作で、ファイルの場所を開く。

< Windows >



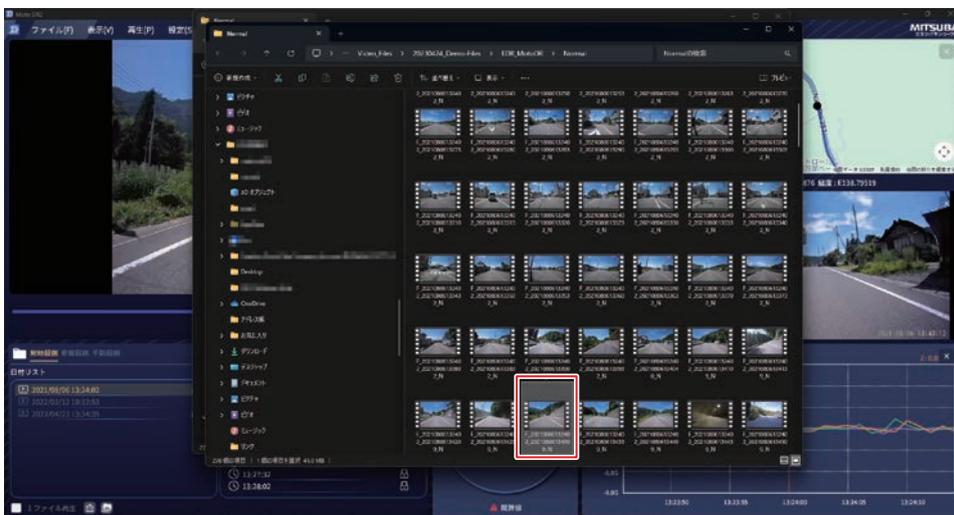
< Mac >



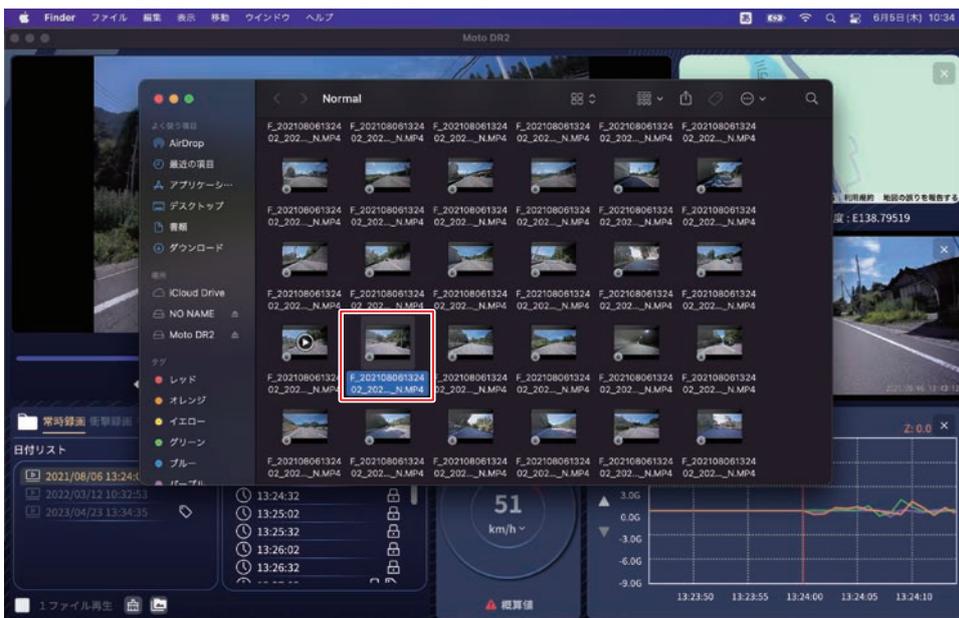
Ⅲ. ファイルウィンドウの「ファイルの場所を開く」ボタンをクリックします。



2. エクスプローラー (Windows) または Finder (Mac) が開き、録画ファイルの保存場所を表示します。
エクスプローラーで録画ファイルの場所を開いた状態 < Windows >



- Finder で録画ファイルの場所を開いた状態 < Mac >



- ※ エクスプローラーまたは Finder の表示設定により、録画ファイルの保存場所が開かれて表示される録画ファイルのサムネイル表示の大きさや一覧表示、詳細表示などの表示形式が異なります。
- ※ PC の環境によっては、該当の録画ファイルが表示されないことがあります。この場合、下方向にスクロールすると表示されます。

以上で「再生中 / 選択中の録画ファイルの場所を開く」の説明は終わりです。

便利な機能

録画ファイルを選択して削除する

● 録画ファイルの選択削除機能について

読み込んだ録画ファイルから、不要な録画ファイルを選択して削除します。録画ファイルの容量削減や整理をすることが出来ます。

注意

- ・ 録画ファイルを削除すると、保存されている録画ファイルが削除されます。削除した録画ファイルは、復元することが出来ません。
- ・ 2カメラモデルの場合、録画ファイルを選択して削除すると、フロントとリア両方の録画ファイルが削除されます。フロントまたはリアのどちらか片方の録画ファイルのみを削除することは出来ません。
- ・ 保護されている録画ファイルは削除出来ません。「録画ファイルを選択して保護 / 保護解除する」(110ページ)を参照して録画ファイルの保護を解除してください。

● 録画ファイルの削除

録画ファイルを読み込み、ファイルリストに「日付リスト」および「時間リスト」が表示された状態からの説明となります。

録画ファイルの読み込みについては、「録画ファイルを読み込む」(42ページ)を参照してください。

■ 録画ファイルを選択して削除する

1. ファイルウィンドウの「ファイル削除」ボタン  をクリックします。



2. 「日付リスト」の左側、「時間リスト」の左側にチェックボックス「」が表示されます。削除する録画ファイルのチェックボックスに「」チェックを入れます。



※ 録画ファイルの削除をキャンセルする場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

- ・「日付リスト」のチェックボックスに「」チェックを入れると、「日付リスト」内のすべての「時間リスト」の録画ファイルに「」チェックが入ります。また「時間リスト」のチェックボックスすべてに「」チェックを入れた場合、「日付リスト」のチェックボックスに「」チェックが入ります。

「日付リスト」に「」チェックを入れると、「時間リスト」のすべてが選択されます。



「時間リスト」のすべてに「」チェックを入れると、「日付リスト」は「」表示になります。

- ・「時間リスト」のチェックボックス一部に「」チェックを入れた場合、「日付リスト」のチェックボックスが「」表示になります。



- ・「日付リスト」のチェックボックスが「」で、右側にカギアイコン  が表示されている場合、その「日付リスト」内の一部の録画ファイルが保護されています。この「日付リスト」のチェックボックスをクリックすると、その「日付リスト」内の保護されていないすべての録画ファイルに「」チェックが入り、「日付リスト」のチェックボックスは「」表示になります。



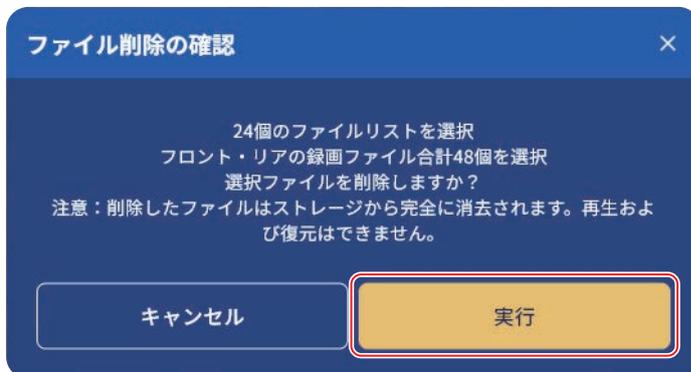
便利な機能

- ・「日付リスト」のチェックボックスがグレーアウト「」状態で、右側にカギアイコン  が表示されている場合、その「日付リスト」内のすべての録画ファイルが保護されています。この「日付リスト」のチェックボックスに「」チェックを入れることは出来ません。
- ・「時間リスト」の右側にカギアイコン  が表示されている録画ファイルは保護されているため、チェックボックスがグレーアウト「」状態になり、「」チェックを入れることが出来ません。
- ・保護されている録画ファイルを削除する場合は、録画ファイルの保護を解除してください。録画ファイルの保護 / 保護解除については「録画ファイルを選択して、保護 / 保護解除する」(110 ページ)を参照してください。

3. 削除する録画ファイルの選択が完了したら、「選択削除」ボタンをクリックします。

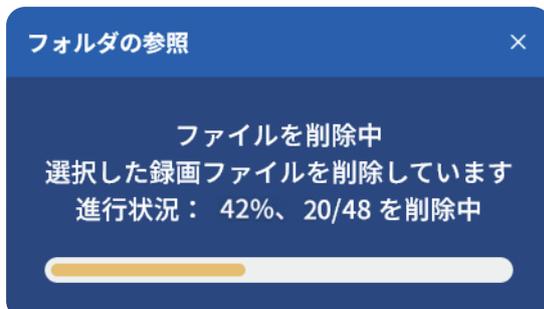


4. 「ファイル削除の確認」画面が表示されますので、内容を確認して「実行」ボタンをクリックします。



※ 録画ファイルの削除をキャンセルする場合は、「キャンセル」ボタンまたは右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックします。

5. 録画ファイルの削除が実行されます。



※ 録画ファイルの削除を中止する場合は、右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックします。中止までに削除を実行した録画ファイルは復元出来ません。中止した場合は、次の画面が表示されます。

6. 録画ファイルへの削除が完了すると、ファイル削除に成功した画面が表示されます。
「OK」ボタンを押すと、録画ファイルの再読み込みが開始されます。



- 以下の該当する場合、「削除に失敗しました。」の画面が表示されます。
内容を確認して、必要に応じ処置をおこなってください。
- ・ 録画ファイルの削除を中止した場合は、次の画面が表示されます。
※ 録画ファイルの削除を中止した場合、中止までに削除を実行した録画ファイルは復元出来ません。



「OK」ボタンをクリックして、この画面を閉じます。
画面を閉じると、録画ファイルの再読み込みが開始されます。

- ・ カードアダプタのロックがかかった状態で microSD カードのファイルを読み込みファイル削除を実行した場合、下記のエラー画面が表示されます。



下記の処置をおこなってから、「録画ファイルを選択して削除する」をおこなってください。

- ① 「OK」ボタンをクリックして、この画面を閉じます。
- ② ファイルリストをクリアします。ファイルリストのクリア手順は、「ファイルリストをクリアする」(92 ページ)を参照してください。
- ③ PC を操作して、microSD カード(カードアダプタ)を安全に取り外します。
- ④ カードアダプタのロックを解除します。
- ⑤ ロックを解除した microSD カード (カードアダプタ) を PC に接続して録画ファイルを読み込み、再度録画ファイルの削除をしてください。録画ファイルの読み込み手順は、「ファイルを読み込む」(42 ページ)を参照してください。

- ・ 選択した録画ファイルの削除権限がない場合や読み取り専用設定をしている場合、下記画面が表示されます。



下記の処置をおこなってから、「録画ファイルを選択して削除する」をおこなってください。

- ① 「OK」ボタンをクリックして、この画面を閉じます。
- ② 録画ファイルへのアクセス権限取得または読み取り専用設定を解除します。
詳細については使用している OS の説明書をご確認いただくか、PC の管理者に確認してください。

以上で「録画ファイルを選択して削除する」の説明は終わりです。

■ Moto DR2 で本体の録画 / 録音設定をする

● 本体の録画 / 録音設定機能について

本ソフトウェアで、EDR 本体の録画 / 録音設定をすることが出来ます。
なお、現在 EDR 本体に設定されている設定値を確認することは出来ません。

注意

- ・ 録画 / 録音の設定には、EDR 本体で録画したファイルが保存されている microSD カードが必要です。
- ・ EDR 本体の設定は、設定を書き込んだ microSD カードを EDR 本体に挿入し、EDR 本体の電源を ON にしたときに反映されます。
- ・ 本ソフトウェアで変更出来る設定は、録画 / 録音の設定です。本体時刻同期の設定は出来ません。

● 本体の録画 / 録音設定

■ 本体の録画 / 録音設定をする

1. EDR 本体で録画した microSD カードを PC に接続し、microSD カードの録画ファイルを読み込みます。録画ファイルを読み込む手順は、「録画ファイルを読み込む」(42 ページ)を参照してください。
2. 本体録画 / 録音設定画面を表示します。
メニューバーの「設定」から、「本体録音 / 録画設定」を選択します。



3. 各項目の設定値を選択します。



※ 画面を開いたときに表示される設定は、初期値(工場出荷時設定)です。EDR 本体に設定されている設定値ではありません。また、一度この画面で設定後、microSD カードを EDR 本体へ挿入し起動していない場合は、以前設定した設定値が表示されます。

4. 各項目の設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。
設定した内容が、microSD カードに書き込みが完了すると、保存が完了した画面が表示されます。
「OK」ボタンを押すと、通常の再生画面に戻ります。



5. ファイルリストをクリアします。ファイルリストのクリア手順は、「ファイルリストをクリアする」(92 ページ)を参照してください。
6. PC を操作して、microSD カードを安全に取り外します。
7. EDR 本体に microSD カードを挿入し、EDR 本体の電源を入れます。(本体の取扱説明書を参照してください)
8. 設定した内容が EDR 本体に反映され、録画を開始します。

以上で「本体の録画 / 録音設定をする」の説明は終わりです。

通知を受け取る / 通知を確認する

● 通知機能について

本ソフトウェアやスマートフォンアプリのアップデート情報、EDR のメンテナンス、弊社から製品やイベント等の情報の通知を受け取ることが出来ます。

注意

- ・通知の受信にはインターネットへの接続が必要です。
- ・本ソフトウェアの「通知」画面からのみ通知の確認が可能です。OS の通知機能には対応していません。

● 通知設定

■ 受信する通知の項目を設定する

1. 通知設定の画面を表示します。
メニューバーの「設定」から、「通知設定」を選択します。



2. 受信する通知の項目を設定します。



- ・メンテナンス通知：EDR を良好な状態でお使い頂くための点検項目や、お手入れについての情報をお知らせします。
- ・最新情報通知：新商品に関する情報、イベントへの出展情報、活動報告など弊社の最新情報をお知らせします。

※ 通知の設定をキャンセルする場合は、「キャンセル」ボタンまたは右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックします。

4. 各項目の設定が完了したら、「保存」ボタンをクリックします。
保存が完了した画面が表示されます。
「OK」ボタンを押すと、通常の再生画面に戻ります。



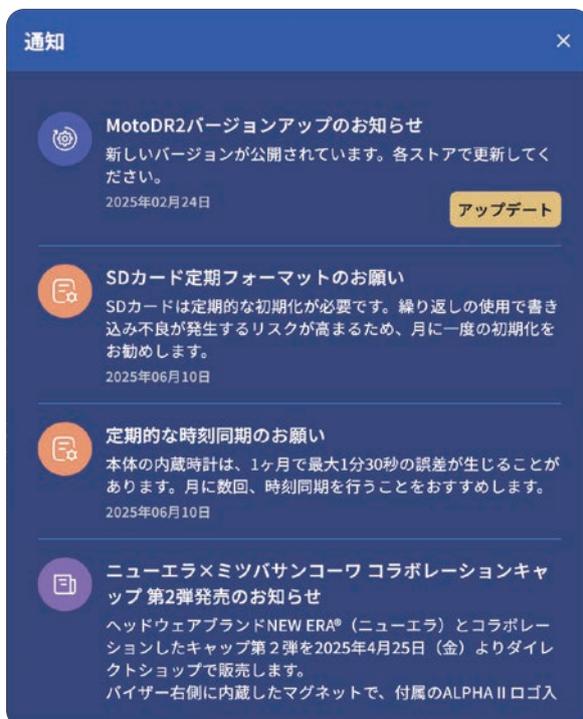
● 通知の確認

■ 受信した通知の内容を確認する

1. 通知の画面を表示します。
メニューバーの「ヘルプ」から、「通知」を選択します。



2. 通知の内容を確認します。



※ 上記の画面は表示例です。実際の通知の内容と異なる場合があります。

4. 通知の確認が完了したら、「×」(閉じる)ボタンをクリックして、通常の再生画面に戻ります。

以上で「通知を受け取る / 通知を確認する」の説明は終わりです。

表示言語の設定

● 表示言語の設定機能について

本ソフトウェアで表示する言語を「日本語」、「English(英語)」、「简体中文(中国語)」に設定することが出来ます。

初期設定は、「日本語」に設定されています。設定変更後は、設定した言語で起動します。

注意

- ・ PC の表示言語の設定には連動しません。
- ・ 通知の内容によっては設定した言語で表示されず、日本語で表示されます。

● 表示言語の設定変更

表示言語を「日本語」から「English(英語)」、または「日本語」から「简体中文(中国語)」への設定変更方法について説明します。

■ 表示言語の設定を変更する

1. メニューバーの「設定」から、「English」を選択、または「简体中文」を選択します。

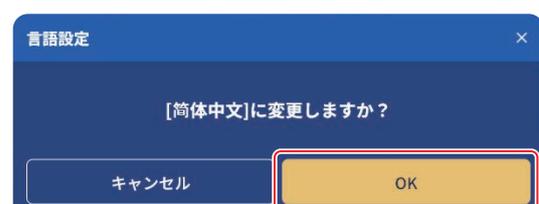
「日本語」から「English」への設定変更



「日本語」から「简体中文」への設定変更



2. 言語設定の変更確認画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



- ※ 「キャンセル」ボタンまたは右上の「×」(閉じる)をクリックすると、言語設定の変更をキャンセルすることが出来ます。

3. 「OK」ボタンをクリックすると、設定した言語で通常の再生画面に戻ります。

以上で「表示言語の設定を変更する」の説明は終わりです。

■ こんなときは－Q&A－

下記に問題事象例と確認項目、処置方法を記載しています。処置をおこなっても改善が見られない場合は、弊社カスタマーサポートセンター(139 ページ)へお問い合わせください。

● Moto DR2 のインストール・アンインストール

■ Moto DR2 をインストール出来ない。

< Windows / Mac >

- ・ PC にサインインしたユーザーアカウントに管理者権限がありますか？
PC にサインインしたユーザーアカウントに管理者権限が付与されていない場合、本ソフトウェアをインストール出来ません。PC の管理者へ確認してください。

< Windows >

- ・ インストールしている PC の OS は、Windows 10(64bit)または Windows 11 ですか？
PC の OS が動作システム要件(2 ページ)を満足していない Windows XP/Vista/7/8 などの OS の場合、インストール出来ません。動作システム要件を満足する PC を準備してインストールしてください。
- ・ Windows のモードが「S モード」ではありませんか？
「S モード」になっている場合、インストール出来ません。
モードの確認方法は、画面左下の[■]アイコンを右クリックし、「システム」を開くと「バージョン情報」または「詳細情報」が表示されます。「Windows の仕様」の「エディション」に「Windows 10 Home in S mode」のように「S mode」の表記がある場合、「S モード」になっています。
「S モード」を解除する手順は、Windows OS(10/11)によって異なります。「S モード」の解除手順については、Microsoft のサポートページをご確認ください。
なお、一度「S モード」を解除すると、再び「S モード」に戻すことは出来ません。「S モード」の解除によって発生した損害等について、弊社は一切その責任を負いません。

■ Moto DR2 をアンインストール出来ない。

< Windows / Mac >

- ・ PC にサインインしたユーザーアカウントに管理者権限がありますか？
PC にサインインしたユーザーアカウントに管理者権限が付与されていない場合、本ソフトウェアをアンインストール出来ません。PC の管理者へ確認してください。

● 動作全般

■ Moto DR2 が起動しない。

< Windows / Mac >

- ・ 本ソフトウェアの起動に必要なファイルを削除していませんか？
インストールしたファイルを削除したり、名称変更をしたりすると、本ソフトウェアを起動出来なくなります。一度、本ソフトウェアをアンインストールしてから再度インストールしてください。

■ Moto DR2 の起動が遅い、動作が全体的に遅い。

< Windows / Mac >

- ・ 本ソフトウェアの動作システム要件を満たした PC を使用していますか？
動作システム要件(2 ページ)を満たしていない場合、起動や動作が遅くなります。動作システム要件を満たした PC への変更やシステム構成の変更を検討してください。
- ・ Windows Update / ソフトウェア・アップデートなど他のソフトウェアなどが動作していませんか？
バックグラウンドで Windows Update やソフトウェア・アップデートなどの OS のアップデート、セキュリティソフトのウィルスチェックなど、他のソフトウェアが動作していると、起動や動作が遅くなることがあります。他のソフトウェアの動作が完了するのを待つか、他のソフトウェアの処理を中断するなどしてから、本ソフトウェアを起動してください。
- ・ メモリ空き容量が 1GB 以上(目安)ありますか？
本ソフトウェアを起動する前のメモリ空き容量が 1GB 以上ない場合、起動に時間がかかることがあります。また連結保存処理など処理負荷の高い動作ではより多くのメモリ(最大で約 2GB)が必要となる場合があります。使用していない他のソフトウェアを終了し、メモリの空き容量を増やしてから、本ソフトウェアを起動してください。使用していないソフトウェアを終了しても、メモリの空き容量を十分に確保出来ない場合は、空き容量確保のため、メモリの増設(交換)などを検討してください。

- グラフィックボードのドライバは最新ですか？
ご使用中のグラフィックボードドライバのバージョンが古い場合、動作が遅くなることがあります。
グラフィックボードのメーカーウェブサイトから最新版のドライバを入手し、インストールしてから、
本ソフトウェアを起動してください。

● ファイル読み込み動作

- 録画ファイルの読み込みでエラー「フォルダ内に有効ファイルがありません」が発生する。

< Windows / Mac >

- 指定したフォルダに間違いはありませんか？
「録画ファイルを読み込む」(42 ページ)をご確認頂き、正しいフォルダを指定してください。
- フォルダ構成を変更していませんか？
フォルダ構成を変更すると、読み込み出来なくなります。「録画ファイルについて」(7 ページ)を参照してフォルダ構成を確認し、必要に応じて修正してください。
- フォルダ名やファイル名を変更していませんか？
フォルダ名やファイル名を変更すると、読み込み出来なくなります。「録画ファイルについて」(7 ページ)を参照してフォルダ名やファイル名を確認し、必要に応じて修正してください。
- 本ソフトウェアで microSD カードをフォーマットしていませんか？
本ソフトウェアで microSD カードをフォーマットすると、指定可能なフォルダや読み込み可能な録画ファイルが削除されているため、読み込み出来ません。

- 録画ファイルの読み込み中、「エラー検知」の画面が表示される。



< Windows / Mac >

- 破損している録画ファイルが含まれていませんか？
破損した録画ファイルが含まれていると、「エラー検知」の画面が表示されます。
画面の内容を確認して、処理を選択してください。
録画ファイル破損が頻繁に発生する場合は、microSD カードの性能が低下している可能性があります。
microSD カードのフォーマットをおこなっても改善が見られない場合は、microSD カードの交換を検討してください。
- 録画ファイルの保存フォルダとファイル名に不整合が発生していませんか？
録画ファイル名の末尾の「N」「M」「E」と、保存されているフォルダ「Normal」「Manual」「Event」が正しくない場合、「エラー検知」の画面が表示されます。画面の内容を確認して、処理を選択してください。

- 録画ファイルの読み込みが遅い、時間がかかる。

< Windows / Mac >

- 読み込む録画ファイル数が多くありませんか？
録画ファイルを読み込みするときに録画ファイルの確認処理をおこなうため、読み込みする録画ファイルが多いと確認する録画ファイルが多くなり、読み込みに時間がかかります。
- ストレージ機器(カードリーダーなど)の転送速度が遅くありませんか？
録画ファイルを読み込む機器の転送速度が遅いと、録画ファイルの読み込みに時間がかかります。
(例：USB3.0 対応機器を USB2.0 のポートに接続しているなど)

- 他のソフトウェアが動作していませんか？

読み込みしている録画ファイルがあるストレージに本ソフトウェア以外のソフトウェアが同時にアクセスしていると、読み込みに時間がかかります。他のソフトウェアを終了するか、読み込みが完了するまで、そのままお待ちください。(例：microSD の録画ファイルを別のストレージにコピーしながら、本ソフトウェアでコピー中の録画ファイルを読み込んでいる。セキュリティソフトが読み込んでいる録画ファイルがあるストレージに対し、ウイルススキャンを実行しているなど)

● メインビュー・サブビューの再生動作

- 録画ファイルのマージが遅い、時間がかかる。

< Windows / Mac >

- 長時間連続録画した録画ファイルではありませんか？
「日付リスト」を選択したときにマージ(連結)処理をおこなうため、連続録画時間が長いと連結する録画ファイルが多くなり、読み込みに時間がかかります。
- CPU の処理速度が不足していませんか？
マージ(連結)処理では CPU の処理能力が必要です。使用していない他のソフトウェアを終了し、CPU の負荷を減らしてください。使用していないソフトウェアを終了しても、CPU の処理能力を容量を十分に確保出来ない場合は、ほかのソフトウェアなどの操作を控え処理が完了するまでお待ち下さい。

- 映像が表示されず、音声のみ再生される。

- 映像が一瞬止まる、コマ落ちするなどスムーズに再生されない。

- 再生速度を変更すると再生中画像が一瞬止まる、コマ落ちする。

< Windows / Mac >

- PC のグラフィック性能が不足していませんか？
PC のグラフィック処理性能が不足している可能性があります。
同時に起動しているソフトウェアがある場合は、ソフトウェアを終了することで改善されることがあります。
- PC のグラフィックボードのドライバは最新版ですか？
ご使用中のグラフィックボードドライバのバージョンが古い場合、発生する可能性があります。
グラフィックボードのメーカーウェブサイトから最新版のドライバを入手し、インストールしてください。
- PC のグラフィックボードの設定が変更されていませんか？
PC のグラフィックボードの変更内容により、発生することがあります。
グラフィックボードの設定を初期設定または標準設定(デフォルト)に変更してください。

- 再生中に音声が出力されない。

< Windows / Mac >

- EDR 本体の録画 / 録音設定で音声記録の設定が OFF になっていませんか？
EDR 本体の音声記録の設定が OFF の場合、その設定で録画された録画ファイルには音声記録されていないため、音声出力されません。
本ソフトウェアで、microSD カードに音声記録 ON 設定を書き込み EDR 本体に挿入して設定を変更してください。設定変更方法は、「Moto DR2 で本体の録画 / 録音設定する」(122 ページ)を参照してください。また、専用スマートフォンアプリ「Moto DR」または「Moto DR2」で EDR 本体の音声記録を ON することで変更することも可能です。設定変更方法は、専用スマートフォンアプリ「Moto DR」または「Moto DR2」のアプリガイドを参照してください。
- PC のサウンド(音声)出力先のデバイス、装置の設定が間違っていないですか？
PC のサウンド(音声)出力先のデバイス、装置の設定が間違っている場合、音声が出力されません。
サウンド(音声)に出力可能なデバイス、装置のが設定されているか確認してください。
- PC のシステム音量が小さくなっていたり、消音(ミュート)になっていたりしていませんか？
PC のシステム音量が小さくなっていたり、消音(ミュート)になっていたりしている場合、音声が出力されません。PC のシステム設定から、音量や消音(ミュート)の設定を確認してください。

■ 再生中に時々音声にノイズ(「ブツ」や「ブチ」音)が発生する。

< Windows / Mac >

- ・録画ファイルの変わり目で発生していませんか？
録画した音声に低い周波数成分が多く含まれていると、録画ファイルの変わり目でノイズが発生することがあります。異常ではありません。

● 地図ウィンドウ動作

■ 地図ウィンドウに地図や自車位置(走行軌跡)が表示されない。

< Windows / Mac >

- ・GPS を搭載していないモデルの録画ファイルを読み込んでいませんか？
地図ウィンドウの地図表示は、GPS 位置情報が記録された録画ファイルで表示されます。GPS を搭載していないモデルの録画ファイルには、GPS 位置情報が記録されていないため、地図表示されません。
- ・地図ウィンドウに「インターネット接続なし」が表示されていませんか？
地図情報は、インターネットから取得しています。PC がインターネットに接続されていないと地図は表示されません。ネットワークやセキュリティの設定で、本ソフトウェアがインターネットに接続出来ない場合があります。接続出来ない場合は、PC のネットワーク設定を確認してください。
- ・GPS 電波を受信出来なかった場面から録画ファイルを再生していませんか？
地下や屋内、ビルの間、高架下、山間部、トンネル内など、GPS 電波を受信出来なかった場面から録画ファイルを再生すると、録画ファイルに GPS 位置情報が記録されていないため、地図は表示されません。GPS 位置情報が記録された場面から地図が表示されます。
- ・EDR 本体の起動直後の録画ファイルを再生していませんか？
EDR 本体の起動直後は、自車位置を測位するまでに時間がかかり、録画ファイルに GPS 位置情報が記録されず、地図表示されない場合があります。GPS 位置情報が記録された場面から地図が表示されます。

■ 地図ウィンドウの地図が動かない、軌跡表示が残らない(飛ぶ)ことがある。

< Windows / Mac >

- ・GPS 電波を受信出来なかった場面で発生していませんか？
地下や屋内、ビルの間、高架下、山間部、トンネル内など、GPS 電波を受信出来なかった場面では、録画ファイルに GPS 位置情報が記録されていないため、地図が動かず、軌跡が残りません。GPS 位置情報が記録された場面から地図が動き、軌跡が表示されます。
- ・再生ツールを操作したタイミングで、軌跡が途切れていませんか？
再生ツールを操作するタイミングで、地図の軌跡表示が途切れることがあります。異常ではありません。

■ 地図や道路の情報が変わった。

< Windows / Mac >

- ・Google マップの地図情報が最新でなかったり、走行当時から道路状況が変更されたりしていませんか？
本ソフトウェアの地図は、Google マップのサービスを使用しています。Google マップの更新状況により、走行当時と地図表示に差異が発生することがあります。

■ 地図の道路表示から逸脱した場所に走行軌跡表示が残る。

< Windows / Mac >

- ・Google マップの地図情報が最新でなかったり、走行当時から道路状況が変更されたりしていませんか？
本ソフトウェアの地図は、Google マップのサービスを使用しています。Google マップの更新状況により、走行当時と地図表示に差異が発生することがあります。
- ・GPS 電波を受信しにくい場面で発生していませんか？
ビルの間、高架下、山間部など、GPS 電波を受信しにくい場面では、GPS 位置情報の精度が低下するため、地図の道路表示から逸脱した走行記録を表示することがあります。
- ・速い速度で走行しているときに発生していませんか？
GPS 位置情報は、通常 1 秒間隔で記録しています。緩やかなカーブや急カーブ、交差点などを速い速度で走行した場合、地図の道路表示から逸脱した走行軌跡を表示することがあります。

- 地図上の自転車位置が大きく(海の上や、国外などに)逸脱することがある。

< Windows / Mac >

- ・ GPS 電波受信に影響する電波障害や外部電磁ノイズの発生はありませんでしたか？
GPS 電波受信時に電波障害や外部電磁ノイズの影響により、位置情報が正確に認識出来ず、誤った位置情報が記録されたものと考えます。頻繁に発生する場合は、EDR 本体付近や GPS アンテナケーブル付近にノイズを発生させる電装品等がないか確認してください。

- 地図をスクロール操作しても、自転車位置の場所に戻ってしまう。

< Windows / Mac >

- ・ 録画ファイル再生中に操作していませんか？
録画ファイル再生中は、軌跡表示の更新タイミングで、自転車位置を中心とした地図表示をしているため、地図をスクロールしても自転車位置表示に戻ります。地図をスクロールしたい場合は、再生を一時停止してください。

● ファイルリスト動作

- 「日付リスト」が選択出来ない。

< Windows / Mac >

- ・ 録画ファイルの再生中ではありませんか？
録画ファイルの再生中は、「日付リスト」の変更は出来ません。再生を停止してから、「日付リスト」を選択してください。

- 1ファイル再生のチェックボックスを選択または解除出来ない。

< Windows / Mac >

- ・ 録画ファイルの再生中ではありませんか？
録画ファイルの再生中は、1ファイル再生のチェックボックスを選択または解除出来ません。再生を停止してから、1ファイル再生のチェックボックスを選択または解除してください。

● 速度ウィンドウ動作

- 走行速度が「- - km/h(mph)」の表示のままになる。

< Windows / Mac >

- ・ GPSを搭載していないモデルの録画ファイルを読み込んでいませんか？
速度ウィンドウの速度表示は、GPS位置情報が記録されている録画ファイルで表示されます。GPSを搭載していないモデルの録画ファイルには、GPS位置情報が記録されないため、速度表示されません。

- 走行速度が「0km/h(mph)」の表示のままになる。

< Windows / Mac >

- ・ GPS電波を受信出来なかった場面から録画ファイルを再生していませんか？
地下や屋内、ビルの間、高架下、山間部、トンネル内など、GPS 電波を受信出来なかった場面では、録画ファイルに GPS 位置情報が記録されないため、走行速度が「0km/h(mph)」の表示となります。GPS 位置情報が記録された場面から走行速度が表示されるようになります。

- 実際の走行速度と異なる速度が表示される。

< Windows / Mac >

- ・ GPS電波を受信しにくい場面を再生していませんか？
走行速度は、1秒間隔で更新されるGPS位置情報から移動距離を演算して表示しています。GPS位置情報の精度や更新の間隔で、実際の走行速度と異なる表示をすることがあります。

● G グラフウィンドウ動作

- GグラフのX, Y, Zが、すべて「0.0G」の表示のままになる。

< Windows / Mac >

- ・ EDR 本体の「衝撃検知感度」の設定が、「OFF」になっていませんか？
「衝撃検知感度」の設定が「OFF」になっている場合、Gセンサーの情報が録画ファイルに記録されません。
EDR 本体の「衝撃検知感度」を「1 ~ 5」のいずれかに設定してください。

- Gグラフの方向と車両の向きが一致しない。

< Windows / Mac >

- ・ GグラフのX, Y, Zの方向は、EDR 本体の向きで決まります。
EDR の取扱説明書でX, Y, Zの方向を確認して、EDR 本体の設置向きと車両の向きを一致させてください。

● ウィンドウ操作

- ウィンドウの表示が戻らなく(表示しなく)なった。

< Windows / Mac >

- ・ 本ソフトウェアの処理とウィンドウ操作のタイミングで、発生する可能性があります。
ウィンドウ構成の初期化「ウィンドウ構成を初期の状態に戻す」(67 ページ)をして、再度お好みの表示に変更してください。

- ウィンドウの調整時に表示が乱れる。

< Windows / Mac >

- ・ ウィンドウ調整時に画面の再描画処理をおこなうため、表示が乱れることがあります。異常ではありません。
ウィンドウ調整の操作をゆっくりおこなうことで軽減されることがあります。

● 録画ファイル連結保存

- 連結保存したい録画ファイルがない。見つからない。

< Windows / Mac >

- ・ 連結保存したい録画ファイルのフォルダを読み込んでいますか？
連結保存出来る対象は、表示されている録画ファイルです。連結保存したい録画ファイルが「日付リスト」や「時間リスト」に含まれていない場合、連結保存したい録画ファイルが含まれるフォルダを再読み込みしてください。

- 録画ファイルの連結保存に時間がかかる。

< Windows / Mac >

- ・ 連結する録画ファイル数が多くありませんか？
連結保存する録画ファイルの数が多いと、連結処理に時間がかかります。異常ではありません。
- ・ メモリ空き容量が不足していませんか？
マージ(連結)処理では多くのメモリ(最大で約2GB)が必要となる場合があります。使用していない他のソフトウェアを終了し、メモリの空き容量を増やしてから、本ソフトウェアを起動してください。使用していないソフトウェアを終了しても、メモリの空き容量を十分に確保出来ない場合は、空き容量確保のため、メモリの増設(交換)などを検討してください。
- ・ ストレージ機器(カードリーダーなど)の転送速度が遅くありませんか？
ストレージ機器の転送速度が遅いと、録画ファイルの読み込みや書き込みに時間がかかります。異常ではありません。(例：USB3.0 対応機器を USB2.0 のポートに接続している。保存先のストレージに microSD カードを選択している。など)

■ 連結保存したファイルが複数に分割して保存される。

< Windows / Mac >

- ・ 連結する録画ファイル数が多くありませんか？
連結保存した 1 ファイルの最大容量を 4GB に制限して保存します。連結保存にて最大容量を超過した場合、複数のファイルに分割して保存します。
※ 保存先ストレージのファイルシステムが FAT16 の場合は、上限を 2GB に制限して保存します。

■ 連結保存したファイルを Moto DR2 で開けない。

< Windows / Mac >

- ・ 連結保存したファイルには、GPS 位置情報や G センサーのデータが記録されていないため開けません。
動画再生ソフトウェアや動画編集ソフトウェアで開いてください。

■ 連結保存したファイルを再生すると時々音声にノイズ(「ブツ」や「ブチ」音)が発生する。

< Windows / Mac >

- ・ 録画ファイルのつなぎ目で発生していませんか？
録画した音声に低い周波数成分が多く含まれていると、録画ファイルの変わり目でノイズが発生することがあります。異常ではありません。

● GPS ログファイル保存

■ GPS のログファイルを保存したい対象の録画ファイルがない。見つからない。

< Windows / Mac >

- ・ GPS ログファイル保存したい録画ファイルのフォルダを読み込んでいますか？
GPS ログファイル保存出来る対象は、表示されている録画ファイルです。GPS ログファイル保存したい録画ファイルが「日付リスト」や「時間リスト」に含まれていない場合、GPS ログファイル保存したい録画ファイルが含まれるフォルダを再読み込みしてください。

■ GPS のログファイルを保存したが、ログデータのないファイルが保存された。

< Windows / Mac >

- ・ GPS を搭載していないモデルの録画ファイルを GPS ログファイル保存していませんか？
GPS 搭載モデル以外で記録した録画ファイルでも「GPS ログデータ保存」操作が出来ます。録画ファイル内にログデータが記録されていないため、録画ファイル内にログ情報は記録されません。
- ・ GPS の電波を受信していない場面の録画ファイルではありませんか？
GPS ログファイル保存したい対象の録画ファイルで、GPS 電波を受信していなかった場面が含まれる場合、GPS ログファイル内にその場面のログ情報は記録されません。

● 録画ファイルバックアップ

■ 録画ファイルのバックアップに時間がかかる。

< Windows / Mac >

- ・ バックアップする録画ファイル数が多くありませんか？
バックアップする録画ファイル数が多い場合、バックアップに時間がかかります。異常ではありません。
- ・ ストレージ機器(カードリーダーなど)の転送速度が遅くありませんか？
ストレージ機器の転送速度が遅いと、録画ファイルのバックアップに時間がかかります。異常ではありません。
(例：USB3.0 対応機器を USB2.0 のポートに接続している。保存先のストレージに microSD カードを選択している。など)
- ・ 他のソフトウェアが動作していませんか？
読み込みしている録画ファイルがあるストレージやバックアップ先のストレージに、本ソフトウェア以外のソフトウェアが同時にアクセスしていると、バックアップに時間がかかります。他のソフトウェアを終了するか、バックアップが完了するまで、そのままお待ちください。

● microSD カードフォーマット

■ microSD カードを認識しない。

< Windows / Mac >

- ・ PC が microSD カードを認識していますか？
PC が microSD カードを認識していない場合、本ソフトウェアでも認識することが出来ません。microSD カードおよびカードスロット、カードリーダーライタ等を確認をしてください。
- ・ microSD カードのフォーマットを PC が要求していませんか？
microSD カードを PC へ接続したとき、PC が microSD カードのフォーマットを要求している場合、本ソフトウェアで microSD カードを認識することが出来ません。PC の指示に従い、microSD カードのフォーマットをしてください。

■ microSD カードのフォーマットに失敗する。

< Windows / Mac >

- ・ SD カードアダプタがロック(書き込み禁止)状態になっていませんか？
SD カードアダプタを使用して microSD カードを PC に接続している場合、SD カードアダプタがロック状態になっていると、フォーマットに失敗します。一度 SD カードアダプタを取り出し、ロックを解除してから microSD カードのフォーマットをおこなってください。
- ・ 他のソフトウェア(アプリ)が microSD カードを使用していませんか？
他のソフトウェア(アプリ)が microSD カードや microSD カード内のファイルを使用している場合、フォーマット出来ない場合があります。エクスプローラーや Finder、その他起動中のソフトウェアを終了してから microSD カードをフォーマットをおこなってください。
- ・ microSD カードへのアクセス制限がかかっていませんか？
組織で管理されている PC などでは、microSD カードへのアクセス制限が設定され、書き込みやフォーマットが出来ない場合があります。PC の管理者へ確認してください。

< Mac >

- ・ 管理者権限のないアカウントでログインしていませんか？
管理者権限のないアカウントで、操作している場合 microSD カードへのアクセス制限が設定され、フォーマットが出来ない場合があります。PC の管理者へ確認してください。

■ フォーマット実行したとき、セキュリティソフトが反応する。

< Windows / Mac >

- ・ セキュリティソフトが、フォーマットの実行について確認している状況ですか？
セキュリティソフトが、フォーマットの実行について確認している場合は、「許可」や「実行」を選択してください。「キャンセル」や「中止」、「ブロック」などを選択した場合、フォーマットに失敗するだけでなく、本ソフトウェアが起動しなくなる恐れがあります。詳しくは、ご使用中のセキュリティソフトの取扱説明書やヘルプ等を確認してください。
- ・ セキュリティソフトの動作により、本ソフトウェアを強制終了している状況ですか？
セキュリティソフトが、本ソフトウェアを悪意のあるソフトウェアやマルウェアと認識している場合、本ソフトウェアを強制終了させる場合があります。この場合、セキュリティソフトの設定で本ソフトウェアを「セーフリスト登録」や「除外リスト登録」等をおこなってください。詳しくは、ご使用中のセキュリティソフトの取扱説明書やヘルプ等を確認してください。

● 録画ファイルの保護 / 保護解除

■ 録画ファイルの保護 / 保護解除を実行したときにエラーが発生する。

< Windows / Mac >

- ・ SD カードアダプタがロック(書き込み禁止)状態になっていませんか？
SD カードアダプタを使用して microSD カードを PC に接続している場合、SD カードアダプタがロックの状態になっていると、保護 / 保護解除実行時にエラーが発生します。一度 SD カードアダプタを取り出し、ロックを解除してから録画ファイルの保護 / 保護解除をおこなってください。

● 録画ファイル削除

■ 録画ファイルの削除に失敗する。

< Windows / Mac >

- ・ SD カードアダプタがロック(書き込み禁止)状態になっていませんか？
SD カードアダプタを使用して microSD カードを PC に接続している場合、SD カードアダプタがロックの状態になっていると、削除に失敗します。一度 SD カードアダプタを取り出し、ロックを解除してから録画ファイルの削除をおこなってください。
- ・ 他のソフトウェア(アプリ)が録画ファイルを使用していませんか？
他のソフトウェア(アプリ)が本ソフトウェアで読み込み中の録画ファイルを使用している場合、録画ファイルの削除が出来ない場合があります。録画ファイルを使用しているソフトウェアでファイルを閉じるか、録画ファイルを使用しているソフトウェアを終了してから録画ファイルの削除をおこなってください。
- ・ 録画ファイルのあるストレージへのアクセス制限がかかっていませんか？
組織で管理されている PC などでは、microSD カード等のストレージへのアクセス制限が設定され、録画ファイルの削除が出来ない場合があります。PC の管理者へ確認してください。

■ 録画ファイル削除を実行したとき、セキュリティソフトが反応する。

< Windows / Mac >

- ・ 録画ファイル削除の実行について、セキュリティソフトが確認している状況ですか？
セキュリティソフトが、録画ファイル削除の実行について確認している場合は、「許可」や「実行」を選択してください。「キャンセル」や「中止」、「ブロック」などを選択した場合、録画ファイルの削除が実行出来ないだけでなく、本ソフトウェアが起動しなくなる恐れがあります。詳しくは、ご使用中のセキュリティソフトの取扱説明書やヘルプ等を確認してください。
- ・ セキュリティソフトの動作により、本ソフトウェアを強制終了している状況ですか？
セキュリティソフトが、本ソフトウェアを悪意のあるソフトウェアやマルウェアと認識している場合、本ソフトウェアを強制終了させる場合があります。この場合、セキュリティソフトの設定で本ソフトウェアを「セーフリスト登録」や「除外リスト登録」等をおこなってください。詳しくは、ご使用中のセキュリティソフトの取扱説明書やヘルプ等を確認してください。

● 本体録画 / 録音設定

■ 本体録画 / 録音設定が EDR 本体に反映されない。

< Windows / Mac >

- ・ microSD カードの録画ファイルを読み込んでいますか？
microSD カード以外の場所に保存された録画ファイルのバックアップを読み込んでいる場合、microSD カードに設定ファイルを書き込み出来ません。microSD カードの録画ファイルを読み込み、再度設定をしてください。
- ・ EDR 本体または本ソフトウェアでフォーマットした microSD カードを使用していますか？
EDR 本体または本ソフトウェア以外でフォーマットした microSD カードを使用していた場合、EDR 本体が microSD カードを認識出来ず、EDR 本体の設定を変更することが出来ません。
- ・ SD カードアダプタがロック(書き込み禁止)状態になっていませんか？
SD カードアダプタを使用して microSD カードを PC に接続している場合、SD カードアダプタがロックの状態になっていると、microSD カードに設定を書き込み出来ません。一度 SD カードアダプタを取り出し、ロックを解除してから設定をおこなってください。

● ヘルプ(オンラインサポートページ)

■ オンラインサポートページが表示されない。

< Windows / Mac >

- ・ PC がインターネットに接続されていますか？
オンラインサポートページは、弊社のインターネット WEB サイトに接続して開くため、インターネット接続が必要です。インターネットへ接続出来ているか確認をしてください。
- ・ 弊社コーポレートサイトがメンテナンス中ではありませんか？
弊社コーポレートサイトがメンテナンス中であった場合は、時間や日を置いて再度確認をしてください。

■ オンラインサポートページを開く

● オンラインサポートページについて

オンラインサポートページとは、弊社のインターネットWEBサイトのEDRシリーズ全般のサポートページです。WEBブラウザを起動してサポートページを開きます。

オンラインサポートページには、サポート情報(よくある質問 Q&A)や最新のソフトウェアの情報を掲載しています。弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせの際は、事前にご確認頂くことをおすすめします。

● オンラインサポートページを開く

- ・メニューバーの「ヘルプ」から、「オンラインサポートページ」を選択します。



- ・PCで設定された規定のブラウザが起動し、オンラインサポートページを開きます。



以上で「オンラインサポートページを開く」の説明は終わりです。

■ ソフトウェアのバージョンを確認する

● バージョン情報について

現在インストールし使用している「Moto DR2」のバージョン情報を表示します。
弊社オンラインサポートページで最新のバージョンを確認するときや弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせ頂くときには、バージョン情報をあらかじめ確認してください。

● バージョン情報を確認する

- ・メニューバーの「ヘルプ」を開き「バージョン情報」の内容を確認します。



ソフトウェアのバージョン

- ・バージョン情報画面(ヘルプ)を閉じるときは、メニューバーの「ヘルプ」をクリックしてください。

以上で「ソフトウェアのバージョンを確認する」の説明は終わりです。

■ EDR のファームウェアバージョンを確認する

● EDR バージョン情報について

EDR から取り外した SD カードに記録されている EDR のファームウェアバージョン情報を表示します。
EDR のファームウェアアップデート時の確認や弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせ頂くときには、ファームウェアバージョン情報をあらかじめ確認してください。

注意

- ・EDR のファームウェアバージョンによっては、本ソフトウェアのファームウェアバージョン表示に対応していない場合があります。この場合「未確定」と表示されます。
- ・バックアップした録画ファイルを読み込んだときや SD カード以外の場所から録画ファイルを読み込んだ場合、「未確定」と表示されることがあります。

● EDR バージョン情報を確認する

- ・メニューバーの「ヘルプ」を開き「EDR バージョン情報」の内容を確認します。



EDR のファームウェアバージョン

- ・EDR バージョン情報画面(ヘルプ)を閉じるときは、メニューバーの「ヘルプ」をクリックしてください。

以上で「EDR のファームウェアバージョンを確認する」の説明は終わりです。

■ ライセンス情報

● 著作権

Copyright © 2025 MITSUBASANKOWA Corporation
Released under the MIT license, Apache license and BSD 3-Clause license.

License	License Web address
MIT License	https://licenses.nuget.org/MIT
Apache License	https://licenses.nuget.org/Apache-2.0
BSD 3-Clause License	https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause

● 登録商標・商標

- ・ Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- ・ Intel は、Intel Corporation またはその関連会社の商標です。
- ・ Mac、macOS、Finder は、米国その他の国や地域で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ microSD™、microSD、microSDHC、microSDXC は、SD Association の登録商標です。
- ・ Google マップ、Google Earth は、Google LLC の商標または登録商標です。
- ・ その他記載されている製品名・システム名・サービス名などは、一般的にそれぞれ各社が登録商標または商標として使用している場合があります。

■ お問い合わせ窓口

本ソフトウェアの操作で、目的の操作が正常におこなえないときは、「こんなときは—Q&A—」(128 ページ) およびオンラインサポートページ(137 ページ)を確認してください。
記載された処置をおこなっても改善が見られないときは、下記項目を分かる範囲で確認して頂き、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。

- 問題となった操作や状況などを具体的に
- 問題が発生した時期や PC 環境などの変化点
- PC のメーカーと品番、PC の構成内容
PC の構成内容の例
 - ・ CPU(プロセッサ)名
 - ・ メインメモリ容量
 - ・ GPU メモリ容量
 - ・ カードリーダーのメーカーと品番
 - ・ microSD カードのメーカーと品番、容量
- OS の種類とバージョン
例・ Windows 11 Pro 24H2 / macOS 15.5 (Sequoia)

株式会社 **ミツバサンコーワ**

本社 / 〒175 - 0094 東京都板橋区成増 3 - 3 - 4

<https://www.mskw.co.jp>

● 商品に関するお問い合わせ窓口

株式会社ミツバサンコーワ カスタマーサポートセンター
〒379-2312 群馬県みどり市笠懸町久宮 289-3

☎ 0277-30-5802

その他

M-139-088-A